KAWAI

STAGE PIANO MP11

取扱説明書

ご使用前の準備

演奏ガイド

エディットメニュー

ストアボタン/セットアップ

レコーダー

USBメニュー

システムメニュー

付録

この度はKAWAIステージピアノ MP11をお買い求めいただきまして、
誠にありがとうございます。
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永く御愛用いただくためにも、
この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管くださいますようお願いいたします。

取扱説明書について

初めに、取扱説明書(本書)の「ご使用前の準備」(P.8)からお読みください。
各部の名称と機能や、オーディオ出力機器への接続、電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、MP11をすぐお使いいただけるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には音色一覧などの資料を収録しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告

100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機を分解、修理、改造しない

この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない

故障・感電・発火の原因になります。

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

異物を入れない

本機の内部に異物を入れない

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。

取扱い注意

設置作業や移動作業は必ず2 人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

通気確保

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

＊お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

安全上のご注意 4

目次 6

ご使用前の準備

はじめに 8
- 1. 本製品の特徴 8
- 2. 取扱説明書の表記について 9

各部の機能と名称 10
- 1. フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン 10
- 2. フロントパネル：端子 14
- 3. リアパネル 14

他の機器との接続 16

セクションの内部接続 17

演奏ガイド

基本操作 18
- 1. 音色を選ぶ 18
- 2. ディスプレイ/コントロールノブ 19
- 3. リバーブ（REVERB） 20
- 4. エフェクト（EFX） 21
- 5. アンプシミュレータ（E.PIANOセクション） 22
- 6. キーレンジ（鍵域指定） 24

内部音色セクション/パラメータ 26
- 1. PIANOセクション 26
- 2. E.PIANOセクション 28
- 3. SUBセクション 29

GLOBALセクション 30
- 1. EQ 30
- 2. Transpose 32

MIDI OUTセクション 34

エディットメニュー

エディットメニューの概要（PIANO, E.PIANO, SUB） 36

エディットメニューのパラメータ（PIANO, E.PIANO, SUB） 38
- 1. Reverb（リバーブ） 38
- 2.1. EFX（エフェクト） 38
- 2.2. AMP（アンプシミュレータ）（E.PIANO） 39
- 3. Sound 40
- 4. Tuning（チューニング） 42
- 5. Key Setup（キーボードセットアップ） 43
- 6. Controllers（コントローラー） 45
- 7. Knob Assign（ノブアサイン） 46
- 8. Virtual Technician（PIANOセクション） 48
- 8. Virtual Technician（E.PIANO，SUBセクション） 49

エディットメニューの概要（MIDI OUT） 50

エディットメニューのパラメータ（MIDI OUT） 52
- 1. Channel/Program 52
- 2. SETUP 52
- 3. Transmit SYS 53
- 4. MMC SYS 53
- 5. Key Setup（キーボードセットアップ） 54
- 6. Controllers（コントローラー） 55
- 7. Knob Assign（ノブアサイン） 56

ストアボタン/セットアップ

STOREボタンの概要について 57
- 1. STORE SOUND（ストアサウンド） 57
- 2. STORE SETUP（ストアセットアップ） 58
- 3. STORE POWER ON（ストアパワーオン） 59

セットアップメモリ 60

レコーダー

レコーダーについて 61

MIDIレコーダー（内部メモリ）....62

1. 内部メモリに録音する 62
2. MIDIソングを再生する 64
3. SMF形式で保存する 66
4. SMFを内部メモリへLOAD（ロード）する 67
5. 内部メモリを消去する 70
6. 曲のトランスポーズ（移調）....71
7. パネルモード 71
8. MIDI to Audio 71

オーディオレコーダー（USBメモリ）....72

1. オーディオファイルに録音する 72
2. オーディオファイルを再生する 75
3. オーバーダビングする 78
4. MIDIソングをオーディオ変換する 81

メトロノーム 84

1. クリックモード 84
2. リズムモード 85
3. メトロノームを使って録音する 88

USBメニュー

USBメニューについて 90

USBメモリ機能 91

1. Load（ロード/読込）....91
2. Save（セーブ/保存）....92
3. Delete（デリート/削除）....93
4. Rename（リネーム/ファイル名変更）....94
5. Format（フォーマット/初期化）....95

システムメニュー

システムメニューについて 96

システムパラメータと機能について 97

1. Utility（ユーティリティ）....97
2. Pedal（ペダル）....98
   エクスプレッションペダルの調整について 99
3. MIDI 100
4. Offset（オフセット）....101
5. User Edit（ユーザー）....101
   ユーザータッチカーブを作成する 102
   ユーザー音律を作成する 103
6. RESET（リセット）....104
   PANICボタン 104

Panel Lock（パネルロック）....105

付録

USB-MIDIについて 106

ソフトウェア アップデート 107

内蔵音色リスト 108

リズムパターンリスト 109

EFXカテゴリ、タイプ、パラメータリスト 110

仕様 115

MIDI Implementation 116

1. Recognised Data 117
2. Transmitted Data 121
3. Exclusive Data 123
4. SOUND/SETUP Program/Bank 129
5. Control Change Number (CC#) Table 130

MIDI Implementation Chart 131

はじめに

1 本製品の特徴

ステージピアノ最高クラスのタッチ感を備えた『木製鍵盤/アイボリータッチ、レットオフフィール』

MP11は、グランドピアノと同様のアクション（シーソー構造）、グランドピアノ同様の支点距離、電子ピアノの中で群を抜く鍵盤の長さ、ほぼすべての鍵盤にカウンターウェイトを備えた木製鍵盤Grand Feelアクションにより、グランドピアノに限りなく近い弾き心地で演奏することができます。さらに、3つのセンサーを搭載することで同音連打の演奏性やレガート演奏時の音の繋がりが一層グランドピアノに近づきました。また、吸湿性と象牙の風合い、色を備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）鍵盤により、指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールも搭載、グランドピアノがもつ細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

PIANOセクション：CONCERT、POP、JAZZ － 究極のグランドピアノ音色

MP11は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用した、カワイコンサートグランドピアノEXの音を、88個の鍵盤一つ一つについて丁寧に録音した秀逸なピアノ音を搭載しています。その鍵盤を弾く強さによって大きく変化するピアノ音を、様々な強さで録音することにより、従来の電子ピアノを凌駕する表現力を備えました。
さらに、複数のマイクポジションで録音された膨大なサンプルは、[CONCERT]カテゴリはクラッシック、[POP][JAZZ]カテゴリにはポップス、ジャズなど、[UPRIGHT]カテゴリにはアップライトピアノとモノピアノなど、それぞれに応じたピアノ音に丹念に調整されており、様々なジャンルに最適なピアノ音を網羅しています。
また、チューニング機能やタッチカーブの設定に加え、調律師が行う様々なピアノの細やかな調整を簡単に行う事ができるバーチャルテクニシャン機能を搭載しています。
ハンマーの硬さを調整できる「ボイシング」機能、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きを再現した「ダンパーレゾナンス」、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」により、グランドピアノの音の響きをディテールまで再現、「ダンパーノイズ」「フォールバックノイズ」により、ペダルやアクションの動きによって発生する様々な音までをも調整することができます。
これらの設定は、本体やUSBメモリに保存することによりいつでも再現することが可能です。

E.PIANOセクション：2エフェクト＋アンプシミュレータを搭載し、ビンテージ・エレピ音色を一新

MP11は独特のキャラクターを持った数々のビンテージエレピ音色を持っており、エレクトリックグランドピアノの音色も搭載しています。
また、E.PIANOセクションでは129種類のバラエティに富んだエフェクトを2系統と、5種類のビンテージアンプのシミュレータを搭載しています。また、それを集音するマイクタイプの選択やマイク位置までもユーザーの好みに調整可能です。

SUBセクション：ピアノの表現の幅を拡げるストリング、PAD音色、ベース音色

MP11は、アコースティックピアノやエレクトリックピアノに音を重ねたり、単独で演奏したりするための高品位のストリングス/PAD音色、ベース音色等の音色を用意しています。
さらに、特徴的な機能「Vocal」「Bell」「Air」はより音色に厚みを持たせ、ノブに割り当て可能な典型的なADSR、レゾナンス・カットオフなどのパラメータによって、様々なサウンドを得ることができます。

MIDI OUTセクション：4ゾーンのマスターキーボード機能

MP11は、外部機器の操作、スタジオでの統合環境のマスターキーボードとして使用するためのMIDIセクションを備えています。最大4チャンネル同時に操作可能であり、アサイナブルノブを使用してコントロールチェンジを外部機器に送信したり、手元からDAW（Digital Audio Workstation）をコントロールすることができます。
MP11は、ライン入力端子と、付随したラインインフェーダーを備えており、ご愛用のハードウェア音源やシンセ、パソコンのソフトウェア音源などを接続し、手元での音量バランスのコントロールが可能です。

直感的な操作を実現する、ディスプレイとリアルタイムアサイナブルノブ

MP11のコントロールパネルは、ひと目で操作する場所がわかるように、音色に関連する機能がそれぞれグループ化して配置されています。そして、パネル中央に配置されたディスプレイを伴った4つのアサイナブルノブを使って、頻繁に操作するパラメータは演奏中ダイレクトに調整することができます。どこにどのパラメータがあるかなどに余計な神経を使わず、演奏のことだけに集中できます。

ステージミュージシャンの為の208セットアップメモリ

MP11は、選択された音色、ノブの値、フェーダーのレベル、その他調整されたパラメータを、「SETUP（セットアップ）」として、本体のメモリへ保存することができ、ボタンを押して瞬時に呼び出すことができます。200を超えるセットアップメモリは、演奏前に予めいくつもの設定を決めておきたいステージミュージシャンに最適です。

USBメモリが利用可能。各種ロード/セーブと『USBオーディオレコーダー』

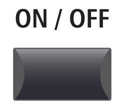
MP11は、MIDIデータをコンピュータとやりとりするための［USB to HOST］端子のほか、USBメモリなどにデータをロード/セーブする為の［USB to DEVICE］端子を備えています。内部メモリに保存された、カスタマイズされたサウンド群、セットアップメモリ、レコーダー（SMF形式）などのデータを、USBメモリへ保存することができます。

また、［USB to DEVICE］端子は、MP3やWAV形式のオーディオファイルの録音・再生にも対応しており、本格的なバッキング・トラックを使って演奏したり、曲のアイデアの為のメロディやコードを気軽に録音することも可能です。もちろん、MP11で保存したMP3、WAV、SMF形式のファイルは、DAW等で活用できます。曲のアイデアをMP3形式で録音し、そのままEメールに添付してメンバーに送付、というような利用も可能です。

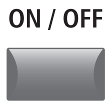
2 取扱説明書の表記について

この取扱説明書は、MP11の様々な機能を説明するために、いくつかのイラストを利用しています。
下記の例ではLEDの点灯/消灯/点滅、またボタンを押すパターン（通常/長押し/押しながら○○する）を表しています。

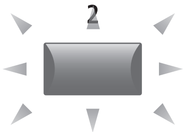
▌LEDの表示状態



LED消灯
SOUND / Funciton非選択状態



LED点灯
SOUND / 機能選択状態

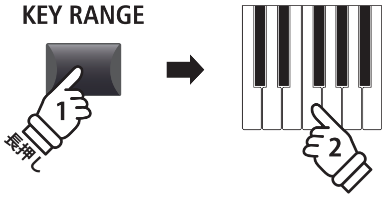


LED点滅
SOUND / 機能一時的に選択状態

▌ボタンを押すパターン

通常
音色または機能選択、
または機能のON/OFF

長押し
機能のパラメータ表示等



押しながら○○する
スプリットポイントやゾーン作成、
トランスポーズ設定等

▌テキストの表示

通常の説明はこのサイズ

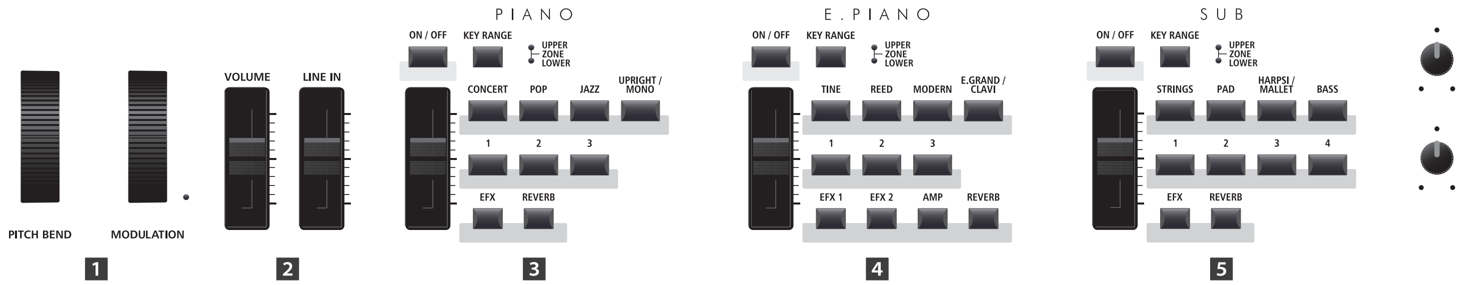
* 注記はこのサイズ

覚書、ヒントや追加説明は
イタリック体でこのサイズ

← **LCDのキャプションは太字で**
このサイズ

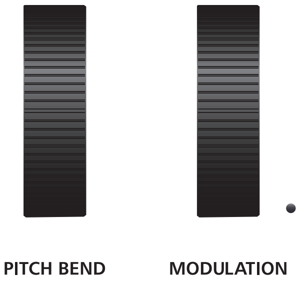
操作例はイタリック体で
このサイズで灰色の背景で囲む

各部の機能と名称



1 フロントパネル：ノブ、フェーダー、ボタン

1 コントロールホイール



［PITCH BEND］ホイール

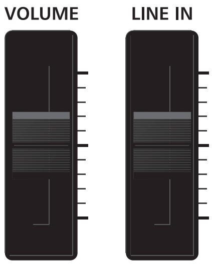
このホイールを上下に動かすと、音程が上下に変わります。

［MODULATION］ホイール

ビブラートのかかり具合を調整することができます。ホイールを上へ動かすとビブラートが深くかかります。ホイールポジションが0でないとき、LEDインジケーターが点灯します。

* モジュレーションホイールには別の機能をアサインすることもできます。P.45をご確認ください。

2 ボリューム フェーダー



ボリューム フェーダー

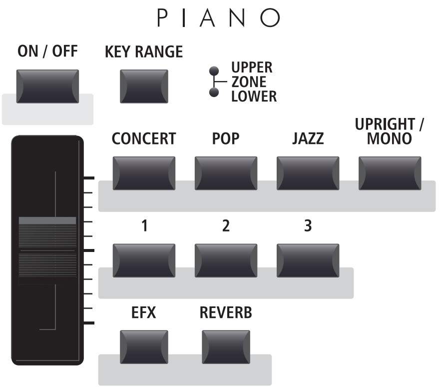
全体のボリュームを調整します。ノーマル出力、ヘッドホン出力に効きます。

* FIXED出力端子はボリューム固定です。

ラインイン フェーダー

ライン入力の音量を調整します。

3 PIANO セクション



［EFX］［REVERB］ボタン

PIANOセクションのリバーブ（残響効果）やエフェクトをON/OFFします。

* これらのボタンを長押しすると、エディットメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

［ON/OFF］ボタン

PIANOセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとPIANOセクションは発音しません。

［KEY RANGE］ボタン

PIANOセクションが有効となる鍵域を選択します。

UPPER/LOWER/ZONE LED

PIANOセクションの現在有効な鍵域を表示します。

ボリューム・フェーダー

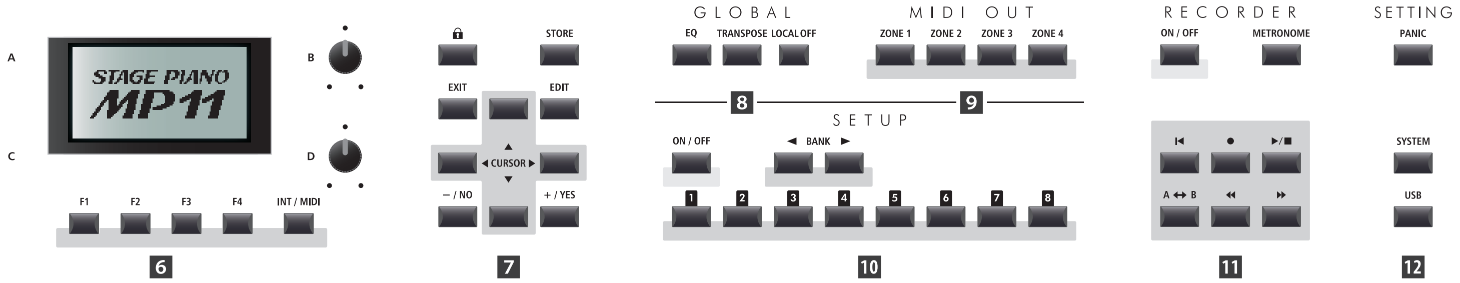
PIANOセクションの音量を調整します。

［CONCERT］［POP］［JAZZ］［UPRIGHT/MONO］ボタン

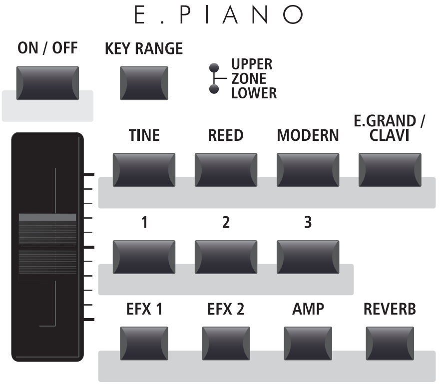
PIANO音色を4種類のタイプから選びます。

［1］［2］［3］ボタン

選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。



4 E.PIANOセクション



[ON/OFF]ボタン

E.PIANOセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとE.PIANOセクションは発音しません。

[KEY RANGE]ボタン

E.PIANOセクションが有効となる鍵域を選択します。

UPPER/LOWER/ZONE LED

E.PIANOセクションの現在有効な鍵域を表示します。

ボリューム・フェーダー

E.PIANOセクションの音量を調整します。

[TINE] [REED] [MODERN] [E.GRAND/CLAVI]ボタン

E.PIANO音色を4種類のタイプから選びます。

[1] [2] [3]ボタン

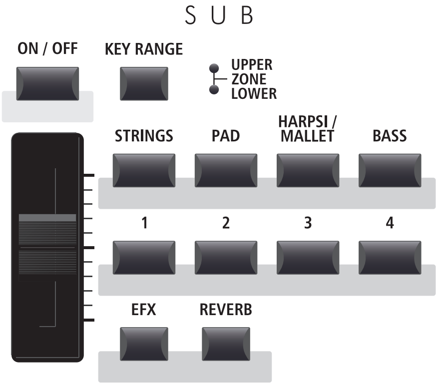
選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。

[EFX1] [EFX2] [AMP] [REVERB]ボタン

E.PIANOセクションのエフェクト（2個）やアンプシミュレータやリバーブ（残響効果）をON/OFFします。

* これらのボタンを長押しすると、エディットメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

5 SUBセクション



[EFX] [REVERB]ボタン

SUBセクションのエフェクトやリバーブ（残響効果）をON/OFFします。

* これらのボタンを長押しすると、エディットメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

[ON/OFF]ボタン

SUBセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとSUBセクションは発音しません。

[KEY RANGE]ボタン

SUBセクションが有効となる鍵域を選択します。

UPPER/LOWER/ZONE LED

SUBセクションの現在有効な鍵域を表示します。

ボリューム・フェーダー

SUBセクションの音量を調整します。

[STRINGS] [PAD] [HARPSI/MALLET] [BASS]ボタン

SUB音色を4種類のタイプから選びます。

[1] [2] [3] [4]ボタン

選択したタイプのバリエーションを4種類から選びます。

各部の機能と名称

6 ディスプレイ部

ディスプレイ

通常は［PIANO］［E.PIANO］［SUB］（MIDIセクションの場合は［ZONE1］［ZONE2］［ZONE3］［ZONE4］）のうち、選択されたセクションの音色名やパラメータの値を表示します。その他様々な機能を使う場合には、それぞれの値や状態を表示します。

［A］［B］［C］［D］ノブ

表示中のパラメータの値をリアルタイムにコントロールします。

* エディットメニューのノブアサイン設定ページでパラメータを自由に割り当てることができ、演奏中に好みのパラメータを操作することができます。（詳細はP.46をご確認ください）

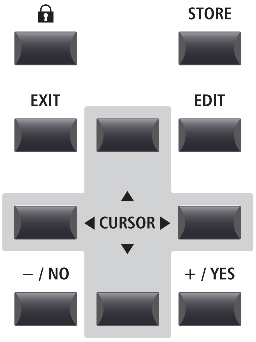
［INT/MIDI］ボタン

LCDに表示される機能を切り替えます。
INT（内部セクション）⇔MIDI（4-MIDI ZONE）

［F1］［F2］［F3］［F4］ボタン

通常はディスプレイに表示されるセクションを選択します。レコーダーなどのその他のモードでは、その時の機能が画面上に表示されます。

7 エディット部



［LOCK］（🔒）ボタン

パネルスイッチをロックして、演奏中の誤操作を防止します。ボタンが点灯している時、ロックされます。

［STORE］ボタン

各音色やパネルの設定状態を、SETUPとして本体内部に保存します。
また、各SOUNDそれぞれの設定状態や電源オン時の設定を保存できます。

［EXIT］ボタン

エディットモードから抜けたり、前のページへ戻ります。

［EDIT］ボタン

エディットモードへ入ります。エディットメニューが表示されているときは、選択されたそれぞれのパラメータエディットのページへ移行します。

［+/YES］［-/NO］ボタン

カーソルで選択した項目の値を設定します。動作確認が必要な画面では、実行するか否かを決定します。

［CURSOR］ボタン

画面中のカーソルを移動させたり、エディットモードのページをスクロールさせます。

8 GLOBALセクション

［EQ］ボタン

EQをON/OFFします。
長押しすることでEQの調整画面を表示します。

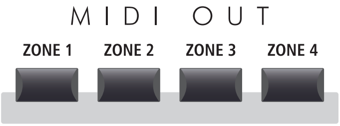
［LOCAL OFF］ボタン

［LOCAL OFF］ボタンを点灯させると、本体の鍵盤を弾いても本体から発音せず、MIDI入力のみ発音します。

［TRANSPOSE］ボタン

トランスポーズ（移調）機能をON/OFFします。
長押しすることでトランスポーズの設定画面を呼び出します。

9 MIDI OUT セクション

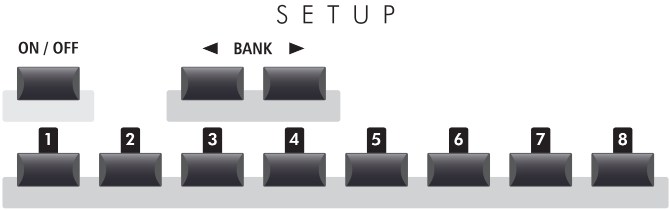


[ZONE1] [ZONE2] [ZONE3] [ZONE4] ボタン

それぞれの4つのMIDIゾーンをON/OFFします。

* 長押しすることで対応するMIDIゾーンのセッティング画面に移動します。

10 SETUP セクション



[ON/OFF] ボタン

SETUPモードをON/OFFします。

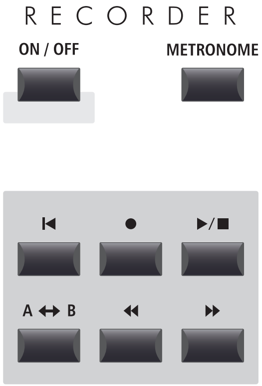
[BANK] ボタン

AからZまでの26バンクからSETUPのバンクを選択します。

メモリボタン

選択中のバンクから[1]～[8]のSETUPメモリを選択します。

11 RECORDER セクション



[ON/OFF] ボタン

[RECORDER]セクションの機能をON/OFFします。

[METRONOME] ボタン

メトロノーム機能をON/OFFします。

⏮（リセット）ボタン

MP11のレコーダをリセットします。
（リセット：MP3/WAVファイルの始めに戻る）

●（録音）▶/■（再生/停止）ボタン

内部メモリに録音したり、再生したりUSBメモリに保存されたMP3/WAVファイルを再生/停止します。

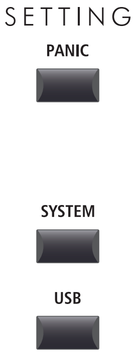
A ↔ B（A-Bループ）ボタン

録音データの任意の箇所区切り、そこのみを繰り返し再生することができます。

◀◀（早戻し）▶▶（早送り）ボタン

作業中の録音された曲や、MP3/WAVファイルを早戻し/早送りします。

12 SETTING セクション



[PANIC] ボタン

長押しすると、パネルの設定を電源オン時の状態へ戻し、オールノートオフとリセットオールコントローラーのメッセージをMIDI送信します。

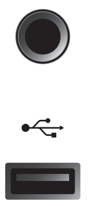
[SYSTEM] ボタン

MP11のシステム全体に関わる基本設定を行います。

[USB] ボタン

USBデバイス内のファイル操作を行います。

2 フロントパネル：端子



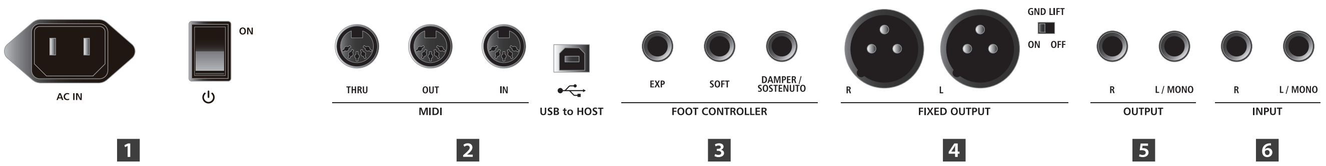
ヘッドホン端子

ヘッドホン端子はMP11前面左下（口棒左端）にあります。ステレオ標準プラグのヘッドホンをご使用ください。

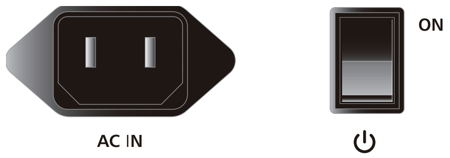
USB to DEVICE端子

USB to Device端子はコントロールパネル右端前面（右拍子木の上部）にあります。
USBメモリやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。
保存されている曲を再生したり、MP11で録音した曲をUSBメモリに保存することもできます。

3 リアパネル



1 電源部



AC IN端子

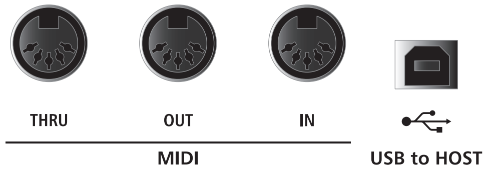
電源コードでAC100Vのコンセントと接続します。

POWERスイッチ

電源のON/OFFを行います。
ご使用後は必ず電源をお切りください。

* オートパワーオフ機能を使用される場合は一定時間操作がないときに自動的に電源がOFFされます。詳細はP.97をご確認ください。

2 MIDIセクション



MIDI THRU/OUT/IN端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

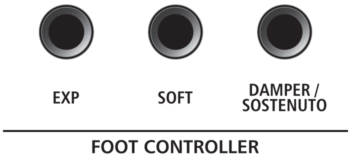
USB to HOST端子

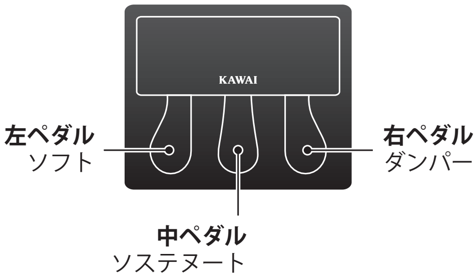
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

* ［USBtoHOST］端子を使ってコンピューターと接続するには、ご使用のOSに依ってドライバー・ソフトウェアのインストールが必要になる場合があります。（P.106の「USB MIDIドライバ」参照）

* USB-MIDIとMIDI IN/OUTは同時に使用する事が可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項（P.100）をご確認ください。

3 FOOT CONTROLLER セクション





EXP 端子

市販のエクスプレッションペダルと接続します。

SOFT 端子

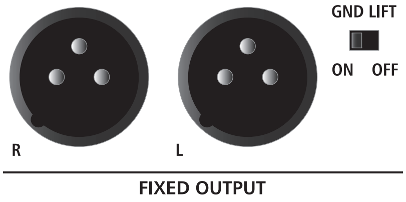
同梱のペダルF-30のケーブルのうち、モノラルプラグを接続します。
市販のフットスイッチを使用することも可能です。

DAMPER/SOSTENUTO（F-30）端子

同梱のペダルF-30のケーブルのうち、ステレオプラグを接続します。
ソステヌートペダル、ダンパーペダルとして使用します。
工場出荷時は左ペダルがソフトペダル、中央がソステヌート、右ペダルがダンパーに設定されています。

* これらのフットコントローラーは、エディットメニューでそれぞれの機能を設定可能です。（P.55 参照）

4 FIXED OUTPUT セクション



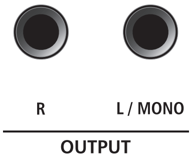
FIXED（R，L）端子

XLR端子を使って、本機とPA機器を接続します。
全体の音量を調整するVOLUMEフェーダーはバイパスして出力されます。

GND LIFT スイッチ

XLR端子で接続した機器との間にグランドループが生じると、ノイズの原因になることがあります。
グランドリフトSWは、ONにすることでこのグランドループを遮断します。通常はOFFに設定しておきます。

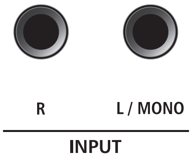
5 OUTPUT セクション



NORMAL（R，L/MONO）端子

標準プラグを使って、本機とPA機器やキーボードアンプを接続します。
L/MONO端子のみ接続した場合は、モノラル出力されます。

6 INPUT セクション

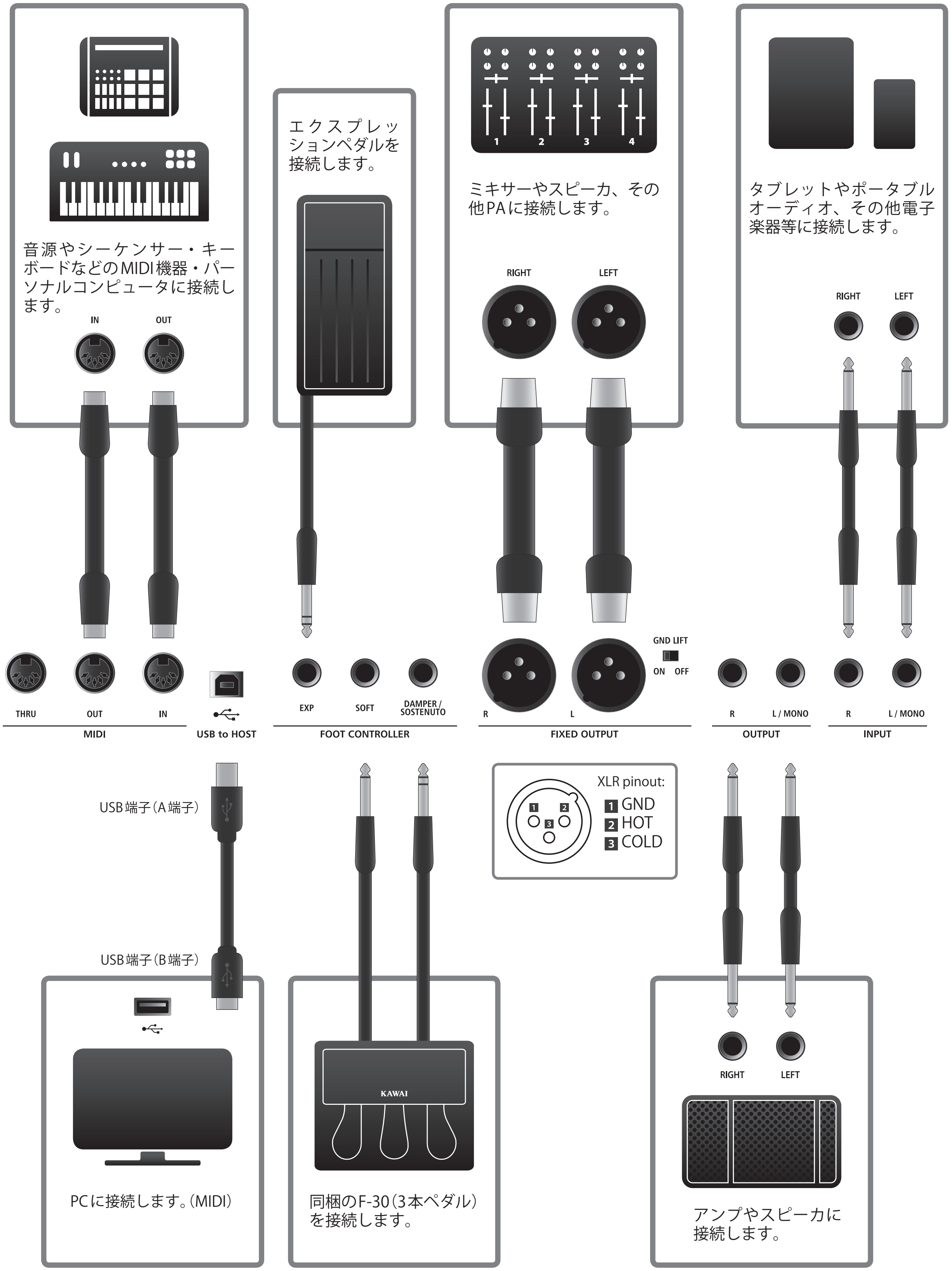


NORMAL（R，L/MONO）端子

標準プラグを使って、本機と他の電子楽器やオーディオ機器を接続します。
入力レベルは、LINE INフェーダーで調整します。
L/MONO端子のみ接続した場合は、モノラル入力されます。

* ラインインから入力された音もオーディオレコーダーに録音されます。

他の機器との接続


音源やシーケンサー・キーボードなどのMIDI機器・パーソナルコンピュータに接続します。
IN
OUT
エクスプレッションペダルを接続します。
ミキサーやスピーカ、その他PAに接続します。
RIGHT
LEFT
タブレットやポータブルオーディオ、その他電子楽器等に接続します。
RIGHT
LEFT
GND LIFT
ON OFF
THRU
OUT
IN
MIDI
USB to HOST
EXP
SOFT
DAMPER / SOSTENUTO
FOOT CONTROLLER
R
L
FIXED OUTPUT
R
L / MONO
OUTPUT
R
L / MONO
INPUT
USB端子(A端子)
USB端子(B端子)
XLR pinout:
1 GND
2 HOT
3 COLD
RIGHT
LEFT
KAWAI
PCに接続します。(MIDI)
同梱のF-30(3本ペダル)を接続します。
アンプやスピーカに接続します。

セクションの内部接続

アンプ・スピーカの接続

MP11はスピーカーを内蔵していませんので、PA機器やキーボードアンプ、またはヘッドホンに接続して演奏します。

オーディオ出力機器へ接続後、リアパネル右にある電源スイッチをONにしてMP11の電源を入れてください。

MP11のセクションについて

MP11は3つの内部音色セクションを持っています。それぞれのセクションは専用のボリュームフェーダーを持ち、個別にON/OFFできます。

PIANO、E.PIANO、SUBの内部音色セクションは、それぞれ複数の音色を持っており、4つの音色カテゴリボタンとそれぞれのカテゴリに分類された複数のバリエーションを選択可能です。

PIANOとSUBセクションは専用のEFX（エフェクト）モジュールを1つずつ、E.PIANOセクションは、専用のEFXモジュールを2つと、さらにアンプシミュレーターを装備しています。

MIDIセクションは4つの独立したゾーンに分かれています。内部音色同様、様々なエディットパラメータを設定、調整できます。
送受信チャンネル、MMC、鍵域、ノブアサイン等。

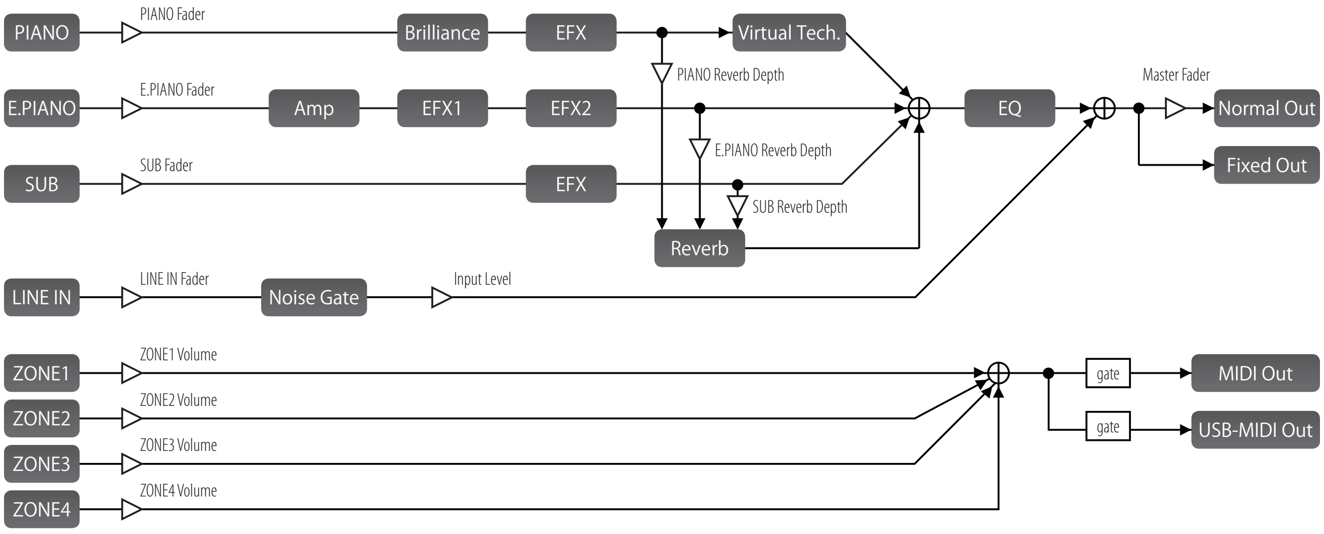
調整した各内部音色はそれぞれプリセット音色として記憶でき、目的の音色にカスタマイズすることができます。
これら演奏セクションの設定は、208個のセットアップメモリに記憶することができます。

リバーブセッティングは各セクション共通であり、DEPTHをそれぞれのセクション毎にコントロールする事ができます。

VOLUMEマスターフェーダーはNORMAL出力とヘッドホン出力に効きます。通常、FIXED出力をPA機器に、NORMAL出力をキーボードアンプへと接続することで、PA機器への出力レベルを固定させたまま、ステージ上でのモニター音量を手元のマスターフェーダー容易に調整できます。

内部ブロック図

MP11の4つの演奏セクションの内部構造を示します。



1 音色を選ぶ

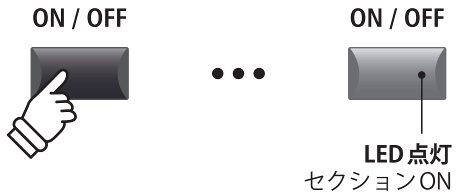
MP11のPIANO、E.PIANO、SUBの3つの内部音色セクションは、それぞれ同じように操作することができます。
このページでは、基本的な音色選択について説明します。

セクションをONにする

演奏したいセクションの[ON/OFF]ボタンを押して点灯させます。

[ON/OFF]ボタンの点灯しているセクションが発音状態です。

セクションがOFFになっていて、ディスプレイにそのセクションが表示されているときは音色名の前に*が付きます。

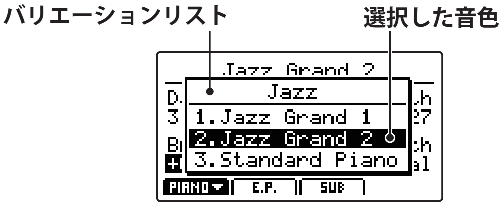


音色を選ぶ

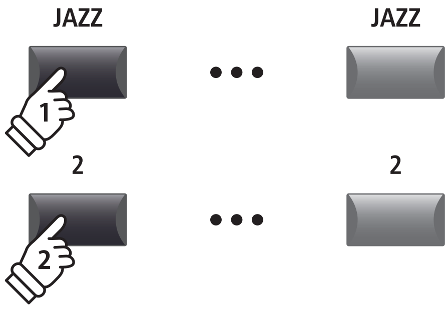
PIANOセクションをONにして、その他のセクションをOFFにします。

カテゴリボタンを押し、その次にバリエーションボタンを押します。

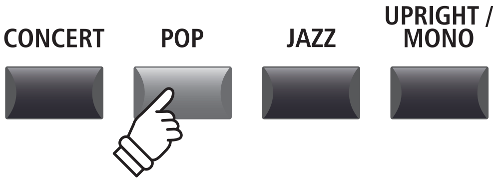
選択されたボタンが点灯し、そのカテゴリのリストがディスプレイにポップアップ表示されます。



異なるカテゴリ、バリエーションを選択すると、それに対応する音色に切り替わります。



例）Jazz Grand 2を選びます。
[JAZZ]ボタンを押し、バリエーション[2]ボタンを押します。

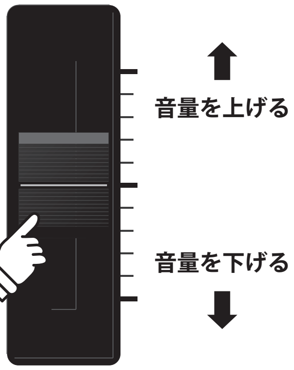


音量を調整する

各セクションの[ON/OFF]ボタン下のボリューム・フェーダーにより、それぞれの音量を調整します。

そのセクションの音量が、他のセクションとは独立して増減します。

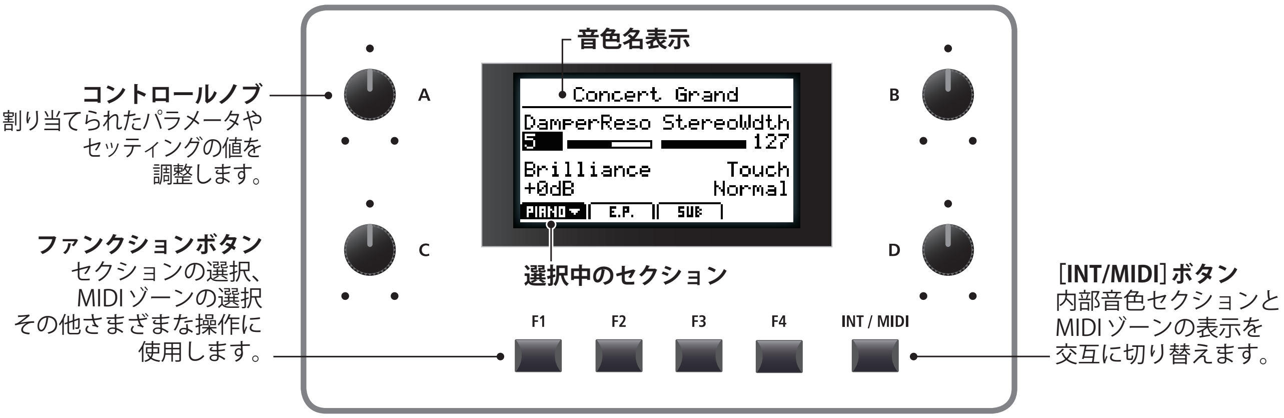
内部音色セクション全ての音量を同時に調整したい場合には、パネル左のボリュームフェーダーを調整してください。（P.10をご確認ください）



2 ディスプレイ/コントロールノブ

通常の演奏モードでは、ディスプレイに選択されたセクションの音色名と4つのA、B、C、Dノブのパラメータが表示されています。

それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができ、様々なパラメータを、4つのノブを使って演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。さらに、PIANO、E.PIANO、SUBの3つの内部セクションとMIDIセクションのZONE1 〜 4の4ゾーンのノブ・パラメータはそれぞれ2つのグループを持ち、幅広いコントロールが可能です。

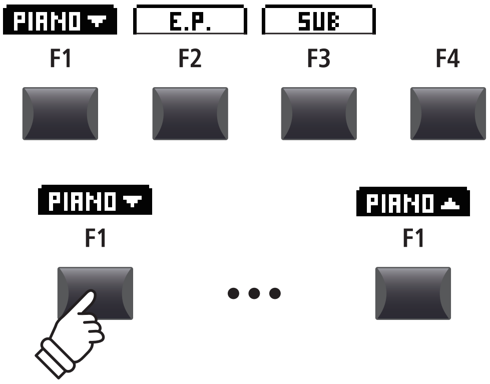


■ セクションとノブグループを選ぶ

ディスプレイ下のファンクション・ボタン[F1] [F2] [F3] [F4]を押して、目的のセクションの選択画面を表示させます。

選んだセクション名が反転し、選択中の音色のノブ・パラメータの第1グループが表示されます。

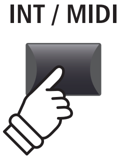
再度同じファンクション・ボタンを押すと、ノブ・パラメータの第2グループが表示されます。



■ 内部音色セクションとMIDIセクションの切り替え

[INT/MIDI]ボタンを押すとディスプレイに表示される画面が内部音色設定とMIDIの設定が交互に切り替わります。

* MIDIゾーンについての詳細はP.34をご確認ください。

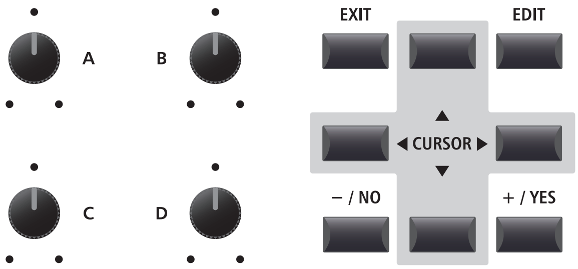


■ パラメータを調整する

ディスプレイ横の4つのコントロールノブを回して、表示されたノブ・グループのパラメータを調整します。

* それぞれのノブの機能はエディットメニューで割り当てることができます。(P.46の「7 Knob Assign（ノブアサイン）」参照)

[CURSOR]ボタンでカーソルを移動させ、[-/NO] [+/YES]ボタンで、値を調整することもできます。



3 リバーブ（REVERB）

リバーブは、MP11の音に残響効果を加えます。MP11は6種類の高品位なリバーブを用意しています。

各音色セクションは、個別に［ON/OFF］ボタンがあり、DEPTH（リバーブの深さ）はセクション毎にコントロールできます。

* エディットメニューのREVERB Type/Pre Delay/Timeパラメータは全てのセクションに共通です。

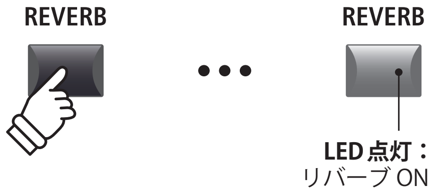
▌リバーブタイプ

タイプ内容	説明
Room	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
Lounge	ラウンジの残響音をシミュレートしています。
Small Hall	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
Concert Hall	コンサートホールでの残響音をシミュレートしています。
Live Hall	ライブホールでの残響音をシミュレートしています。
Cathedral	大聖堂での残響音をシミュレートしています。

▌リバーブのON/OFF

目的のセクションの［REVERB］ボタンを押して、そのセクションのリバーブをON/OFFします。

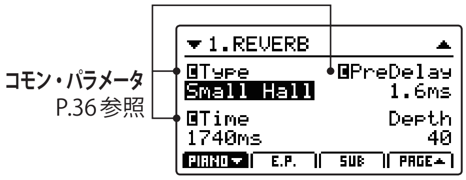
［REVERB］ボタンが点灯/消灯して、リバーブの現在の状態を示します。



▌リバーブタイプやその他のパラメータを変更する

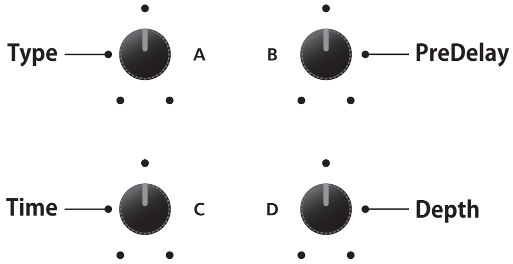
目的のセクションの［REVERB］ボタンを長押しします。

現在選ばれているセクションのエディットメニューのリバーブ設定ページがディスプレイに表示されます。



4つのコントロールノブを回して、リバーブ・タイプやその他のリバーブ・パラメータを調整します。

再度、［REVERB］ボタンを長押しして、設定ページから抜けます。



▌リバーブパラメータ

ノブ	パラメータ	説明	値
A	Type	リバーブの種類を選びます。	ー
B	PreDelay	残響が始まるまでの時間を設定します。	0 ～ 200ms
C	Time	残響の長さを設定します。	300ms ～ 10s（タイプにより異なる）
D	Depth	残響の深さを設定します。	0 ～ 127

4 エフェクト（EFX）

リバーブ以外にも音色にさまざまな効果を加えることができます。MP11は129種類の高品位なエフェクトを用意しています。

PIANOセクションとSUBセクションは1つのエフェクトモジュールを、E.PIANOセクションは直列に接続された2つのエフェクトモジュールを持っています。

エフェクトタイプはカテゴリによって分類されています。

EFXカテゴリ

	カテゴリ	タイプ		カテゴリ	タイプ		カテゴリ	タイプ		カテゴリ	タイプ
1	Chorus	8	7	Delay/Rev	8	13	Groove	4	19	Enhancer+	8
2	Flanger	5	8	PitchShift	3	14	Misc.	2	20	P.Shift+	6
3	Phaser	6	9	Compressor	2	15	Chorus+	6	21	Comp+	8
4	Wah	6	10	OverDrive	3	16	Phaser+	6	22	OverDrive+	8
5	Tremolo	6	11	EQ/Filter	5	17	Wah+	6	23	Parallel	6
6	AutoPan	4	12	Rotary	5	18	EQ+	8	TOTAL		129

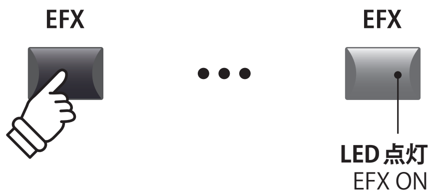
* 15 ～ 23はコンビネーションエフェクトです。詳細は付録ページでご確認いただけます。

エフェクトのON/OFF

目的のセクションの［EFX］ボタンを押して、そのセクションのエフェクトをON/OFFします。

［EFX］ボタンが点灯/消灯して、エフェクトの現在の状態を示します。

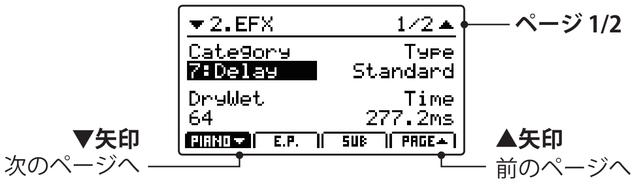
* E.PIANOセクションの［EFX1］と［EFX2］ボタンも同様にON/OFFできます。



エフェクト・タイプやその他のパラメータを変更する

目的のセクションの［EFX］ボタンを長押しします。

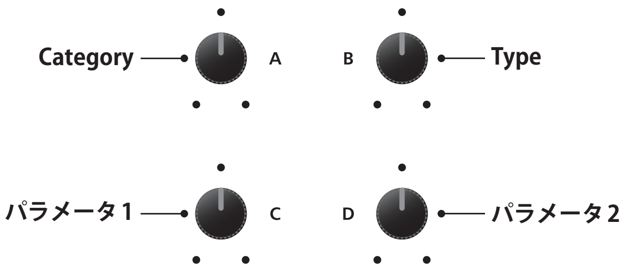
現在選ばれているセクションのエディットメニューのエフェクト設定ページがディスプレイに表示されます。



4つのコントロールノブを回して、エフェクトカテゴリ・タイプやその他のエフェクト・パラメータを調整します。

* エフェクトのパラメータの数はエフェクトタイプに依存します。
* ［F1］，［F2］，［F3］（対応するセクション）または［F4］ボタンを押すと次のページに移動します。

再度、［EFX］ボタンを長押しし、設定ページから抜けます。



* ノブにアサインされるパラメータは表示されているページよって変化します。

5 アンプシミュレータ（E.PIANOセクション）

アンプやスピーカー・キャビネットの音色のキャラクターは、ビンテージエレピのサウンドにとって重要な要素です。MP11のアンプシミュレータは5つのアンプタイプと様々なパラメータを調整する事ができます。

アンプタイプ

アンプタイプ	説明
S. Case	スーツケースタイプのアンプで主にビンテージエレピに使用されます。
M. Stack	ポピュラーなスタックタイプの真空管アンプをシミュレートしています。
J. Combo	代表的なトランジスタアンプをシミュレートしています。
F. Bass	真空管ベース・アンプをシミュレートしています。
L. Cabi	ドローバーオルガン等に好んで使用されるアンプをシミュレートしています。

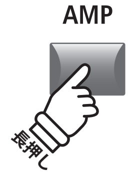
アンプシミュレータのON/OFF

E.PIANOセクションの［AMP］ボタンを押して、アンプシミュレータをON/OFFします。

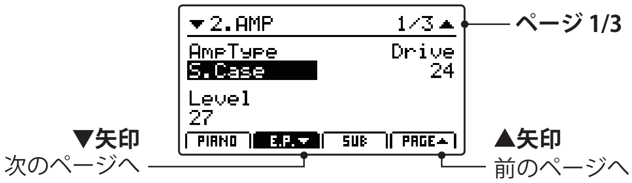
［AMP］ボタンが点灯/消灯して、アンプシミュレータの現在の状態を示します。

アンプタイプの変更とドライブ、レベルの調整

E.PIANOセクションの［AMP］ボタンを長押しします。



現在選ばれているセクションのエディットメニューのアンプ設定ページがディスプレイに表示されます。

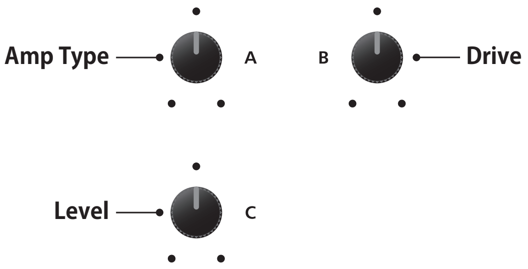


［A］［B］［C］のコントロールノブを回して、アンプ・タイプ、ドライブ、レベルを調整します。

* パラメータの詳細はP.23をご確認ください。

* ［F2］または［F4］ボタンを押すと別のパラメータが表示されます。

再度［AMP］ボタンを長押しして、設定ページから抜けます。



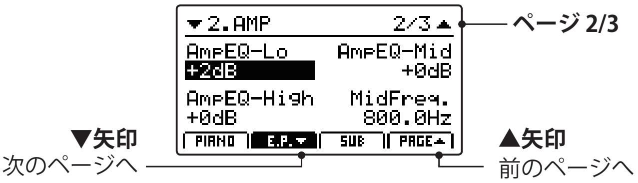
* 上のノブアサインは表示されているページよって変化します。

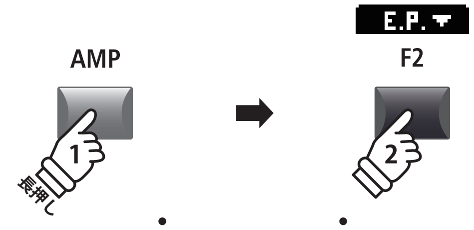
アンプシミュレータのパラメータ

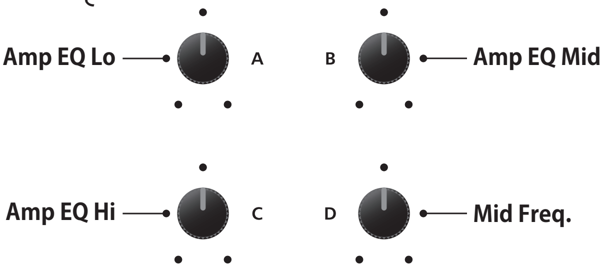
ページ	ノブ	パラメータ	説明	調整範囲
1	A	Amp Type	アンプタイプを変更します。	P.22参照
	B	Drive	アンプのドライブレベルを調整します。	0 ～ 127
	C	Level	アンプのボリュームを調整します。	0 ～ 127
2	A	Amp EQ Lo	アンプの低音域のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
	B	Amp EQ Mid	アンプの中音域のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
	C	Amp EQ Hi	アンプの高音域のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
	D	Mid Frequency	アンプの中音域の中心周波数を調節します。	200Hz ～ 3150Hz
3	A	Mic Type	アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。	Condencer/Dinamic
	B	Mic Position	マイクの配置を調整します。	OnAxis/OffAxis
	C	Ambience	遠くに配置されたステレオマイクのミキシング割合を調整します。	0 ～ 127

アンプシミュレータのパラメータ調整

E.PIANOセクションの[AMP]ボタンを長押しし、さらに[F2]ボタンを押すとアンプの調整ページの2ページ目のパラメータが画面に表示されます。



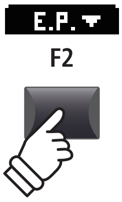


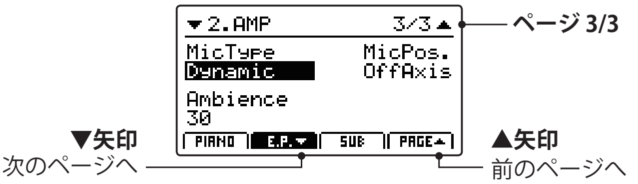


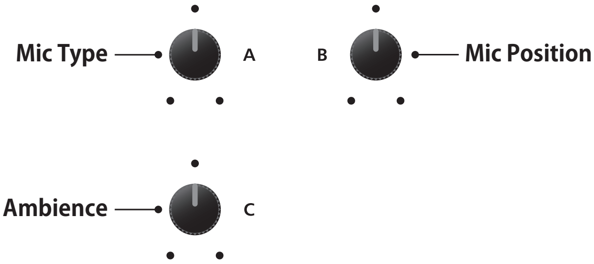
ノブ[A][B][C][D]を回すと、表示されているEQ Lo, Mid, Highのゲインと Midの周波数を調整する事ができます。

[F2]ボタンを再び押します。

アンプの調整ページの3ページ目が表示されます。







ノブ[A][B][C]を回すとマイクタイプ、ポジション、及びアンビエンスのパラメータを調整する事ができます。

6 キーレンジ（鍵域指定）

キーレンジの設定はそれぞれの音色セクション毎に可能です。

初期値はそれぞれの音色セクションで全鍵（88key）発音可能です。

鍵域（UPPER/LOWER/ZONE）を指定することで、任意の鍵域のみ発音可能にすることができます。

■ 鍵域のタイプ

鍵域のタイプ	KEY RANGE LED	説明
FULL	全て消灯	対応するセクションは全鍵発音します。
LOWER	LOWER点灯	鍵域は指定された鍵盤（スプリットポイント）を境に2つのパートに分けられ、指定された鍵盤より下の鍵盤のみ発音します。
UPPER	UPPER点灯	鍵域は指定された鍵盤（スプリットポイント）を境に2つのパートに分けられ、指定された鍵盤より上の鍵盤のみ発音します。
ZONE	LOWER/UPPER点灯	二つの指定された鍵盤（ゾーン）の間のみ発音します。

■ 鍵域タイプの選択

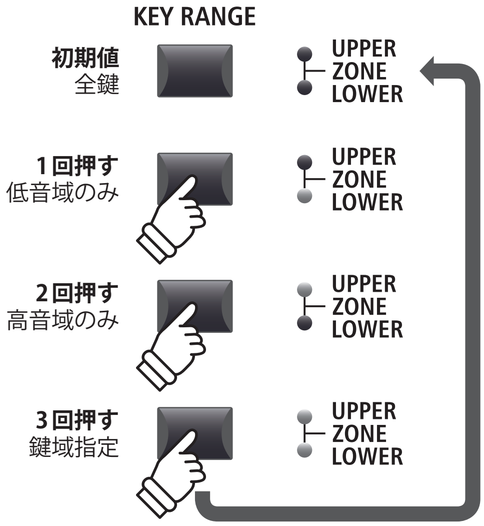
［KEY RANGE］ボタンを押す度に別の鍵域タイプが選択されます。
右の図のように4回押すと1巡します。

LED表示は選択されている鍵域タイプを示しています。

* スプリットポイントの初期値はF#2です。

* ZONEの場合、初期状態では全鍵発音します。

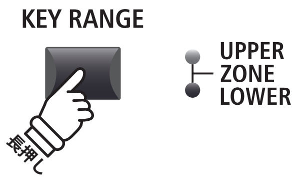
* スプリットポイントは全セクション共通のパラメータです。共通パラメータの詳細はP.36をご確認ください。

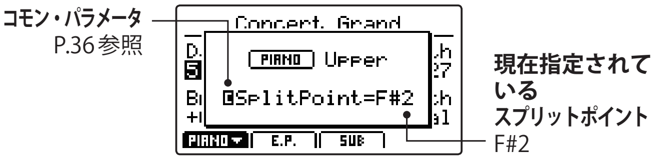


■ スプリットポイントを確認する

［KEY RANGE］ボタンでLOWERまたはUPPERを選んだ状態で［KEY RANGE］ボタンを長押ししてください。

現在のスプリットポイントがディスプレイに表示されます。





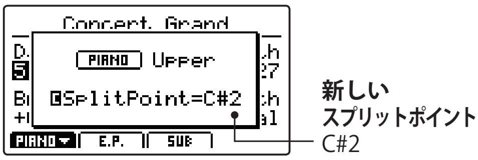
ボタンを離すと表示は消えます。

スプリットポイントを指定する

[KEY RANGE]ボタンでLOWERまたはUPPERを選んだ状態で：

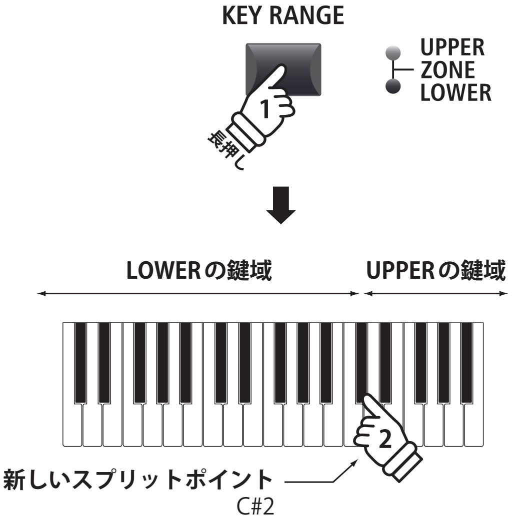
[KEY RANGE]ボタンを長押ししたまま、スプリットポイントにしたい鍵盤を押します。

押された鍵盤名がディスプレイに表示され、その鍵盤が新しいスプリットポイントになります。



[KEY RANGE]ボタンを離すとスプリットポイントの表示が消えます。

* スプリットポイントはすべての内部音色セクションとMIDIゾーンで共通です（コモンパラメータ）。詳細はP.36をご確認ください。



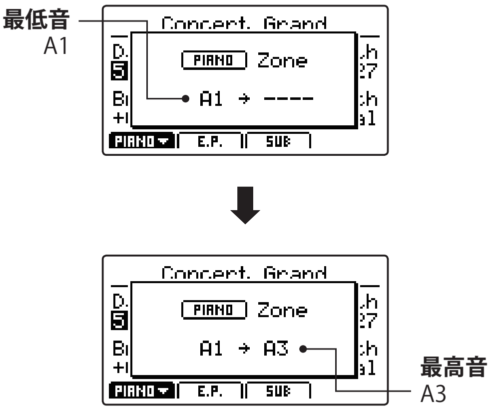
例）C#2をスプリットポイントにしたいときは[KEY RANGE]ボタンを長押しした状態でC#2の鍵盤を押します。

鍵域（ゾーン）を指定する

[KEY RANGE]ボタンを押してZoneタイプ（UPPER/LOWER点灯）を選んだ状態で：

[KEY RANGE]ボタンを長押しし、その状態で有効にしたい鍵域の最低音を押し、その次に有効にしたい鍵域の最高音を押します。

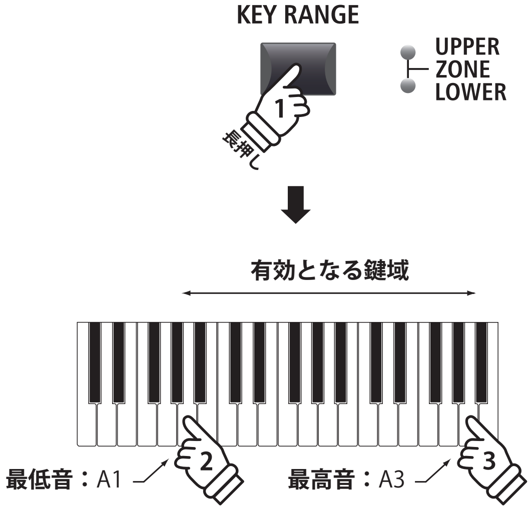
押された鍵盤名がディスプレイに表示され、その鍵域が新しいZONEになります。



[KEY RANGE]ボタンを離すと表示が消えます。

* 鍵域（ZONE）はセクション毎に指定する事ができます。KEY RANGEパラメータについての詳細はP.43をご確認ください。

* [KEY RANGE]ボタンを長押しすることで、現在指定されているZONEを確認する事ができます。



例）A1-A3を有効鍵域（ZONE）に設定にしたいときは[KEY RANGE]ボタンを長押しした状態でA1（ZONEの最低音）を押し、次にそのままA3（ZONEの最高音）の鍵盤を押します。
その後、[KEY RANGE]ボタンを離します。

内部音色セクション/パラメータ

1 PIANOセクション

MP11のPIANOセクションは、CONCERT、POP、JAZZ、UPRIGHT/MONOの4つのカテゴリに配置された12個の異なるピアノ音色を用意しています。各ピアノ音色は、複数のマイクポジションにより膨大にサンプリングし、丁寧に調整されたカワイのコンサートグランドピアノEXを含むカワイのピアノ音色です。様々な音楽スタイルに適した秀逸なピアノ音色を搭載しています。

ピアノセクションの音色

カテゴリ	No.	音色名	説明
CONCERT	1	Concert Grand	豊かでダイナミックなコンサート・グランド・ピアノです。
	2	Studio Grand	明るく力強いサウンドです。
	3	Mellow Grand	ソフトで暖かいグランド・ピアノ音色です。
POP	1	Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録した明るく刺激的なグランドピアノ音色です。
	2	Bright Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録した鋭く鮮やかなグランドピアノ音色です。
	3	Mellow Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録したソフトで暖かいグランドピアノ音色です。
JAZZ	1	Jazz Grand 1	トラディショナルジャズに適したマイクポジションで収録した暖かく力強いジャズピアノ音色です。
	2	Jazz Grand 2	モダンジャズやフュージョン系に適した明るく深みのあるジャズピアノ音色です。
	3	Standard Grand	クリアーなコンサートグランド音色です。
UPRIGHT / MONO	1	Upright Piano	アップライトピアノ音色です。
	2	Mono Pop Piano	モノラルの明るいピアノサウンドです。
	3	Mono Concert Piano	モノラルのダイナミックなピアノサウンドです。

PIANOセクションのバーチャルテクニシャンについて

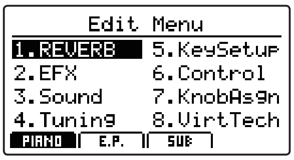
調律はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

PIANOセクションのバーチャルテクニシャン・パラメータはこれらの作業をシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

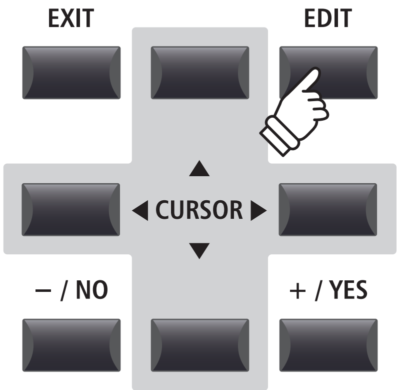
バーチャルテクニシャンのエディットメニューに入る

PIANOセクションを選んだ状態で（[F1]ボタンを押した状態で）[EDIT]ボタンを押します。

PIANOセクションのエディットメニューがディスプレイに表示されます。



十字カーソルボタンを押して8.VirtTechを選択し、[+/YES]ボタンを押してバーチャルテクニシャンのパラメータページに移動します。



▌バーチャルテクニシャンのパラメーター覧

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Voicing	弦を叩くハンマーの状態（硬さ）を調整します。	下部参照
	B	Stereo Width	ピアノ・サウンドの左右の拡がりを調整します。	0 ～ 127
	C	String Resonance	ピアノの弦の共鳴効果の量を調整します。	OFF，1 ～ 10
	D	Damper Resonance	ダンパーを踏んだ時のピアノ全体の共鳴効果の量を調整します。	OFF，1 ～ 10
2	A	Key-off Effect	鍵盤を強く弾いてから離したときにダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。	OFF，1 ～ 10
	B	Damper Noise	ダンパーを踏んだ時と離したときに発生する音の音量を調整します。	OFF，1 ～ 10
	C	Hammer Delay	鍵盤を弾いてからのハンマーが動作する際の遅れ（タイミング）を調整します。	OFF，1 ～ 10
	D	Fall-back Noise	鍵盤アクションが戻る際の音の音量を調整します。	OFF，1 ～ 10
3	A	Topboard	大屋根の開き具合を調整します。	下部参照
	B	Brilliance	ピアノの音色の明るさ（艶）を調整します。	-10dB ～ +10dB

* Voicingのタイプ：Normal，Mellow1，Mellow2，Dynamic，Bright1，Bright2
  Topboardのタイプ：Close，Open1，Open2，Open3

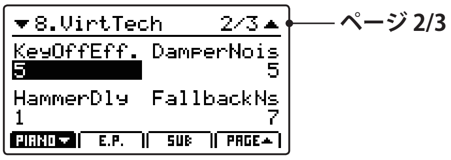
* バーチャルテクニシャンパラメータについての詳細はP.48をご確認ください。

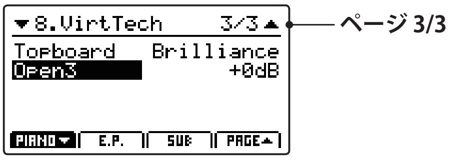
▌バーチャルテクニシャンのパラメータを調整する

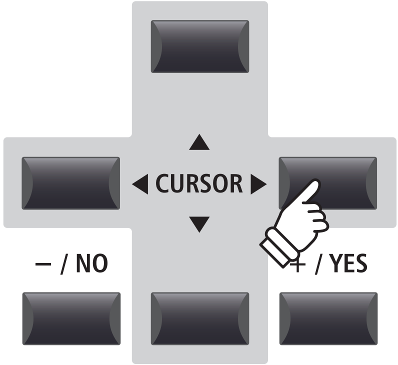
バーチャルテクニシャンのパラメータ表示画面で十字カーソルボタンでパラメータを選択します。

* カーソルの上下ボタンまたは[F1]、[F4]ボタンでページを移動する事ができます。

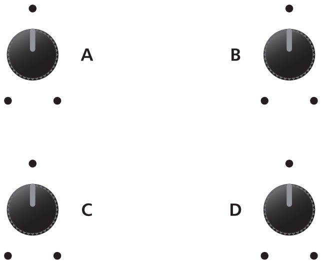
[+/YES]ボタン、[-/NO]ボタンを押すことで値を増減（調節）する事ができます。



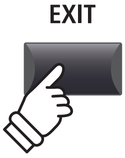




または



また、ノブ[A][B][C][D]を回すことでも画面上で対応する値を調整する事ができます。



[EXIT]ボタンを押すことでエディットメニューに戻ります。

2 E.PIANOセクション

MP11のE.PIANOセクションは、TINE、REED、MODERN、E.GRAND/CLAVIの4つのカテゴリに配置された12個の異なるエレクトリックピアノサウンドを用意しています。
各エレクトリックピアノサウンドは、キーオフ時のレスポンスまでオリジナルのビンテージ楽器を忠実に再現、ビンテージエレピのリアルなサウンドをお楽しみいただけます。

* ビンテージエレピ特有のキーオフノイズの音量とタイミングを調整することができます。(P.49の「Key-Off Noise/Key-Off Delay(E.PIANOセクション)」参照)

また、最大2つまで使用可能なエフェクトと、アンプやスピーカーキャビネットのシミュレーションが、豊かなサウンドを生み出します。

■E.PIANOセクションの音色

カテゴリ	No.	音色名	説明
TINE	1	Tine EP 1	金属片をハンマーでたたくタイプのエレクトリックピアノです。
	2	Tine EP 2	金属的なアタックを強調し、より明るい音へ調整されたモデルのサウンドです。
	3	Tine EP 3	明るいアタックを持ったエレピサウンドです。
REED	1	Reed EP 1	振動板をハンマーで叩いて発音する構造の代表的なエレクトリックピアノサウンドです。
	2	Reed EP 2	強打したときに独特の歪み気味のトーンを持つ、明るい音に調整されたサウンドです。
	3	Reed EP 3	中音域を強調し、より暖かい音に調整されたサウンドです。
MODERN	1	Modern EP 1	TINE EPタイプの音を電子的に再現した、典型的なシンセエレピ音色です。
	2	Modern EP 2	豊かな響きを持つシンセエレピ音色です。
	3	Modern EP 3	より暖かいサウンドのシンセエレピ音色です。
E.GRAND / CLAVI	1	Electric Grand	強いアタック音を持つエレクトリックグランドピアノです。
	2	Clavi 1	ファンクミュージックに適したセッティングのキーボードサウンドです。
	3	Clavi 2	よりナチュラルなピックアップのセッティングのクラビサウンドです。

■アンプシミュレータとバーチャルテクニシャンについて

P.22に説明されている通り、E.PIANOセクションはアンプシミュレータを使用する事ができます。様々なタイプのアンプシミュレータがあり、EQやマイクセッティングを調整する事により好みの音色を作りだす事ができます。
また、E.PIANOセクションのバーチャルテクニシャンは鍵盤を離したときの音を調整する事ができます。これはビンテージエレクトリックピアノの動作をリアルにシミュレートしたものです。

■アンプシミュレータのパラメータ

P.23に詳細の記述がありますのでご確認ください。

■バーチャルテクニシャンのパラメータ(E.PIANOセクション)

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Key-off Noise	鍵盤を離したときの音の大きさを調整します。	OFF，1 ～ 127
	B	Key-off Delay	鍵盤を離したときの音が聞こえるまでの遅れ(時間)を調整します。	0 ～ 127

* 詳細はP.49をご確認ください。

■バーチャルテクニシャンの値を調整する

P.36をご確認ください。

演奏ガイド

3 SUBセクション

MP11のSUBセクションは、STRINGS、PAD、HARPSI/MALLETS、BASSの4つのカテゴリに、16種類の音色を用意しています。

これらの音色はPIANO、E.PIANOセクションの音と重ねて演奏したり、スプリット（ゾーン）指定して他の音色と合わせて演奏するのに向いています。もちろん、単音色での演奏もできます。

▌SUBセクションの音色

カテゴリ	No.	音色名	説明
STRINGS	1	String Ensemble	リッチな低音の響きを持つストリングアンサンブル音色です。
	2	Beautiful Str.	スローなアタックを持ち、ピアノとの組み合わせに最適なストリング音色です。
	3	String Pad	美しいストリングパッド音色です。
	4	Warm Strings	穏やかで低音感のあるストリング・アンサンブル音色です。
PAD	1	Pad 1	鋸歯状波で作られた明るいシンセパッドです。
	2	Pad 2	ゆったりとした厚みのあるシンセパッド音色です。
	3	Pad 3	矩形波をベースにしたシンセパッド音色です。
	4	Pad 4	ベルアタックを持つシンセパッド音色です。
HARPSI / MALLETS	1	Harpsichord	ステレオ・ハープシコード音色です。
	2	Vibraphone	温かいサウンドのビブラフォン音色です。
	3	Celesta	可憐なチェレスタ音色です。
	4	Marimba	標準的なマリンバ音色です。
BASS	1	Wood Bass	低音感があり、歌やピアノのバックに適したウッドベース音色です。
	2	Finger Bass	典型的なエレクトリックベース音色です。
	3	Fretless Bass	フレットのないエレクトリックベース音色です。
	4	Wood Bass & Ride	ライドシンバルと共にウッドベース音色が演奏できます。

▌SUBセクションのバーチャルテクニシャンについて

ハープシコードまたはベース音色が選ばれているとき、SUBセクションのバーチャルテクニシャンは離鍵時、離弦時の音をシミュレートします。

▌バーチャルテクニシャンのパラメータ（SUBセクション）

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Key-off Noise	鍵盤を離したときの音の大きさを調整します。	OFF，1 ～ 127
	B	Key-off Delay	鍵盤を離したときの音が聞こえるまでの遅れ（時間）を調整します。	0 ～ 127

* 上記のパラメータはHarpsicordまたはBass音色を選択した時のみ有効です。

* SUBセクションのバーチャルテクニシャンパラメータの詳細はP.49をご確認ください。

▌バーチャルテクニシャンのパラメータを調整する

P.36をご確認ください。

GLOBALセクション

1 EQ

EQでは、内部音色セクションに対して、4バンドのイコライジング調整ができます。

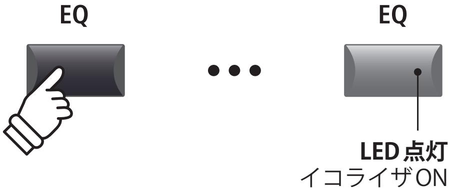
更に中音域の2バンドはパラメトリック・イコライザとして中心周波数とQ値を調整できます。

イコライザの設定は、全ての内部音色セクションに共通です。

EQのON/OFF

[EQ]ボタンを押して、イコライザをON/OFFします。

[EQ]ボタンが点灯/消灯して、イコライザの現在の状態を示します。



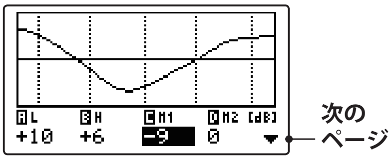
EQのパラメータ

ページ	ノブ	パラメータ	説明	値
1	A	Low Gain	低音域(20 ～ 100Hz)のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
	B	High Gain	高音域(5k ～ 20kHz)のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
	C	Mid1 Gain	中音域1(200 ～ 3150Hz・可変)のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
	D	Mid2 Gain	中音域2(200 ～ 3150Hz・可変)のゲインを調整します。	-10dB ～ +10dB
2	A	Mid1 Q	中音域1のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 ～ 4.0
	B	Mid2 Q	中音域2のQ値(帯域幅)を設定します。	0.5 ～ 4.0
	C	Mid1 Freq.	中音域1の中心周波数を調整します。	200Hz～3150Hz
	D	Mid2 Freq.	中音域2の中心周波数を調整します。	200Hz～3150Hz

EQのパラメータの調整

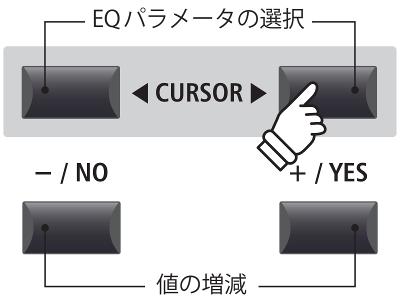
[EQ]ボタンを長押しします。

周波数特性を表すページがディスプレイに表示されます。
(ゲイン調整のページ)



カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+/YES]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A][B][C][D]を回すことでも画面上で対応する値を調整する事ができます。

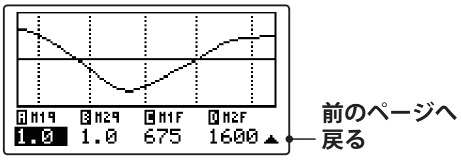


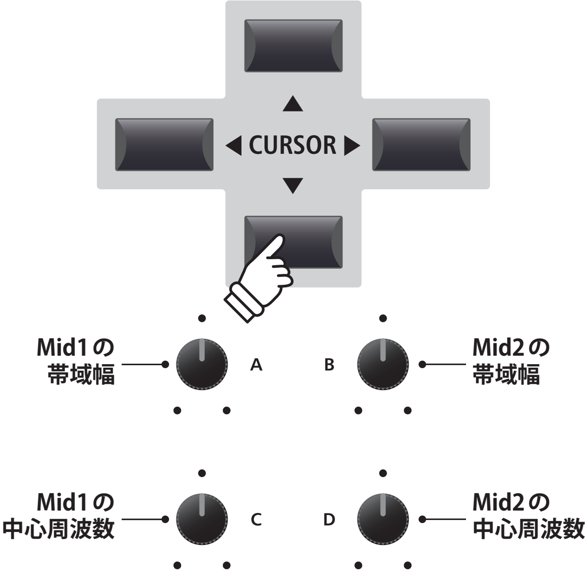
* [F1] ～ [F4]ボタンはパラメータ選択にも使用できます。また、選択されているパラメータに対応する[F1] ～ [F4]ボタンを再度押すと、帯域・周波数設定ページに移動します。

EQのパラメータの調整（続き）

EQのゲイン調整ページが表示されている状態でカーソルボタンの[▼]ボタンを押します。

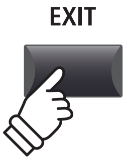
帯域・周波数設定ページがディスプレイに表示されます。





カーソルの左右ボタンを押して調整したいEQパラメータを選択し、[+/YES]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押して値を調整します。

また、ノブ[A] [B] [C] [D]を回すことでも画面上で対応する値を調整する事ができます。



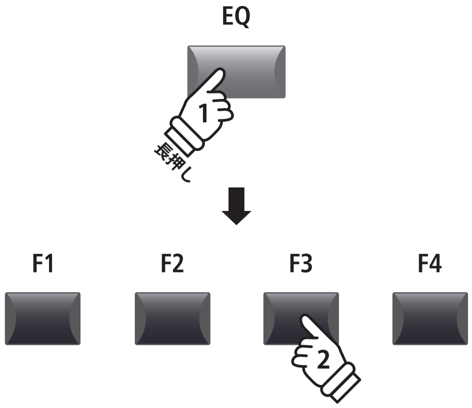
[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

EQ Offsetへのショートカット

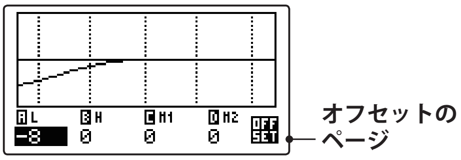
EQ Offsetはシステムメニューのパラメータで、EQで設定された値を補正（オフセット）する機能です。設定されたEQを変更することなく、システム全体のEQを補正することで、演奏環境に合わせてEQ設定を調整する事ができます。このショートカット機能により、EQオフセット機能の調整ページに移動する事ができます。EQ OffsetのON/OFFはシステムメニュー内にあります。

ショートカットの方法：

[EQ]ボタンを長押しし、そのまま[F1] ～ [F4]ボタンを押します。

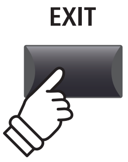


EQ Offsetの画面がディスプレイに表示されます。



EQ OffsetパラメータはEQパラメータの調整方法と同じです。

* EQ Offsetで調整された値はGlobalセクションのEQで設定された値に加算されます。(-10dB ～ +10dBを最大とする)



[EXIT]ボタンを押すとEQ画面に戻ります。
再度[EXIT]ボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

2 Transpose

トランスポーズ（移調）機能を使って、本機全体の音程を半音単位で変更することができます。

キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をする時にとても便利です。弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ トランスポーズのON/OFF

［TRANSPOSE］ボタンを押して、トランスポーズをON/OFFします。

［TRANSPOSE］ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

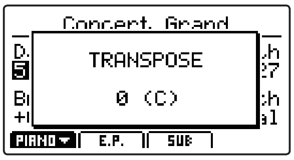
* トランスポーズがOFFされた後もトランスポーズ値を覚えていますので、［TRANSPOSE］ボタンのON/OFFで簡単に設定した調に切り換えることができます。

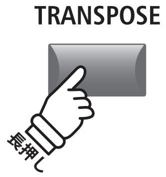
■ トランスポーズの値を表示させる

［TRANSPOSE］ボタンを長押します。

現在のトランスポーズの値がディスプレイに表示されます。

* 値が0（初期値）の時は、トランスポーズはかかりません。

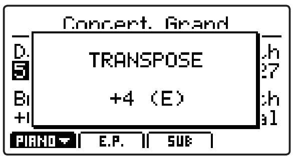




■ トランスポーズ値の設定：方法

［TRANSPOSE］ボタンを押さえたまま、［-/NO］［+/YES］ボタンを押して、半音単位でトランスポーズ値を増減します。

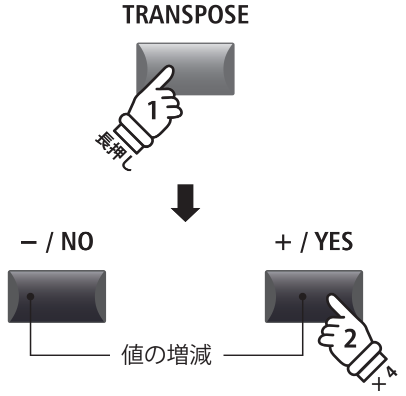
* トランスポーズ値は、-24 ～ +24（4オクターブ）の範囲で設定できます。



［TRANSPOSE］ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で［-/NO］［+/YES］ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



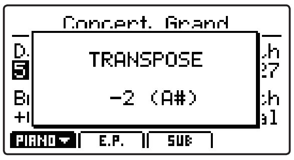
例）　4半音分、移調（上げる）したい場合
［TRANSPOSE］ボタンを長押しし、押したまま［+/YES］ボタンを4回押し、［TRANSPOSE］ボタンを離します。

▌トランスポーズ値の設定：方法2

［TRANSPOSE］ボタンを押さえたまま、中央のC（ド）の左右の鍵盤を押さえます。

押さえた鍵が、新たなトランスポーズ値となります。

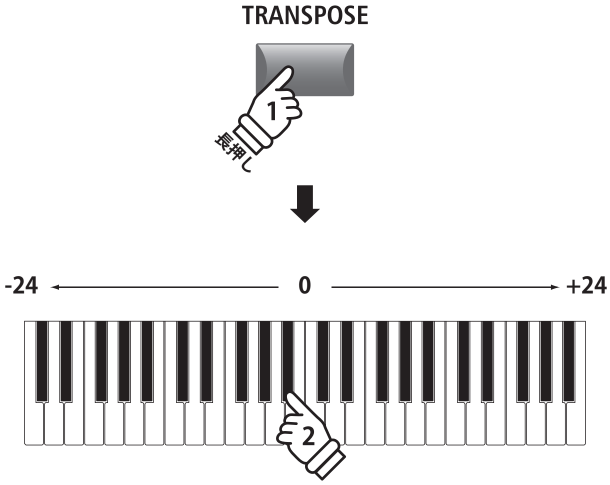
* トランスポーズ値は、-24 ～ +24（4オクターブ）の範囲で設定できます。



［TRANSPOSE］ボタンが点灯/消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

* トランスポーズ設定画面で［-/NO］［+/YES］ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は0へ戻ります。

* トランスポーズの値はシステムに自動的に保存されますが、ON/OFFの状態は保存されません。



例）　2半音分、移調（下げる）したい場合
［TRANSPOSE］ボタンを長押しし、押したまま中央のCの下のB♭鍵を押し、［TRANSPOSE］ボタンを離します。

演奏ガイド

MIDI OUT セクション

MP11のMIDI OUTセクションは外部MIDI機器をコントロールするための独立して調節可能な4つのゾーンを備えています。

MIDIチャンネルを各ZONEに割り当て、4つのリアルタイムコントロールノブでパラメータ調整ができます。

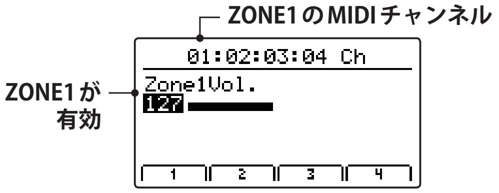
初期設定ではそれぞれのZONEは88鍵全てが発音しますが、内部音色セクションと同様に、有効となる鍵域（UPPER/LOWER/ZONE）を指定をして出力する事ができます。

■ MIDI ZONEのON/OFF

MIDIセクションの［ZONE］ボタンを押します。

ボタンを押す度にそのZONEがON/OFFします。
（LEDが点灯・消灯します）

アクティブなZONEとそれぞれのMIDIチャンネルがディスプレイに表示されます。



上記はMIDI ZONEの値を表示した画面で、ZONEをON/OFFすると自動的に表示されます。

例）ZONE1を有効にしたい場合、［ZONE1］ボタンを押します。

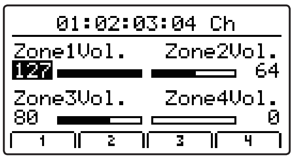
* ZONE1 〜 4にアサインされているMIDI CHの初期値は01，02，03，04です。それぞれのチャンネルの設定変更方法はP.52をご確認ください。

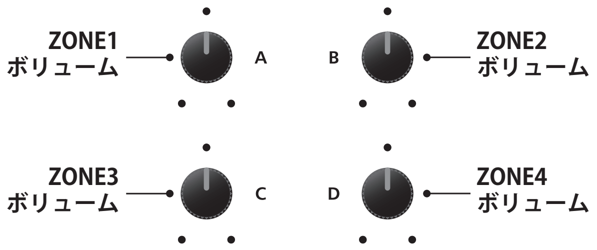
■ ZONEボリュームの調整

任意のZONEがONでMIDIゾーンボリューム調整画面がディスプレイに表示された状態で：

コントロールノブ［A］［B］［C］［D］を回すと、対応したZONEのボリュームが調整できます。

* 調整範囲は0 〜 127です。

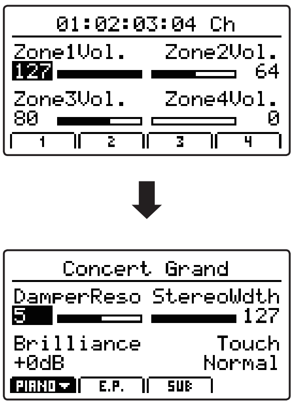




* カーソルボタンと［+/YES］［-/NO］ボタンを使用しても調整可能です。

■ 内部セクションの画面とMIDIセクションの画面の切り替え

［INT/MIDI］ボタンを押す度に、内部セクション設定画面とMIDIセクション設定画面が切り替わります。

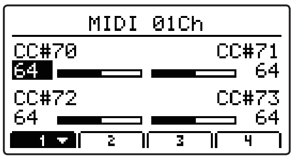


ZONEパラメータの調整（MIDIコントロールチェンジ）

MIDI ZONEボリューム調整画面から：

［F1］～［F4］ボタンを押します。

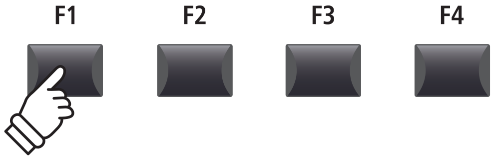
選ばれたZONEのMIDIコントロールチェンジの画面がディスプレイに表示されます。

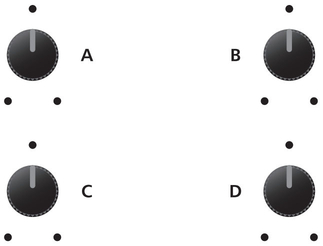


各ノブ［A］［B］［C］［D］を回すことで、それぞれに設定されたコントロールチェンジのパラメータを送信する事ができます。

* ノブに割り当てるコントロールチェンジについての詳細はP.56をご確認ください。

* 現在選択されているZONEに対応した［F1］～［F4］ボタンを押すと、パラメータの2ページ目に切り替わります。



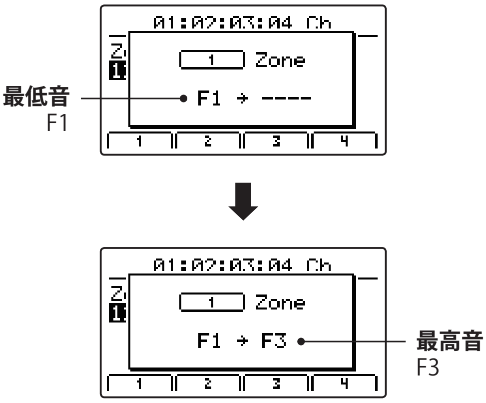


* カーソルボタンと［+/YES］［-/NO］ボタンを使用しても調整できます。

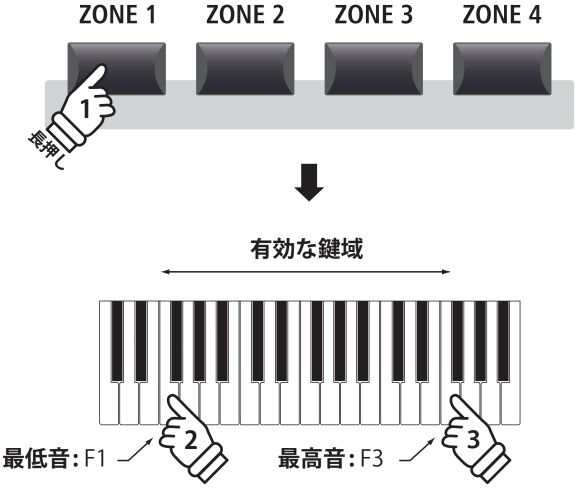
MIDI ZONEの鍵域指定

［ZONE］ボタンを長押しし、その状態で有効にしたい鍵域の最低音を押し、その次に有効にしたい鍵域の最高音を押します。

その際、LCDには鍵域が表示されます。



* 鍵域指定をリセット（88鍵が有効に）するには［ZONE］ボタンを長押しした状態で、鍵盤の最低音を押し、その後最高音を押します。



例）　ZONE1の鍵域をF1～F3に設定する。
［ZONE1］を長押ししたまま、最初にF1鍵を押し、その後F3鍵を押します。

LOCAL OFF（ローカルオフ）ボタン

［LOCAL OFF］ボタンを押して点灯させると、MP11の鍵盤と内部音源の接続が遮断されます。

通常は［LOCAL OFF］ボタンを消灯させて、MP11の鍵盤と内部音源を接続させます。
外部機器のエコーバック（ソフトスルー）機能がオンになっている場合、［LOCAL OFF］ボタンを点灯させて、ローカルオフの状態にしてください。
演奏した音の二重発音を防ぐことができます。

エディットメニューの概要（PIANO, E.PIANO, SUB）

エディットメニューには、MP11の内部音色セクションの設定を変更することができる様々なパラメータがあります。パラメータはカテゴリごとにまとめられており、目的のパラメータへのアクセスが容易です。

* エディットメニューはMIDI OUTセクションにも使用する事が可能です。（P.52をご確認ください）

このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます。（P.58の「ストアセットアップ」参照）

MP11は、26バンク×8セットアップの合計208セットアップメモリを用意しています。

コモンパラメータ（[C]アイコン）について

基本的に、PIANO、E.PIANO、SUBの3つの内部音色のパラメータの設定は、それぞれのセクションに独立に効きますが、[C]アイコンで印の付けられたパラメータは、3セクション共通のパラメータです。

例えば、[C]Reverb Typeをピアノセクションで変更すると、自動的にE.PIANOセクションとSUBセクションのReverb Typeパラメータも変更されます。さらに、[C]Split Pointは全ての内部音色セクションとMIDI ZONEで共通です。

PIANO/E.PIANO/SUBセクションのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	REVERB	[C] Type, [C] Pre Delay, [C] Time, Depth
2	EFX	Category, Type, Parameters (prm1~prm10, depending on EFX type)
	AMP	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ Lo, Amp EQ Mid, Amp EQ Hi, Mid Freq., Mic Type, Mic Position, Ambience
3	Sound	Volume, Panpot, Filter Cut-off, Filter Resonance, DCA Attack Time, DCA Decay Time, DCA Sustain Level, DCA Release Time, DCF Attack Time, DCF Attack Level, DCF Decay Time, DCF Sustain Level, DCF Release Time, DCF Touch Depth, DCA Touch Depth, Vibrate Depth, Vibrate Rate, Vibrate Delay, Octave Layer Switch, Octave Layer Level, Octave Layer Range, Octave Layer Detune, Layer Vocal, Layer Bell, Layer Air
4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
5	Key Setup	Key Range Type, [C] Split Point, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Octave Shift, Touch Curve, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Dynamics
6	Controllers	Right Pedal, [C] Right Pedal Assign, Soft Pedal Depth, Damper Pedal Mode, Center Pedal, [C] Center Pedal Assign, Left Pedal, [C] Left Pedal Assign, Pitch Bend, Pitch Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Expression Pedal, [C] Expression Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign
8	Virtual Technician	**PIANO:** Voicing, Stereo Width, String Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect, Damper Noise, Hammer Delay, Fall-back Noise, Topboard, Brilliance **E.PIANO/SUB*:** Key-off Noise, Key-off Delay

* SUBセクションのバーチャルテクニシャンパラメータはHarpsichordとBass音色にのみ有効です。

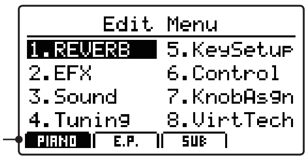
エディットメニューに入る

PIANO/E.PIANO/SUBのどれかが選ばれた状態で：

［EDIT］ボタンを押します。

［EDIT］ボタンのLEDが点灯し、選ばれているセクションのエディットメニューがディスプレイに表示されます。

PIANOセクションが選ばれた状態

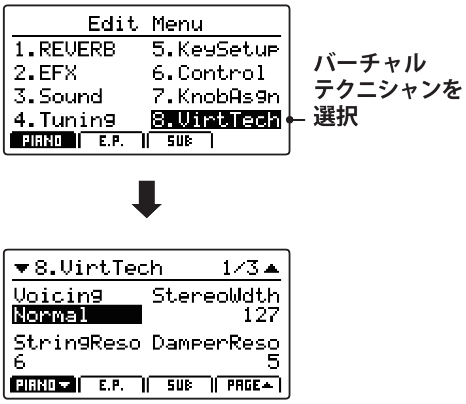


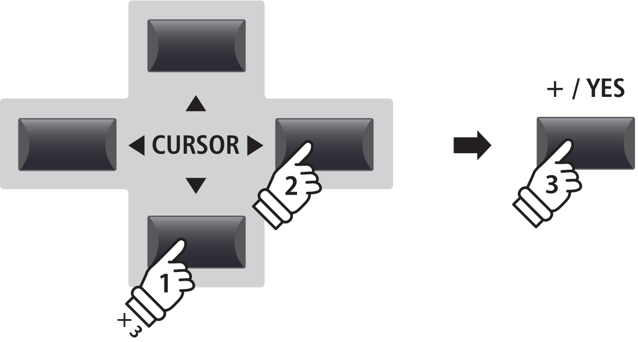
* セクションを変更するには［F1］～［F3］ボタンを押します。

パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニュー画面を表示した状態で：

十字カーソルボタンを押して設定したいカテゴリに移動し、[+/YES]ボタンを押してそのカテゴリを選択します。





例）　バーチャルテクニシャンカテゴリを選択するには、カーソル[▼]ボタンを3回押し、その後カーソル(◀)を一度押し、[+/YES]ボタンを押します。

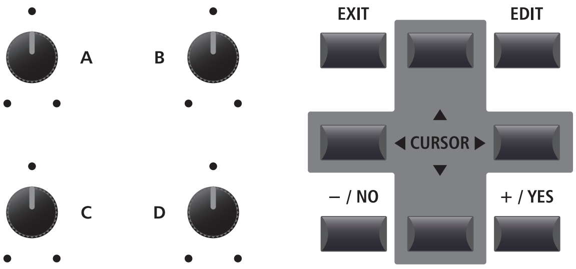
パラメータの調整

パラメータのカテゴリを選択した状態で：

各ノブ[A][B][C][D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整する事ができます。

また、パラメータは十字カーソルと[+/YES][-/NO]ボタンでも調整する事が可能です。

[EXIT]ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すとメイン画面に戻ります。



他の音色を選ぶと、パラメータの設定内容は失われてしまいますのでご注意ください。
* 設定した内容は、[STORE]ボタンを使って本体のメモリに保存します。(P.57の「STOREボタン」参照)

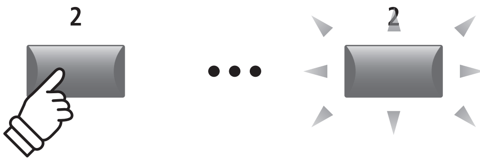
クイックコンペア

選択中のバリエーションボタンを押すと、"クイックコンペア"機能により、エディット中の音色と保存されている元の音色と、即座に比較することができます。

エディットモード中に：

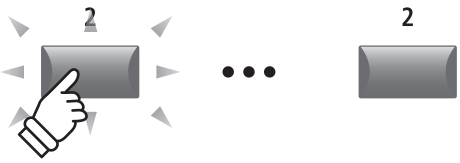
現在調整している音色ボタンを押します。

バリエーションボタンのLEDが点滅し、調整前の音色で発音します。



例えば、Studio Grand(PIANOセクション、CONCERTカテゴリ、バリエーション2)の調整中に比較する場合は、PIANOセクションのバリエーション[2]ボタンを押します。
[2]ボタンが点滅し、鍵盤を弾くと、保存されている調整前の音色が発音します。
再度、[2]ボタンを押すと、点滅が点灯に戻り、調整中の音色に戻ります。

再度バリエーションボタンを押すと点滅が点灯に戻り、調整中の音色で発音します。



エディットメニューのパラメータ(PIANO, E.PIANO, SUB)

1 Reverb(リバーブ)

1. Type(タイプ) 6タイプ

リバーブタイプを選びます。

* 詳細はP.20をご確認ください。

* このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。
* このパラメータはSOUNDには保存されません。(SETUPには保存可能です)

2. Pre Delay(プリディレイ) VALUE:0 ~ 200ms

リバーブの残響効果が開始するまでの遅延時間を調整します。

* 詳細はP.20をご確認ください。

* このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。
* このパラメータはセットアップ(SETUP)にのみ保存され、各音色のプリセット(SOUND)には保存されません。

3. Time(タイム) VALUE:300ms ~ 10.0s

リバーブの残響時間を調整します。

* 詳細はP.20をご確認ください。

* このパラメータは3つの内部音色セクション全てに共通です。
* このパラメータはセットアップ(SETUP)にのみ保存され、各音色のプリセット(SOUND)には保存されません。

4. Depth(デプス) VALUE:0 ~ 127

リバーブの残響効果の深さを調整します。

* 詳細はP.20をご確認ください。

2.1 EFX(エフェクト)

1. Category(カテゴリ) 23カテゴリ

エフェクトのカテゴリを選びます。

* 詳細はP.21をご確認ください。

* E.PIANOセクションは[EFX1]と[EFX2]の2ページがあります。

2. Type(タイプ) 129タイプ

エフェクト・タイプを選びます。

* 詳細はP.21をご確認ください。

* E.PIANOセクションは[EFX1]と[EFX2]の2ページがあります。

3. Parameters(パラメータ) N/A

これらのパラメータは、選択されたエフェクト・タイプによって異なります。
エフェクトのかかり具合(Dry/Wet)や、デプス(Depth)、スピード(Speed)、フィードバック(Feedback)などを調整します。

* 詳細はP.21をご確認ください。

2.2 AMP（アンプシミュレータ）(E.PIANO)

1. Amp Type（アンプ・タイプ）

5タイプ

アンプシミュレータのタイプを選択します。

* 詳細はP.23をご確認ください。

2. Drive（ドライブ）

VALUE：0～127

アンプシミュレータの歪みの量を調整します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

3. Level（レベル）

VALUE：0～127

アンプシミュレータの音量を調整します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

4. Amp EQ Lo（アンプEQ低音域）

VALUE：–10 dB～+10 dB

アンプシミュレータの低音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

5. Amp EQ Mid（アンプEQ中音域）

VALUE：–10 dB～+10 dB

アンプシミュレータの中音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

6. Amp EQ Hi（アンプEQ高音域）

VALUE：–10 dB～+10 dB

アンプシミュレータの高音域の周波数帯域をブースト/カットします。

* アンプEQはGLOABL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

7. Mid Frequency（中音域の周波数）

VALUE：200Hz～3150Hz

AMP EQ Midパラメータの中心周波数を設定します。

* アンプEQはGLOBAL EQとは独立して機能します。

* 詳細はP.22をご確認ください。

8. Mic Type（マイクの種類）

Condenser/Dynamic

アンプの音を集音するマイクの種類を選択します。

Mic Type	説明
Condenser	周波数レンジが広く、繊細なサウンドが特長で、スタジオレコーディングなどによく使用されます。
Dynamic	中音域の強調されたパワフルなサウンドが特長で、ライブなどでよく使用されます。

* 詳細はP.22をご確認ください。

9.Mic Position（マイクの配置）

OnAxis/OFFAxis

マイクの配置の違いをシミュレートします。

Mic Position	説明
On Axis	スピーカの中心軸を狙った配置です。中高域が強く出るのが特徴です。
Off Axis	スピーカの中心軸からずらした配置です。滑らかで拡がりがあるのが特徴です。

* 詳細はP.22をご確認ください。

10. Ambience

VALUE：0～127

少し離れた場所に置かれたステレオマイクの音をミックスします。音の拡がりや空気感が再現されます。

* 詳細はP.22をご確認ください。

3 Sound

1. Volume（ボリューム）
VALUE：0 ～ 127

目的の音色の音量を設定します。このパラメータは、ボリュームフェーダーと独立して効きます。

2. Panpot（パンポット）
VALUE：L64 ～ R63

ステレオの音像の中での左右の定位を調整します。

3. Filter Cut-off（カットオフ）
VALUE：–64 ～ +63

カットオフ周波数を調整します。値を大きくすると、サウンドが明るくなり、値を小さくすると、こもったサウンドになります。

4. Filter Resonance（レゾナンス）
VALUE：–64 ～ +63

カットオフ周波数周辺の倍音の量を調整します。

5. DCA Attack Time
VALUE：–64 ～ +63

音の立ち上がりの時間を調整します。値を大きくすると立ち上がりの時間が長くなり、音色のアタックが遅くなります。

6. DCA Decay Time
VALUE：–64 ～ +63

アタック後のサステインのレベルまで音量が下がる時間を調整します。

7. DCA Sustain Level
VALUE：–64 ～ +63

鍵盤を押さえている間に到達する音量レベルを調整します。

8. DCARelease Time
VALUE：–64 ～ +63

鍵盤を離してから音が消えるまでの時間を調整します。

9. DCF Attack Time
VALUE：–64 ～ +63

フィルタの立ち上がりの時間を調整します。値を大きくするとフィルタの立ち上がりの時間が長くなります。

10. DCF Attack Level
VALUE：–64 ～ +63

フィルタの立ち上がりの目標レベルを調整します。

11. DCF Decay Time
VALUE：–64 ～ +63

アタックレベルからサステインレベルまでフィルタが到達する時間を調整します。

12. DCF Sustain Level
VALUE：–64 ～ +63

鍵盤を押さえている間に到達するフィルタのレベルを調整します。

13. DCF Release Time
VALUE：–64 ～ +63

鍵盤を離してからカットオフ周波数までの到達時間を調整します。

14. DCF Touch Depth
VALUE：–64 ～ +63

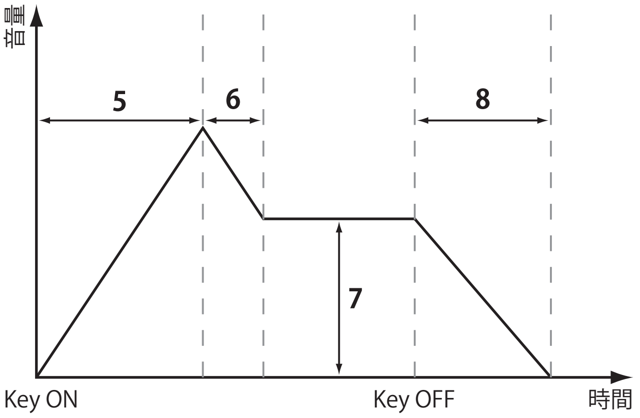
タッチによるフィルタ変化の効きを調整します。

15. DCA Touch Depth
VALUE：–64 ～ +63

タッチによる音量変化の効きを調整します。

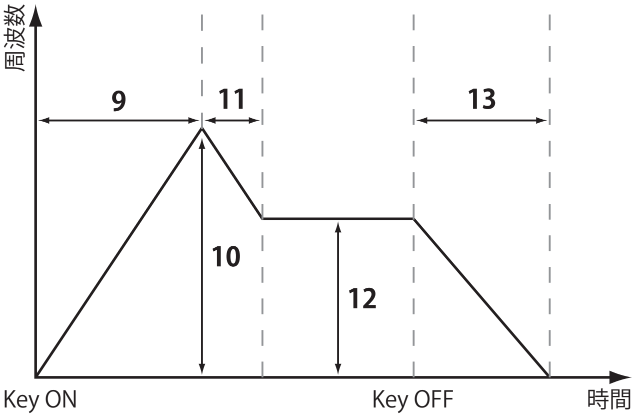
DCA パラメータについて

DCA（Digitally Controlled Amplifier）パラメータはエンベロープのボリューム調整に使用します。
下の図はMP11のDCAパラメータを示しています。



DCF パラメータについて

DCF（Digitally Controlled Filter）パラメータは音色に付加されるローパスフィルタの調整に使用します。
下の図はMP11のDCFパラメータを示しています。



16. Vibrate Depth

VALUE：–64 〜 +63

ビブラートの深さを調整します。

17. Vibrate Rate

VALUE：–64 〜 +63

ビブラートのスピードを調整します。

18. Vibrate Delay

VALUE：–64 〜 +63

ビブラートが始まるまでの時間を調整します。

19. Octave Layer Switch

OFF, On

SUBセクションの音色に追加するオクターブ音をON/OFFします。

20. Octave Layer Level

VALUE：0 〜 127

追加されるオクターブ音の音量を調整します。

21. Octave Layer Range

VALUE：–2 〜 +2

オクターブレイヤーに使用するオクターブ音のシフト量を設定します。

22. Octave Layer Detune

VALUE：–64 〜 +63

オクターブレイヤーのチューニングを調整します。

23. Layer Vocal

VALUE：OFF, 1 〜 127

追加するボーカル音の音量を調整します。

24. Layer Bell

VALUE：OFF, 1 〜 127

追加するベル音色の音量を調整します。

25. Layer Air

VALUE：OFF, 1 〜 127

追加するAir音の音量を調整します。

4 Tuning（チューニング）

1. Fine Tune

VALUE：–64 ～ +63

セクション間での音程調整を約±1/2半音の間で設定します。

2. Stretch Tuning（ストレッチチューニング）

9タイプ

ストレッチチューニングに関する設定を行います。OFF, Narrow1/2, Normal, Wide1/2/3/4/5の9種類から、選択できます。

ピアノは、より自然な響きを得る為、通常、基本となる音律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。このような調律方法をストレッチチューニングといいます。
"Normal"は標準的なチューニング、"Wide"はピアノの独奏に適したチューニングです。

3. Temperament（音律）

7タイプ＋2user

音律を選択します。

* USER音律を設定する方法についてはP.103をご確認ください。

4. Key of Temperament（音律の主音）

RANGE：C ～ B

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。
演奏する曲の調号に合わせます。

■ 音律の種類

種類	内容
Equal Temperament (Equal)	平均律。オクターブを等分割した現在では標準的な調律法です。どの調でも同じ響きが得られるという特徴があります。
Pure Temperament (Pure Maj./Pure Min.)	純正律（長調）。3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律（短調）。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
Pythagorean Temperament (Pythagorean)	Pytagorean（ピタゴラス音律）。5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
Meantone Temperament (Meantone)	Meantone（中全音律）。3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
Werkmeister III Temperament (Werkmeis) Kirnberger III Temperament (Kirnberg)	Werkmeister（ヴェルクマイスター第III法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正3度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。 Kirnberger（キルンベルガー第III法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、3度が純正に響く調と5度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映できる調律法です。
User Temperament (Sys.User1/2)	音律を自由に設定することができます。

* User1/2を調整するにはP.103をご確認ください。

5 Key Setup（キーボードセットアップ）

1. Key Range Type

Off, Upper, Lower, Zone

このパラメータは選択されたセクションのKey Range Type（有効となる鍵域）を選択します。

タイプ	説明
Off	88鍵全てが有効な鍵域です。
Upper	スプリットポイントを境に高音側のみ有効です。
Lower	スプリットポイントを境に低音側のみ有効です。
Zone	指定された2点の間のみ有効です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。（SETUPには保存可能です）

2. Split Point

RANGE：A-1 ～ C7

鍵盤の分割点を指定します。
その点を境にUPPER/LOWER鍵盤が指定されます。

* Key Range機能の詳細はP.24をご確認ください。
* このパラメータは内部セクション・MIDIセクション共通です。

3. Key Range Zone Lo

RANGE：A-1 ～ C7

ZONE（鍵域）の低音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeの機能の詳細はP.24をご確認ください。

4. Key Range Zone Hi

RANGE：A-1 ～ C7

ZONE（鍵域）の高音側の鍵盤を指定します。

* Key Rangeの機能の詳細はP.24をご確認ください。

5. Octave Shift

VALUE：–3 ～ +3 オクターブ

選択した音色のオクターブシフト値を設定します。

6. Touch Curve

6タイプ + 5 user

選択したセクションのタッチカーブを選択します。

* タッチカーブについての詳細はP.44をご確認ください。
* ユーザータッチカーブの作成についてはP.102をご確認ください。

7. Zone Transpose

VALUE：–12 ～ +12

選択した音色の移調量を設定します。

8. Key Scaling Damping

ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

キースケーリングとは：
高音域に行くにしたがって、ベロシティを次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際、高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

9. Key Scaling Key

RANGE：A-1 ～ C7

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。
この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

10. Dynamics

VALUE：OFF, 1 ～ 10

タッチレスポンスを調整します。

バリューが10（初期値）の時、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。
値を減少させていくと、徐々にベロシティの変化幅が小さくなります。
値をOffにすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

* 詳細はP.44をご確認ください。

5 Key Setup（キーボードセットアップ）(続き)

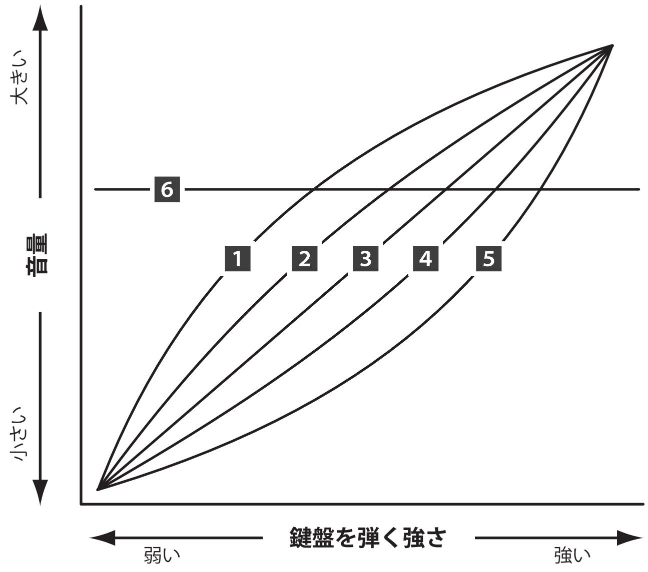
タッチカーブの種類

タッチカーブ	No	説明
Light +	1	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
Light	2	オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
Normal	3	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
Heavy	4	強いタッチでの演奏に向いています。
Heavy +	5	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
Off (constant)	6	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
User* (User 1~User 5)	–	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

* ユーザータッチカーブの作成方法はP.102をご確認ください。

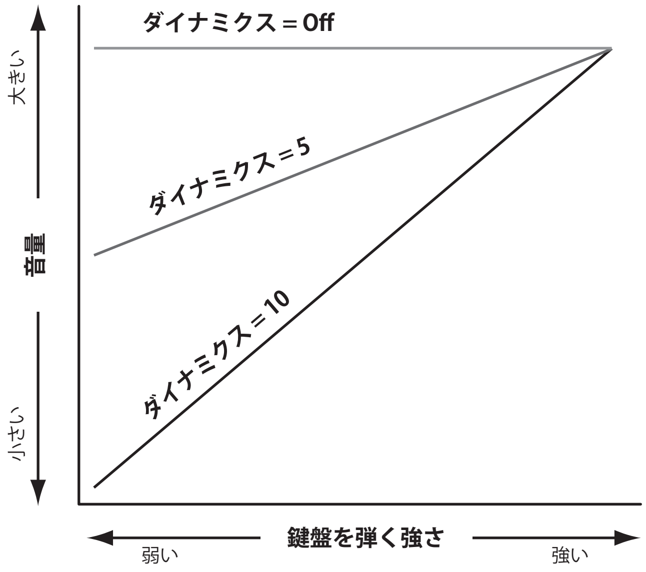
タッチカーブのグラフ

このグラフは異なるタッチカーブの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



ダイナミクスのグラフ

このグラフはダイナミクスの違いによる鍵盤を弾く強さと発音する音量の関係を示したものです。



6 Controllers（コントローラー）

1. Right Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、F-30ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

2. Right Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

F-30の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。

3. Soft Pedal Depth

VALUE：1 ～ 10

ソフトペダルの効果のかかる強さを調整します。

4. Damper Pedal Mode

Normal, Hold

ダンパーペダルの効果を選択します。“Hold”に設定すると、ストリングス等の持続音は、減衰せずに発音を保持し続けることができます。

5. Center Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、F-30の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

6. Center Pedal Assign

F-30の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。

7. Left Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、F-30の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

8. Left Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

F-30の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。

9. Pitch Bend

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

10. Pitch Bend Range

VALUE：0 ～ 7

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、PIANO/E.PIANO/SUBセクション（0 ～ 7）とMIDIセクション（0 ～ 12）で異なります。

11. Modulation Wheel

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

12. Modulation Wheel Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

13. Expression Pedal

ON, OFF

選択しているセクションの音色に対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.16をご確認ください。

14. Expression Pedal Assign

18 functions (PIANO, SUB)
28 functions (E.PIANO)

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはPIANO/E.PIANO/SUBセクション共通です。
* 接続するペダルについてはP.16をご確認ください。

■ペダル・ホイールに割り当て可能な機能

機能
Modulation
Panpot
Expression

機能
Damper
Sostenuto
Soft

機能
Resonance
Cut-off
EFX Parameter 1 ~ 10 (piano, sub) EFX1 Parameter 1 ~ 10, EFX2 Parameter 1 ~ 10 (e.piano)

エディットメニュー

7 Knob Assign（ノブアサイン）

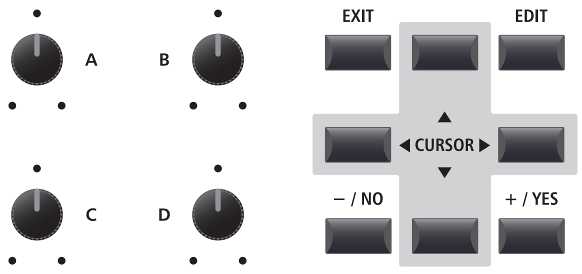
通常の演奏モードでの［A］［B］［C］［D］の4つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメータを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。ノブアサインは、各セクション毎に2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2＝8パラメータまでのコントロールを可能にします。

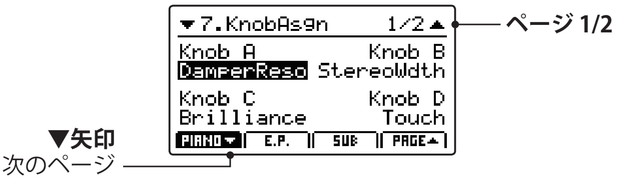
それぞれのノブにパラメータを割り当てる

目的のセクションのノブアサイン画面へ入ります。

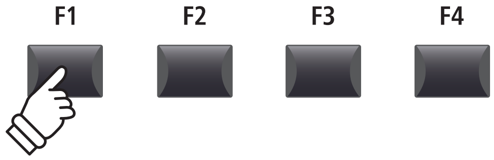
4つのコントロールノブを回して、演奏モードでコントロールしたいエディットモードのパラメータを割り当てます。（P.36の「PIANO/E.PIANO/SUBセクションのパラメータ」参照）

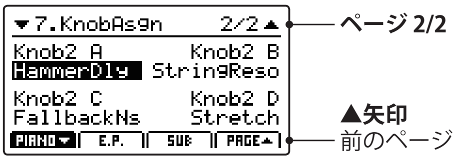
パラメータは十字カーソルボタンと［+/YES］［-/NO］ボタンで変更することもできます。





［F1］（［F2］［F3］）ボタンまたは［CURSOR▲］［CURSOR▼］ボタンを押して、第1、第2のノブグループを切り替えるができます。





* 割り当て可能な機能は音色セクションによって若干異なります。詳細はP.47をご確認ください。

* 演奏モードでのパラメータ調整方法についてはP.19をご確認ください。

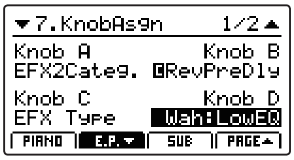
EFX（エフェクト）パラメータ名の代用語

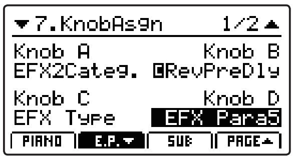
調整可能なパラメータ名や数はエフェクトごとに異なります。
EFXパラメータを4つのノブに割り当てるとき、選択しているエフェクトに有効なパラメータ名が表示されます。
（下の例ではWah：LowEQが割り当てられています）

この設定の状態で異なるエフェクトに変更した場合、（下の例ではPhaserを選択）ノブに割り当てられたパラメータ番号がない場合があります。
（調整可能なパラメータが少なくなった場合）

その場合、代替名がディスプレイに表示され、そのノブを使用しても何も起こりません。

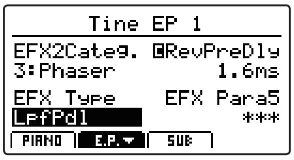
ノブアサイン画面
ClassicTchWahが選ばれています。ノブDにはLowEQパラメータが割り当てられています。





ノブアサイン画面
エフェクトを変更しLpfPdlWahを選ぶとノブDの割り当て名がEFX Para5に変更されます。（無効なパラメータ）

演奏画面
ClassicTchWahが選ばれています。ノブDにはLowEQが表示され、値を調整できます。



演奏画面
エフェクトを変更しLpfPdlWahが選ばれておりノブDの割り当て名がEFX Para5に変更されています。（無効なパラメータ）

割り当て可能なパラメーター一覧

	PIANO	E.PIANO	SUB
1	[C]ReverbType	[C]ReverbType	[C]ReverbType
2	[C]Rev.PreDly	[C]Rev.PreDly	[C]Rev.PreDly
3	[C]ReverbTime	[C]ReverbTime	[C]ReverbTime
4	ReverbDpth	ReverbDpth	ReverbDpth
5	EFX Categ.	EFX Categ.	EFX Categ.
6	EFX Type	EFX Type	EFX Type
7	EFX Para1	EFX Para1	EFX Para1
8	EFX Para2	EFX Para2	EFX Para2
9	EFX Para3	EFX Para3	EFX Para3
10	EFX Para4	EFX Para4	EFX Para4
11	EFX Para5	EFX Para5	EFX Para5
12	EFX Para6	EFX Para6	EFX Para6
13	EFX Para7	EFX Para7	EFX Para7
14	EFX Para8	EFX Para8	EFX Para8
15	EFX Para9	EFX Para9	EFX Para9
16	EFX Para10	EFX Para10	EFX Para10
17	Volume	EFX2 Categ.	Volume
18	Panpot	EFX2 Type	Panpot
19	Cutoff	EFX2 Para1	Cutoff
20	Resonance	EFX2 Para2	Resonance
21	DCA Attack	EFX2 Para3	DCA Attack
22	DCA Decay	EFX2 Para4	DCA Decay
23	DCA Sustain	EFX2 Para5	DCA Sustain
24	DCA Release	EFX2 Para6	DCA Release
25	DCF ATK Tm	EFX2 Para7	DCF ATK Tm
26	DCF ATK Lv	EFX2 Para8	DCF ATK Lv
27	DCF Decay	EFX2 Para9	DCF Decay
28	DCF Sustain	EFX2 Para10	DCF Sustain
29	DCF Release	Amp Type	DCF Release
30	DCF TchDpt	Amp Level	DCF TchDpt
31	DCA TchDpt	Amp Drive	DCA TchDpt
32	Vib.Depth	AmpEQ-Lo	Vib.Depth
33	Vib.Rate	AmpEQ-Mid	Vib.Rate
34	Vib.Delay	AmpEQ-High	Vib.Delay
35	Octave	MidFreq.	Octave
36	Oct.Level	AmpMicType	Oct.Level
37	Oct.Range	AmpMicPos.	Oct.Range
38	Oct.Detune	AmpAmbien.	Oct.Detune
39	Vocal	Volume	Vocal
40	Bell	Panpot	Bell
41	Air	Cutoff	Air
42	Fine Tune	Resonance	Fine Tune
43	Stretch	DCA Attack	Stretch
44	Temperment	DCA Decay	Temperment
45	Temper.Key	DCA Sustain	Temper.Key
46	KeyRange	DCA Release	KeyRange
47	[C]SpltPoint	DCF ATK Tm	[C]SpltPoint
48	Zone Lo	DCF ATK Lv	Zone Lo
49	Zone Hi	DCF Decay	Zone Hi
50	Touch	DCF Sustain	Touch

	PIANO	E.PIANO	SUB
51	OctavShift	DCFRelease	OctavShift
52	ZoneTrans.	DCF TchDpt	ZoneTrans.
53	KS-Damping	DCA TchDpt	KS-Damping
54	KS-Key	Vib.Depth	KS-Key
55	Dynamics	Vib.Rate	Dynamics
56	Right Ped.	Vib.Delay	Right Ped.
57	[C]R.Assign	Octave	[C]R.Assign
58	Damp.Mode	Oct.Level	Damp.Mode
59	SoftPdlDpt	Oct.Range	SoftPdlDpt
60	CenterPed.	Oct.Detune	CenterPed.
61	[C]C.Assign	Vocal	[C]C.Assign
62	Left Pedal	Bell	Left Pedal
63	[C]L.Assign	Air	[C]L.Assign
64	Pitch Bend	Fine Tune	Pitch Bend
65	Bend Range	Stretch	Bend Range
66	Mod.Wheel	Temperment	Mod.Wheel
67	Mod.Assign	Temper.Key	Mod.Assign
68	EXP Pedal	KeyRange	EXP Pedal
69	[C]EXPAssign	[C]SpltPoint	[C]EXPAssign
70	Voicing	Zone Lo	KeyOffNois *
71	StereoWdth	Zone Hi	KeyOffDly *
72	StringReso	Touch	
73	DamperReso	OctavShift	
74	KeyOffEff.	ZoneTrans.	
75	DamperNois	KS-Damping	
76	HammerDly	KS-Key	
77	FallbackNs	Dynamics	
78	Topboard	Right Ped.	
79	Brilliance	[C]R.Assign	
80		Damp.Mode	
81		SoftPdlDpt	
82		CenterPed.	
83		[C]C.Assign	
84		Left Pedal	
85		[C]L.Assign	
86		Pitch Bend	
87		Bend Range	
88		Mod.Wheel	
89		Mod.Assign	
90		EXP Pedal	
91		[C]EXPAssign	
92		KeyOffNois	
93		KeyOffDly	

* SUB セクションのバーチャルテクニシャンパラメータは
ハープシコードとベース音色にのみ有効です。

8 Virtual Technician（PIANOセクション）

1. Voicing（ボイシング）

6タイプ

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の6種類の中より選べます。

Voicing types（ボイシング・タイプ）

Voicing type	説明
Normal	通常の設定です。
Mellow 1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
Mellow 2	Mellow 1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
Dynamic	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
Bright 1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
Bright 2	Bright 1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。

2. Stereo Width

VALUE：0 ～ 127

ステレオ音の拡がり具合を調整します。

0にするとモノラルになります。

3. String Resonance

VALUE：OFF, 1 ～ 10

ストリングレゾナンスの音量を調整します。

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られていますが、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生し、ピアノ特有の響きが生まれます。これを「ストリングレゾナンス」と呼んでいます。

4. Damper Resonance

VALUE：OFF, 1 ～ 10

ダンパーレゾナンスの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだとき、全てのダンパーが持ち上げられて全ての弦が自由に振動できるようになります。ダンパーペダルを踏んだ状態で演奏すると、弾いた音だけでなく、他の弦全体の共鳴が発生します。これを「ダンパーレゾナンス」と呼んでいます。

5. Key-off Effect

VALUE：OFF, 1 ～ 10

キーオフエフェクトの音量を調整します。

特に鍵盤の低音域で、鍵盤を強く弾いて急に離したときに、弦の振動が止まる直前にダンパーが弦に触れる音が発生します。このキーオフ時の効果音の音量を調整できます。

6. Damper Noise

VALUE：OFF, 1 ～ 10

ダンパーノイズの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだときと、離したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

7. Hammer Delay

VALUE：OFF, 1 ～ 10

ピアニシモで弾いた時は、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。
このハンマーの遅れを演奏しやすいタイミングに調整します。

8. Fall-back Noise

VALUE：OFF, 1 ～ 10

鍵盤を離した後、鍵盤アクションが戻った時に発生するノイズ音の音量を調整します。

9. Topboard

Close, Open1, Open2, Open3

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

10. Brilliance

VALUE：–10dB ～ +10dB

音の明るさを調整します。

8 Virtual Technician（E.PIANO，SUB セクション）

1. Key-off Noise

VALUE：OFF, 1 ～ 127

E.Piano 音色選択時、離鍵時にハンマーが戻る時のシミュレート音の大きさを調整します。

SUB 音色選択時はハープシコード、ベース音においてリリース時の音をシミュレートしています。

2. Key-off Delay

VALUE：0 ～ 127

離鍵時の Key-off Noise が聞こえるまでの遅延時間を調整します。

エディットメニューの概要（MIDI OUT）

エディットメニューはMIDI OUTセクションのパラメータも調整することができます。
Soundセクションのエディットと同様に、パラメータはグループごとに分類されており、外部MIDI機器を直接コントロールできるように設計されています。

このパラメータ群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリに保存できます。（P.58の「ストアセットアップ」参照）MP11は、26バンク×8セットアップの合計208セットアップメモリを用意しています。

コモンパラメータについて（Cアイコン）

状態にかかわらず、MIDIセクションのパラメータセッティングはZONE1 ～ ZONE4までそれぞれ独立して設定できます。しかしCアイコンがついたパラメータは全MIDI ZONE共通です。例えば、"C Right Pedal Assign"パラメータをZONE1で変更すると、自動的にZONE2 ～ ZONE4の"C Right Pedal Assign"パラメータは自動的に変更されます。
先述の通り、"C Split Point"はすべての内部音色セクションと4つのMIDI ZONEに共通のパラメータです。

システムパラメータについて（SYSアイコン）

SYSアイコンマークのあるMIDI OUTセクションのパラメータはシステムパラメータで、変更すると自動的に保存されます。（[STORE]ボタンを使う必要がありません）

MIDI OUTセクションのパラメータ

No.	カテゴリ	パラメータ
1	Channel/Program	MIDI Transmitting Channel, Program, Bank MSB, Bank LSB
2	SETUP	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs
3	Transmit SYS	Transmit System Exclusive, Transmit Recorder
4	MMC SYS	Transmit MMC, MMC Device ID, MMC Commands
5	Key Setup	Key Range Type, C Split Point, Key Range Zone Lo, Key Range Zone Hi, Octave Shift, Touch Curve, Zone Transpose, Key Scaling Damping, Key Scaling Key, Dynamics, Solo, Solo Mode, Transmit Keyboard
6	Controllers	Right Pedal, C Right Pedal Assign, Half Pedal Values, Center Pedal, C Center Pedal Assign, Left Pedal, C Left Pedal Assign, Pitch Bend, Pitch Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Expression Pedal, C Expression Pedal Assign
7	Knob Assign	Knob A Assign, Knob B Assign, Knob C Assign, Knob D Assign, Knob2 A Assign, Knob2 B Assign, Knob2 C Assign, Knob2 D Assign

エディットメニューに入る

MIDIセクションの画面が表示された状態で（P.34参照）：

［EDIT］ボタンを押してください。

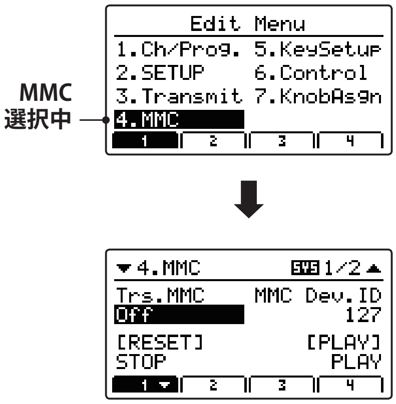
モードに入ると［EDIT］ボタンのLEDが点灯し、選択されたZONEのエディットメニューがディスプレイに表示されます。

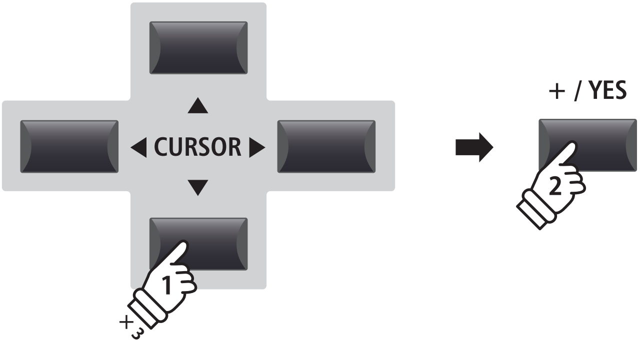
* MIDI ZONEを変更するには［F1］～［F4］ボタンを押してください。

パラメータのカテゴリを選択する

エディットメニューが表示された状態で：

カーソルボタンで所望のカテゴリを選択し[+/YES]ボタンを押してカテゴリを選択します。





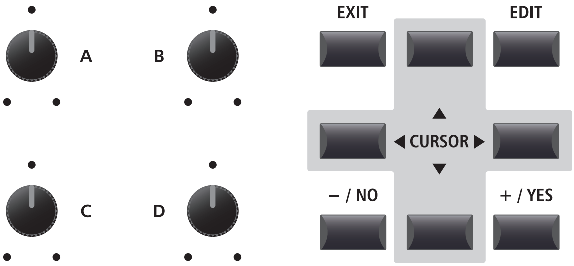
例） MMCカテゴリに入るには、カーソル[▼]ボタンを3度押し、その後[+/YES]ボタンを押します。

パラメータの調整

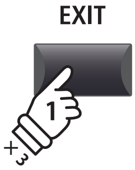
パラメータが表示された状態で：

各ノブ[A]［B]［C]［D]を回すことで、それぞれに設定されたパラメータを調整する事ができます。

また、パラメータは十字カーソルと[+/YES]［-/NO]ボタンでも調整する事が可能です。



[EXIT]ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻り、もう一度押すと通常演奏画面に戻ります。



エディットメニューのパラメータ（MIDI OUT）

1 Channel/Program

1. MIDI Transmitting Channel（MIDI送信チャンネル）

CHANNEL：01Ch ～ 16Ch

選択されているゾーンのMIDI送信チャンネルを指定します。

* 初期設定ではZone1～4はMIDI 01Ch～04Chが割り当てられています。
* 指定されているMIDIチャンネルと接続されているMIDI機器の受信チャンネルを合わせてください。

2. Program

VALUE：1 ～ 128

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムナンバー値を設定します。外部MIDI機器で選択したい音色に対応したプログラム番号を選択してください。

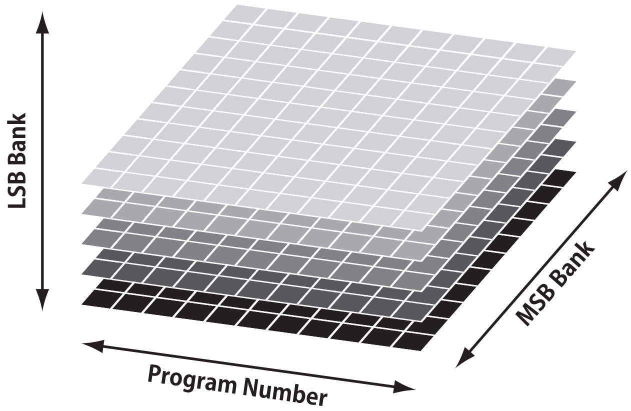
3/4. Bank MSB/Bank LSB

VALUE：0 ～ 127

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位（MSB）と下位（LSB）を設定します。

MIDI規格は128のプログラム番号を用意していますが、バンク番号により、そのスペースを拡張することができます。

* バンク、プログラム番号の詳細については、接続されたMIDI機器の取扱説明書を参照してください。



2 SETUP

1. Send Program

ON, OFF

セットアップを選択したとき、プログラム・チェンジを送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器の音色を変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

2. Send Bank

ON, OFF

セットアップを選択したとき、バンク番号（MSB，LSB）を送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

プログラム・チェンジ送信する際、外部MIDI機器のバンクを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

3. Send Volume

ON, OFF

セットアップを選択したとき、ボリューム・メッセージを送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。
セットアップを選択して外部MIDI機器のボリュームを変更したい場合は、このパラメータをOnにしてください。

* このパラメータをOffに設定していても、MIDIセクションのボリューム・フェーダーを動かしたときはボリュームメッセージが送信されます。

4. Send Knobs

ON, OFF

セットアップを選択したとき、コントロールノブの設定を送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

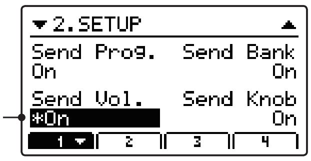
* このパラメータをOffに設定していても、MIDIセクションのコントロールノブを動かしたときは各メッセージが送信されます。

■ システムメニュー内のセットアップパラメータについて

上記の送信パラメータはシステムメニュー内MIDIカテゴリのSETUP PROGRAM，BANK，Volume，Knobパラメータが ONになっていないと効きません。

システムメニュー内のSETUPパラメータがOFFにセットされるとき、関係しているパラメータの横にアスタリスク（*）が表示され、無効となります。

アスタリスク：
パラメータは
システムメニューで
OFFになっているため
無効です。



3 Transmit SYS

Transmitカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存さるため、それぞれのSETUPにSTORE（保存）する必要はありません。

1. Transmit System Exclusive

ON, OFF

外部のMIDI機器にシステムエクスクルーシブ（SYSEX）データを送信するかどうかを設定します。

* System Exclusiveデータについての詳細はP.123をご確認ください。

2. Transmit Recorder

ON, OFF

内部に録音された曲を外部MIDI機器に送信するかどうかを設定します。

4 MMC SYS

MMCカテゴリのパラメータはすべてシステムパラメータです。これらのパラメータは自動的にシステムに保存さるため、それぞれのSETUPにSTORE（保存）する必要はありません。

1. Transmit MMC

ON, OFF

外部のMIDI機器にMP11のレコーダーコントロールボタンでMMC（MIDI Machine Control）を送信するかどうかを設定します。

2. MMC Dev. ID

VALUE：0 ～ 127

MMC（MIDIMachineControl）のデバイスIDを決定します。

3. MMC Commands

13 MMC COMMANDS, 3 REALTIME COMMANDS

MMCやリアルタイムコマンドを6つのレコーダーコントロールボタンに割り当てます。

* 初期値では、主要なMMCコマンドはレコーダーセクションのボタンに割り当てられています。

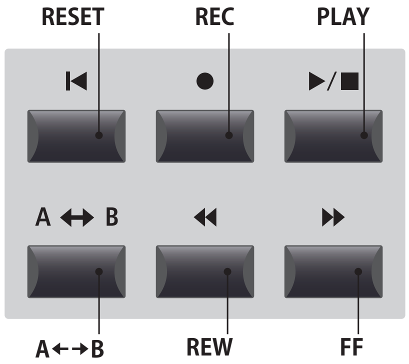
▍割り当て可能なレコーダー制御コマンド

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

Realtime Commands	
FA	Realtime START
FB	Realtime CONTINUE
FC	Realtime STOP

▍レコーダ制御ボタン

下の絵は6つのレコーダー制御ボタン名を示しています。：



5 Key Setup（キーボードセットアップ）

1. Key Range Type
Off, Upper, Lower, Zone

このパラメータは選択されたセクションのKey Range Type（有効となる鍵域）を選択します。

タイプ	説明
Off	88鍵全てが有効な鍵域です。
Upper	スプリットポイントを境に高音側のみ有効です。
Lower	スプリットポイントを境に低音側のみ有効です。
Zone	指定された2点の間のみ有効です。

* このパラメータはSOUNDには保存されません。（SETUPには保存可能です）

2. Split Point
RANGE：A-1 ～ C7

鍵盤の分割点を指定します。
その点を境にUPPER/LOWER鍵盤に分割されます。

* Key Range機能の詳細はP.24をご確認ください。

* このパラメータは内部セクション・MIDIセクション共通です。

3./4. Key Range Zone Lo/Hi
RANGE：A-1 ～ C7

ZONE（鍵域）の最低音/最高音の鍵盤を指定します。

* Key Rangeの機能の詳細はP.24をご確認ください。

5. Octave Shift
VALUE：–3 ～ +3 オクターブ

選択した音色のオクターブシフト値を設定します。

6. Touch Curve
6タイプ + 5 user

選択したセクションのタッチカーブを選択します。

* タッチカーブについての詳細はP.44をご確認ください。

* ユーザータッチカーブの作成についてはP.102をご確認ください。

7. Zone Transpose
VALUE：–12 ～ +12

選択した音色の移調量を設定します。

8. Key Scaling Damping
ON, OFF

キースケーリング機能をOn/Offします。

9. Key Scaling Key
RANGE：A-1 ～ C7

キースケーリングを開始する鍵盤を指定します。
この鍵盤より上の音域に行くにしたがって、ベロシティが次第に減少します。

10. Dynamics
VALUE：OFF, 1 ～ 10

タッチレスポンスを調整します。

* 詳細はP.44をご確認ください。

11. Solo
ON, OFF

2鍵以上同時に弾いた時、同時に複数音発音するか、単音のみ発音するかの設定をします。

外部に接続したモノシンセ等を演奏する際等に有用です。

12. Solo Mode
Last, High, Low

選択されいているゾーンのソロモードを選択します。

Soloモード	説明
Last	最後に押さえた鍵盤の音のみ発音します。
High	押さえた鍵盤の内、最高音のみ発音します。
Low	押さえた鍵盤の内、最低音のみ発音します。

13. Transmit Keyboard
ON, OFF

鍵盤のノートON/OFFイベントデータを外部のMIDI機器に送信するかの設定をします。

6 Controllers（コントローラー）

1. Right Pedal

ON, OFF

選択しているZONEに対して、F-30ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

2. Right Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-30の右ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはZONE1/2/3/4で共通です。

3. Half Pedal Values

Normal, High, Low

選択しているZONEでのハーフペダルを送信するレンジを決定します。

外部音源を制御する際、ダンパーペダルの効きはじめのポイントが機器によって異なる場合に便利です。

タイプ	値	説明
Normal (default)	0 ～ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって0 ～ 127の値を出力します。
High	0, 64 ～ 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントまでは0、踏み込むにしたがって64 ～ 127までの値を出力します。
Low	0 ～ 63, 127	ダンパーペダル効果が効き始めるポイントから踏み込むにしたがって0～63までの値を出力し、いっぱいに踏み込むと127を出力します。

4. Center Pedal

ON, OFF

選択しているZONEに対して、F-30の中ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

5. Center Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-30の中ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはZONE1/2/3/4で共通です。

6. Left Pedal

ON, OFF

選択しているZONEに対して、F-30の左ペダルの動作の有効/無効を設定するパラメータです。

7. Left Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

F-30の左ペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはZONE1/2/3/4で共通です。

8. Pitch Bend

ON, OFF

選択しているZONEに対して、ピッチベンドホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

9. Pitch Bend Range

VALUE：0 ～ 12

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

* 変化範囲の最大値は、インターナル・セクション（0 ～ 7）とMIDIセクション（0 ～ 12）で異なります。

10. Modulation Wheel

ON, OFF

選択しているZONEに対して、モジュレーションホイール動作の有効/無効を設定するパラメータです。

11. Modulation Wheel Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

モジュレーションホイールに割り当てる機能を選択します。

12. Expression Pedal

ON, OFF

選択しているZONEに対して、エクスプレッションペダル動作の有効/無効を設定するパラメータです。

* 接続するペダルについてはP.16をご確認ください。

13. Expression Pedal Assign

CC#0 ～ CC#119, Aftertouch

エクスプレッションペダルに割り当てる機能を選択します。

* このパラメータはZONE1/2/3/4で共通です。
* 接続するペダルについてはP.16をご確認ください。

7 Knob Assign（ノブアサイン）

通常の演奏モードでの［A］［B］［C］［D］の4つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメータを割り当てることができ、必要なパラメータを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。

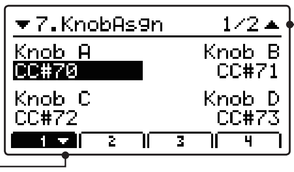
ノブアサインは、各ZONE毎に2つのパラメータグループを持っており、演奏中4×2（ページ）＝8パラメータのコントロールが可能です。

ノブにパラメータを割り当てる

ZONEのノブアサイン画面にて：

4つのコントロールノブを操作して、希望するCC#をそれぞれのノブに割り当てます。

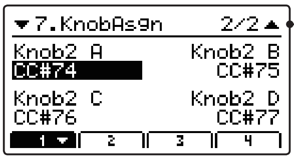
割り当てるMIDI CCメッセージはカーソルボタンと［+/YES］［-/NO］ボタンでも変更できます。



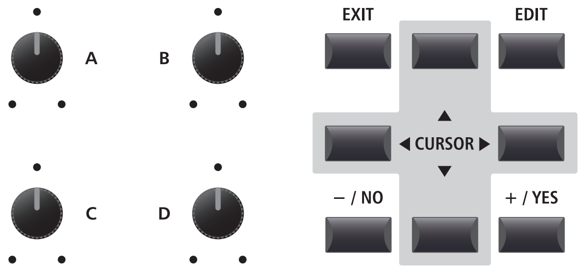
ページ 1/2

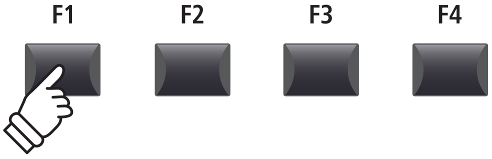
▼矢印
次のページへ

［F1］～［F4］ボタンを押すと該当するZONEが選択され、もう一度押すとページが切り替わります。



ページ 2/2





* 詳細はP.19をご確認ください。

STORE ボタンの概要について

エディットメニューとコントロールノブを使って調整した音色の設定は、［STORE（ストア）］ボタンで内部メモリに保存できます。
他の音色を選択したり、電源OFFを行うと、調整した音色の設定は失われてしまいますので、必要な設定は［STORE］ボタンを使って保存してください。
［STORE］ボタンには、各音色毎の設定（SOUND）、パネル全体の設定（SETUP）、電源オン時のパネルの設定（POWERON）のそれぞれを保存する3つの機能があります。

■ STORE ボタンの機能

機能	説明
SOUND	各セクションのバリエーションボタンへ､選択している音色のエディットメニューの設定*を保存します。
SETUP	選択したセットアップメモリへ、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。
POWERON	電源オン時の設定として、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

* Common パラメータと鍵域設定は除きます。Common パラメータについてはP.36を、鍵域設定についてはP.43をご確認ください。

1 STORE SOUND（ストアサウンド）

各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色の（コモンパラメータを除く）エディットメニューの設定を保存します。

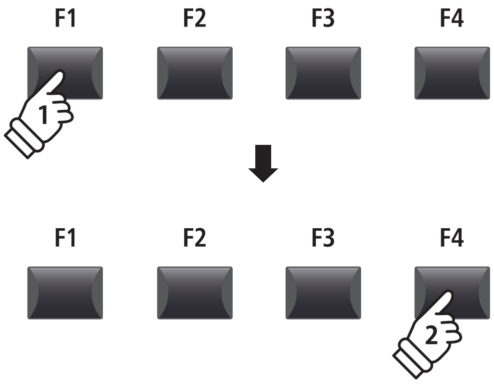
1. STORE（ストア）画面へ入る

［STORE］ボタンを押してボタンを点灯させせます。
LEDが点灯し、ディスプレイにSTORE（ストア）画面が表示されます。

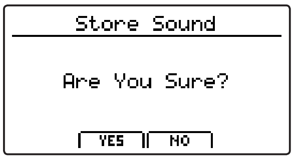
2. STORE SOUND（ストアサウンド）機能を選ぶ

［F1］ボタン（SOUND）を押してSTORE SOUND（ストアサウンド）機能を選びます。

* MIDIセクションが選ばれている場合は､［F1］（SOUND）ボタンは表示されません。



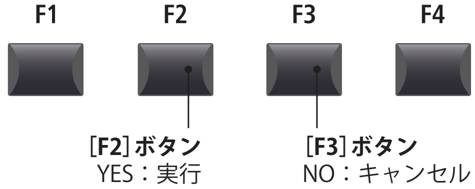
［F4］（EXEC）ボタンを押すと､ディスプレイに確認画面が表示されます。



3. STORE SOUND（ストアサウンド）を実行する

［+/YES］または［F2］を押すと、選択したセクションのサウンドに保存されます。
［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと､STORE（ストア）画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでの音色の設定は上書きされますのでご注意ください。
* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 STORE SETUP（ストアセットアップ）

選択したセットアップ・メモリへ、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。（208 セット保存できます）

1. STORE（ストア）画面へ入る

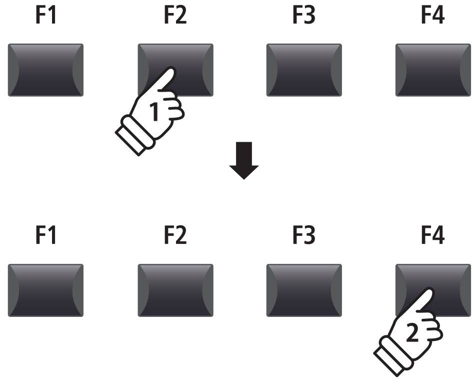
［STORE］ボタンを押してボタンを点灯させせます。

ディスプレイにSTORE（ストア）画面が表示されます。

2. STORE SETUP（ストアセットアップ）機能を選ぶ

［F2］（SETUP）ボタンを押して STORE SETUP（ストアセットアップ）機能を選びます。

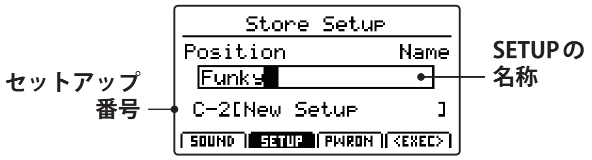
［F4］（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイにセットアップ名編集画面が表示されます。



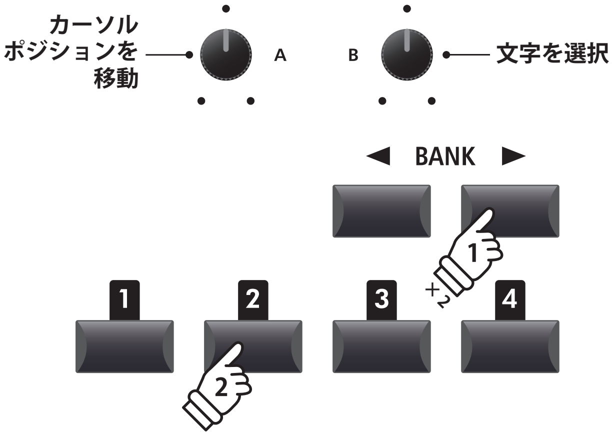
3. セットアップ名を編集し、保存先を指定する

ノブ［A］［B］を使って、セットアップ名を編集します。

［BANK ◀］［BANK ▶］ボタンと［1］～［8］のセットアップメモリボタンを押して、新しいセットアップのメモリを選びます。



［F4］ボタン（EXEC）を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



例）　SETUPメモリのC-2を選択する際は［BANK ▶］ボタンを2回押し、その後メモリボタン 2 を押します。

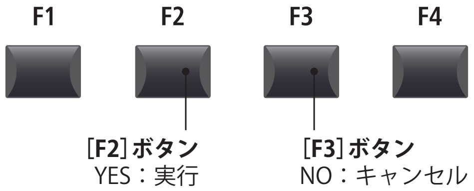
4. STORE SETUP（ストアセットアップ）を実行する

［+/YES］または［F2］ボタンを押すと、保存が実行されます。

［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

＊ 保存を実行すると、それまでのセットアップの設定は上書きされますのでご注意ください。

＊ 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。注意ください。



3 STORE POWER ON（ストアパワーオン）

電源オン時の設定として、システムパラメータを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

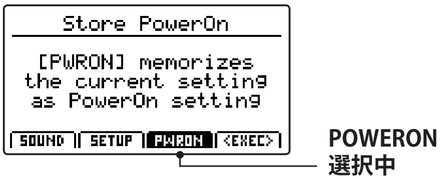
1. STORE（ストア）画面へ入る

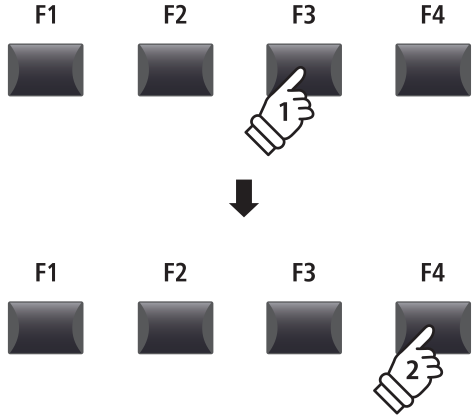
［STORE］ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

ディスプレイにSTORE（ストア）画面が表示されます。

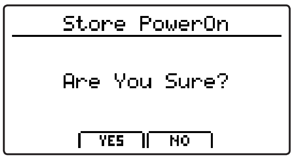
2. STORE POWERON（ストアパワーオン）機能を選ぶ

［F3］（POWERON）ボタンを押してSTORE POWERON（ストアパワーオン）機能を選びます。





［F4］（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。



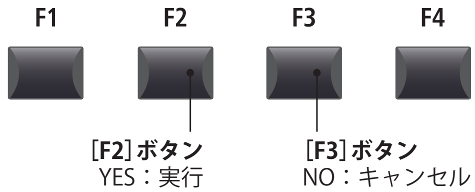
3. STORE POWERON（ストアパワーオン）を実行する

［+/YES］または［F2］ボタンを押すと、保存が実行されます。

［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

* 保存を実行すると、それまでのパワーオン設定は上書きされますのでご注意ください。

* 内部メモリへの書き込み時は絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。注意ください。



セットアップメモリ

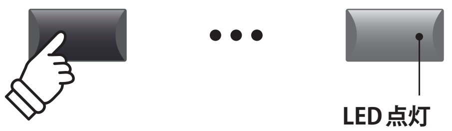
MP11では選択した音色やセクションの音量、各種パラメータのセッティングやEQ設定などをセットアップに保存しておき、いつでもすぐに呼び出す事ができます。

［1］～［8］の8つのボタンと、A～Zの26バンクを使用して合計208のセットアップを保存する事ができます。

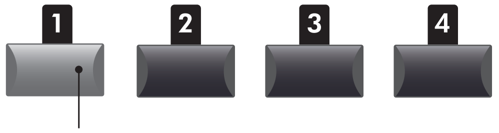
このページでは、バンクとセットアップメモリを選択して、セットアップを呼び出す方法について説明します。

■ セットアップモードをONにする

セットアップセクションの［ON/OFF］ボタンを押します。

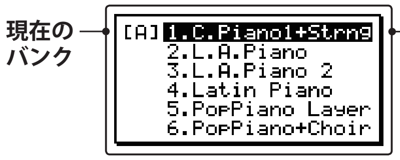


LEDが点灯し、セットアップモードに入り、現在選択中のセットアップのLEDが点灯します。

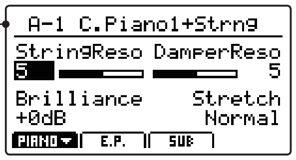


セットアップモードがONの時、現在選択中のバンク内のセットアップのリストが表示され、選ばれているメモリががハイライト表示されます。

* セットアップセクションをONにすると、前回選択したセットアップメモリが自動的に呼び出されます。



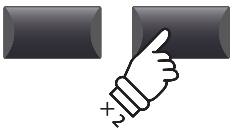
数秒後、演奏モードの画面が表示され、選ばれているセットアップ名が画面上部に表示されます。



■ セットアップを選ぶ

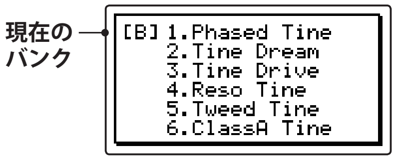
セットアップモードがONの状態で：

［BANK ◀］［BANK ▶］ボタンを押して、セットアップのバンクを選びます。

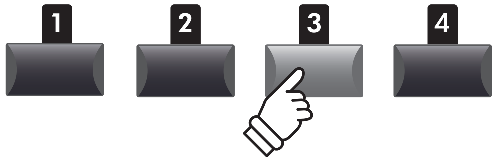


例）　バンクBを選ぶ際は［BANK ▶］ボタンを1回押します。

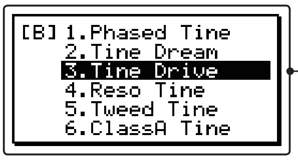
バンクを選ぶと、ディスプレイに選んだバンクのセットアップリストが表示されます。



セットアップ・リストが表示されている間に、目的のセットアップメモリのボタンを押します。



例）　セットアップメモリ 3 を選ぶには［3 SETUP］メモリボタンを押します。



* 現在のバンク内で別のセットアップメモリを呼び出す際は画面にリストが表示されていなくても可能です。

レコーダーについて

MP11は自分の演奏を本体に録音したり、USBメモリに直接録音（保存）する事ができます。

▌MP11 レコーダー仕様

	MIDI レコーダー（内部メモリ）	オーディオレコーダー（USBメモリ）
保存フォーマット	SMF（MIDI）	MP3/WAV（オーディオ）
最大曲サイズ	約90,000音	（USBメモリの容量による）
最大曲数	10ソング	（USBメモリの容量による）
使用例	アイディアスケッチ、パフォーマンスの録音、コンピュータでの編集等	
	ー	友人へのe-mail送信、オーディオCD作成等
再生方法	MP11本体で再生/外部MIDI機器で再生	MP11本体で再生/オーディオプレイヤー等で再生
テンポ調整	有り	無し
オーバーダビング	無し	有り
データ変換	MP3/WAVに変換録音可	ー

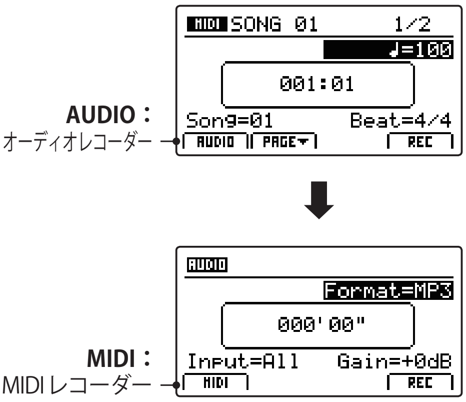
▌レコーダー画面へ入る

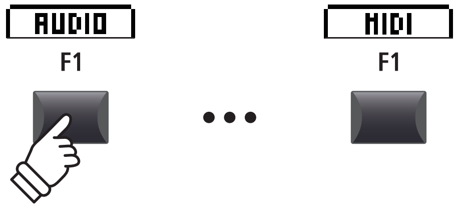
［RECORDER］ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

▌レコーダーモードを選ぶ

［F1］ボタンを押して、MIDIレコーダーと、オーディオレコーダーを切り替えます。





＊ レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていれば、自動的にUSBオーディオレコーダーが選択されます。

＊ レコーダーモードに入っているとき、USBメモリが接続されていなければ、自動的に内部MIDIレコーダー選択されます。

▌USB機能

USBメモリに保存されたファイルの消去（Delete）やファイル名変更（Rename）は、USBメニューで行うことができます。（P.90「USBメニューについて」参照）

MIDI レコーダー（内部メモリ）

MP11のMIDIレコーダーは内部メモリに10曲まで録音する事ができます。また、録音した曲はSMF（Standard MIDI File）として、またはMP3/WAV形式に変換してUSBメモリに保存する事ができます。

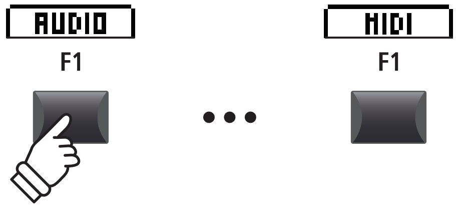
1 内部メモリに録音する

1. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

レコーダ-機能がONになり、ディスプレイにはMIDIレコーダー画面が表示されます。

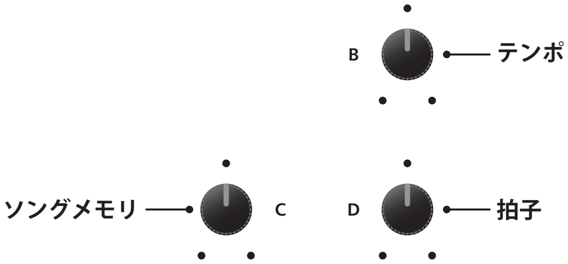
USBメモリが接続されている場合、[F1]ボタン（MIDI）を押して、MIDIレコーダ機能を選びます。



2. ソングメモリを選び、テンポ、ビートを選択する

ノブ[C]を回して新しく録音するソングメモリを選びます。

* 10曲の内部メモリが用意されています。
* すでに選択したソングメモリに何か録音されていた場合は自動的に消去され、新たなデータが録音されます。
* リズムパターン/メトロノームを使っての録音に関してはP.88をご確認ください。

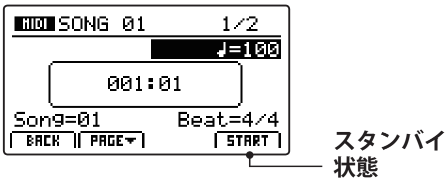


3. 録音の準備

[●]ボタン（REC）を押します。

[●]ボタン（REC）が点滅し、録音スタンバイ状態を示します。

* レコーダー画面で[F4]ボタンを押すことでも録音スタンバイ状態に入れます。

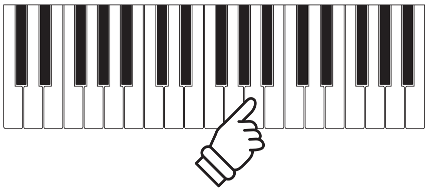


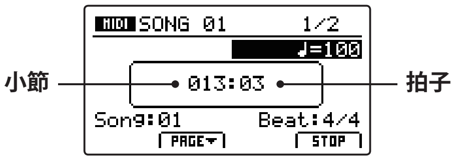
レコーダー

4. 録音を開始する

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき[●]（REC）ボタンと[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が点灯します。

録音が始まると録音時間の表示が進みます。





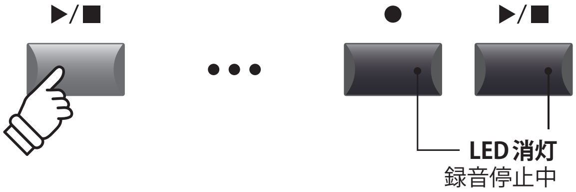
* 録音待機状態から、[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押すことでも、録音が開始できます。
* [METRONOME]ボタンを点灯させている場合、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。
  詳細は P.88 をご確認ください。

5. 録音を停止する

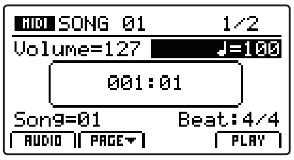
[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押します。

[●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が消灯し録音が終了します。

* [F4]ボタンを押すことでも録音をとめる事ができます。



録音を停止すると MIDI 再生画面が表示されます。



録音されたデータの再生に関しては P.64 をご確認ください。

* 最大録音容量は約 90000 音です。
* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは[●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。
* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

2 MIDI ソングを再生する

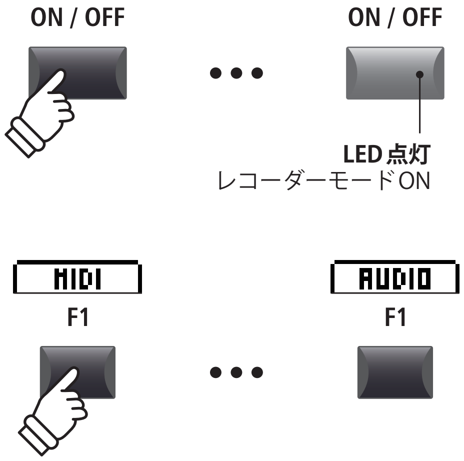
内部メモリに保存されたMIDIソングを再生します。録音直後に再生する場合はステップ3から始めてください。

1. MIDI レコーダ画面に入る

RECORDER セクションの[ON/OFF] ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

レコーダー機能がONになり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

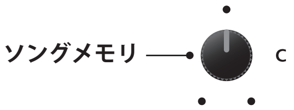
USBメモリが接続されている場合、[F1] ボタン(MIDI) を押して、MIDI レコーダ機能を選びます。



2. 再生するソング(曲)を選択する

ノブ[C]を回し、再生するソングメモリを選ぶ。

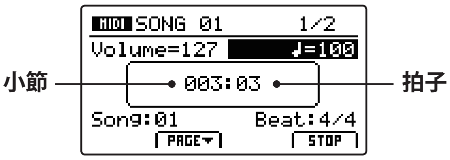
* 再生中はソングの選択はできません。



3. 曲を再生する

[▶/■] ボタン(PLAY/STOP) を押すと、[▶/■] ボタンが点灯し、再生がスタートします。

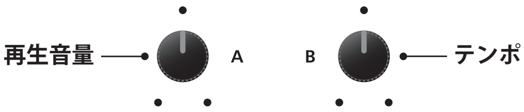
* [F4] ボタンを押すことでも再生を開始できます。



▌再生音量とテンポの調整

ノブ[A] 及び[B] を回して再生の音量と曲のテンポを変更できます。

* 音量とテンポは再生中にも変更可能です。

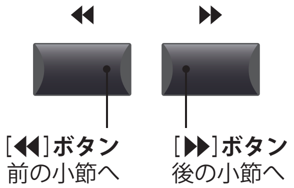


レコーダー

■ 再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。

* 再生箇所は再生中にも移動可能です。



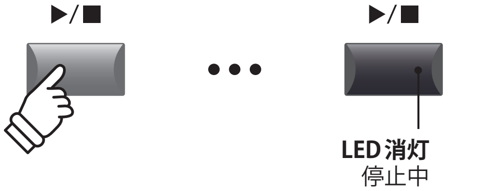
4. 曲を停止する

曲を再生している状態で：

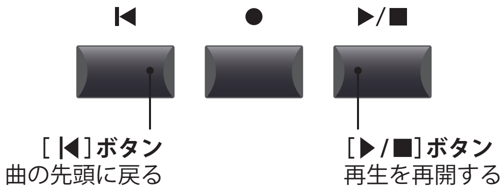
[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。

* [F4]ボタンを押すことでも再生を停止できます。



再び[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押すと、停止した位置から再生を開始します。[|◀]ボタンを押すと曲の先頭に戻ります。

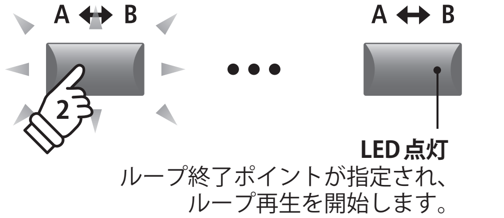


■ A-B リピート

A-Bリピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に[A↔B]ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点滅します。

再度[A↔B]ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[A↔B]ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

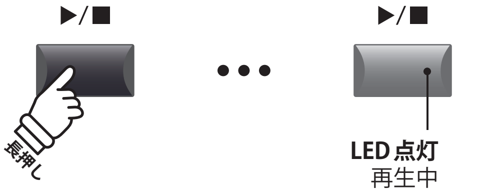


A-Bリピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A↔B]ボタンを押すと、[A↔B]ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

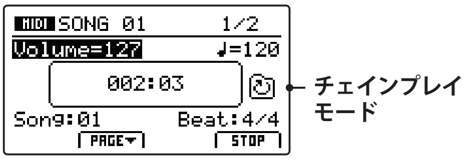
■ 連続再生(チェインプレイ)モード

レコーダーに保存された曲を連続して順番に再生するモードです。

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を長押しします。



チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



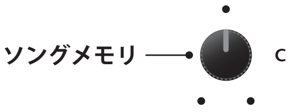
3 SMF形式で保存する

録音したMIDIソングを、SMF（Standard MIDI File）形式でUSBメモリに保存します。

1. 曲を選択する

レコーダーモードをONにして、曲を録音した後：

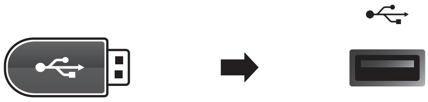
ノブ[C]を回してUSBメモリに保存したいソングを選びます。



2. USBメモリを接続する

USBポートにUSBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



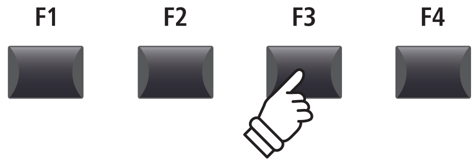
メモリが認識されると、[F3]ボタン（SAVE）がディスプレイに表示されます。

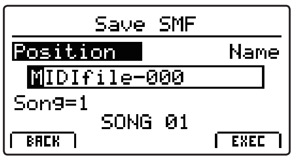
* このSAVEボタンは、すでに曲がメモリに録音されているときのみ表示されます。

3. 保存する

[F3]ボタン（SAVE）を押します。

ディスプレイにSave SMF画面が表示されます。



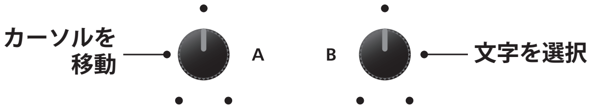


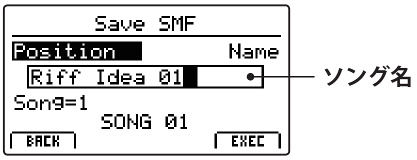
4. ファイル名を入力する

ノブ[A][B]を回してファイル名を入力する。

* ファイル名は18文字が最大です。

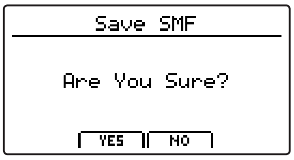
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

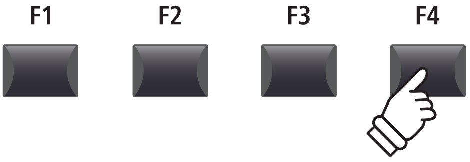




5. 保存を実行する

［F4］ボタン（EXEC）を押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

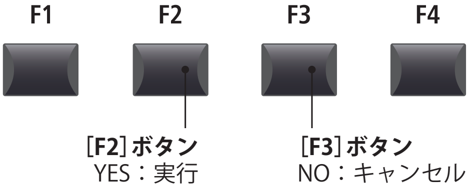




［+/YES］または［F2］ボタンを押すと、保存が実行されます。

［-/NO］ボタンまたは［F3］ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

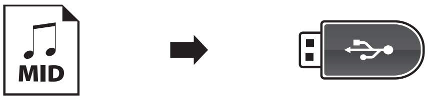


4 SMFを内部メモリへLOAD（ロード）する

USBメモリのSMFを内部メモリへLOAD（ロード）します。

■ USBメモリの準備

まず、用意したSMFをUSBメモリへコピーします。

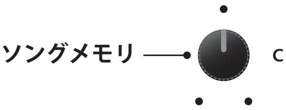


1. 空いている内部メモリを選択する

レコーダーモードをONにした状態で：

ノブ［C］を回して空きソングを選択します。

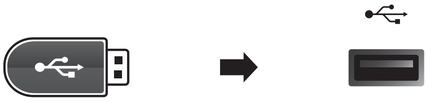
* すでに録音済みのソングを選択し、上書きする事も可能です。



2. USBメモリを接続します

USBポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



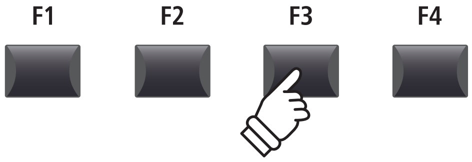
USBメモリを認識し、LOADボタンがディスプレイに表示されます。

* LOADボタンは選択されている内部ソングが空のときのみ表示されます。内部ソングを消去したい場合はP.70をご確認ください。

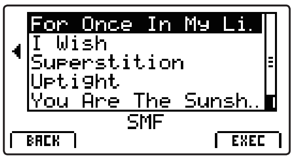
4 SMFを内部メモリへLOAD（ロード）する（続き）

3. LOAD（ロード）SMF機能を選ぶ

［F3］ボタンを押します。（LOAD）

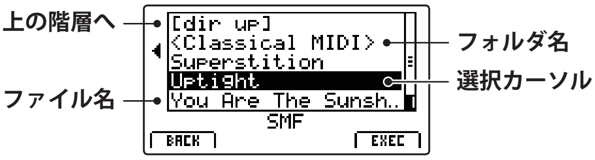


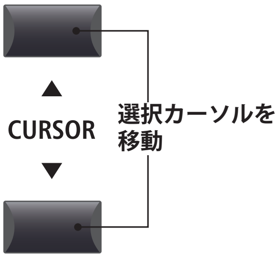
USBファイルのルート階層にあるSMFファイルがディスプレイに表示されます。



■ USBのファイル/フォルダリスト画面について

MP11のファイルリスト画面はルート階層の関係するファイルとフォルダを表示します。

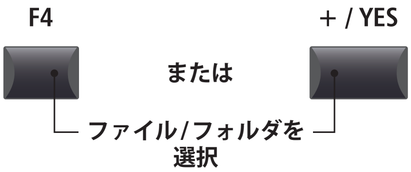




カーソル上下ボタンで選択カーソルを移動します。

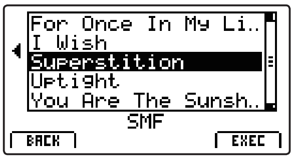
* ノブ［A］でもカーソルを移動することができます。

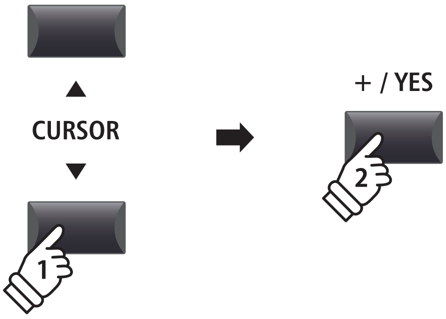
ファイル/フォルダを選択した状態で［F4］ボタン（EXEC）または「+/YES］ボタンを押してファイルを選択またはフォルダ内に移動します。



4. SMFファイルをロードする

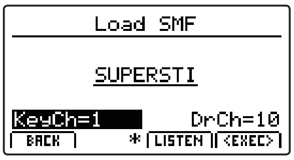
カーソル上下ボタンを押して、MIDIファイルを選択します。





［F4］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押します。

LOAD SMF画面がディスプレイに表示されます。

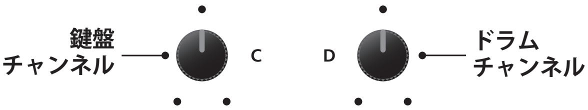


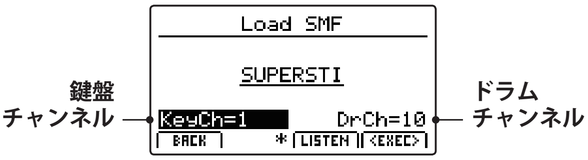
5. 鍵盤チャンネルとドラムチャンネルを選択する

MP11のMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルに、SMFのどのチャンネルを使用するかをノブ[C] [D]を使って指定します。

* MP11は、SMFファイルの内容に基づいて自動的に適切なキーボードとドラムトラックを検出します。

* MP11で作られたSMFファイルでは、ドラムトラックはOFFになります。

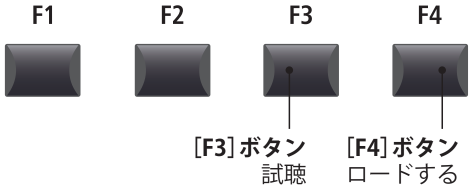




[F3]ボタン(LISTEN)を押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4]ボタン(EXEC)を押すと、選択したSMFファイルを内部メモリにロードします。

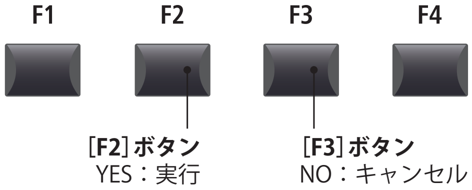
LOAD SMF確認画面がLCDに表示されます。



6. SMFをLOAD(ロード)する

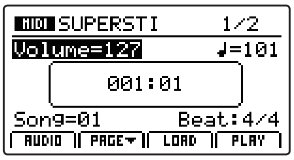
[F2]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押すとSMFが内部メモリへロードされます。

[F3]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押すと前の画面に戻ります。



7. LOAD(ロード)したSMFファイルを再生する

SMFファイルをLOAD(ロード)すると、レコーダー画面がディスプレイに表示されます。



再生方法についてはP.64をご確認ください。

レコーダー

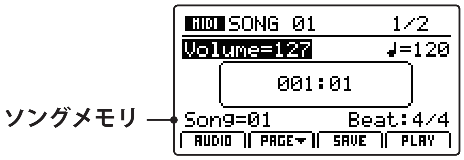
5 内部メモリを消去する

MP11本体の不要なソング（曲）を消去して、メモリを空き状態にします。

1. 消去するソングメモリを選ぶ

MIDIレコーダー画面に入った状態で：

ノブ[C]を回して消去したい内部ソングメモリを選択します。

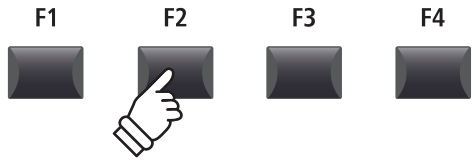


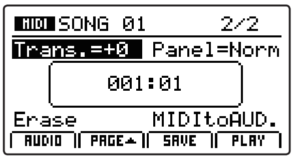
* 全ての曲を一度に消去したい場合は、システムメニューのリセットレコーダー機能を使用してください。(P.104をご確認ください)

2. レコーダー機能の2ページ目を表示する

[F2]ボタンを押します。

レコーダー機能の2ページ目が表示されます。

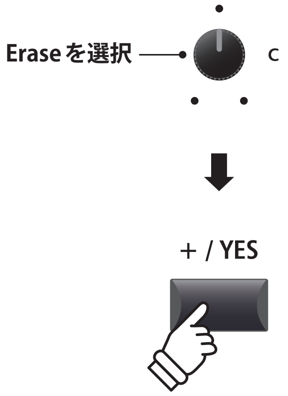


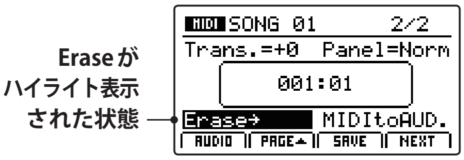


* カーソル上下ボタンでもページを行き来できます。

3. Erase（消去）を選択する

ノブ[C]を回して、カーソルを「Erase」に合わせます。（ハイライト表示）





* 十字カーソルボタンでもカーソル移動可能です。

[+/YES]ボタンを押して、Eraseを選択します。

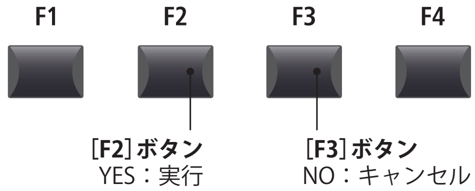
確認画面がディスプレイに表示されます。

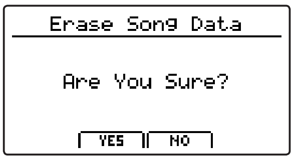
* [●]ボタン（REC）と[[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）ボタンを同時に押すことでもソングを消去する事ができます。

4. 削除する

[F2]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押して、削除します。

[F3]ボタンまたは[-/NO]ボタンを押すと前の画面に戻ります。





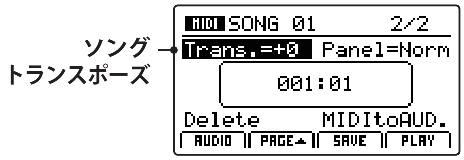
6 曲のトランスポーズ（移調）

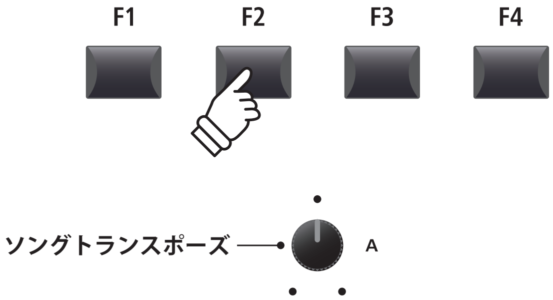
MP11ではLOAD（ロード）したSMFファイルを移調（半音単位）して再生する事ができます。

■ ソング（曲）のトランスポーズ量を変更する

［F2］ボタンを押して、レコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ［A］を回してトランスポーズ（移調）量を調整します。





* トランスポーズの範囲は-12～+12（半音）です。

7 パネルモード

内部に録音されたデータを再生する際に、パネルセッティングも再現（現在のパネルセッティングに展開）するかどうかを選択します。

■ パネルモードの種類

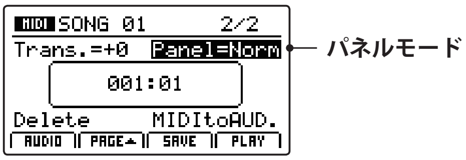
パネルモード	説明
Normal (default)	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現しない。
Play	内部レコーダー再生時、パネルセッティングを再現（展開）する。（パネルスイッチが切り替わる）

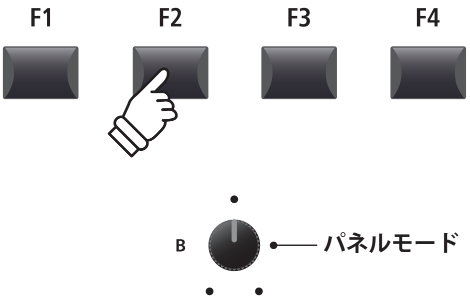
	Normalパネルモード	Playパネルモード
メリット	再生しても現在のパネルセッティングに影響なし。	全ての機能は完全に再現される。
デメリット	データとパネルが独立しているため、エフェクトなどは現在のパネルセッティングで再生される。エフェクト等は録音状態とは異なる場合がある。	録音データの再生によって、現在のパネルセッティングが変更される。

■ パネルモードを変更する

［F2］ボタン（PAGE▼）を押してレコーダー機能の2ページ目を表示します。

ノブ［B］を回してパネルモードタイプを選びます。





8 MIDI to Audio

MIDIをオーディオに変換する機能です。詳細はP.81をご確認ください。

オーディオレコーダー（USBメモリ）

1 オーディオファイルに録音する

MP11はラインインも含めたパフォーマンスをMP3やWAV形式で、USBメモリにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションで、リミックスしたりと、様々な使い方ができます。

■ オーディオ録音フォーマット仕様

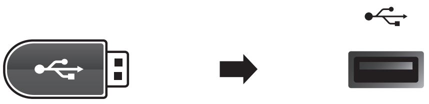
ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	192 kbit/s（fixed）
WAV	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	1,411 kbit/s（uncompressed）

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

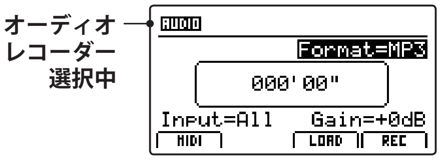


USBメモリが認識されます。

2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

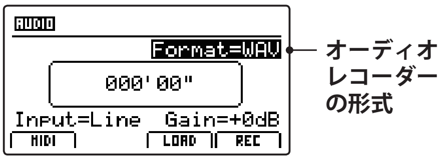
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

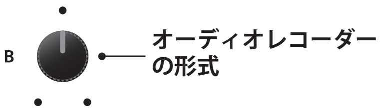


* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン（AUDIO）を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

■ ファイル形式を選択する

ノブ[B]を回して、目的のオーディオ形式を選択します。





* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。

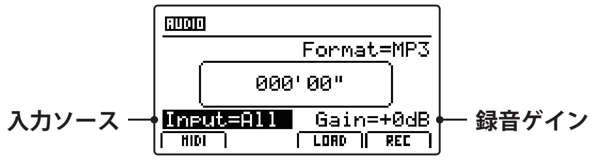
* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

▌入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

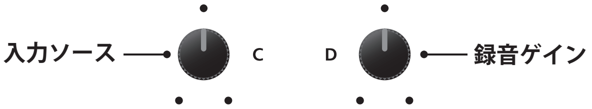
ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音の時はゲインをあげて録音してください。



* ゲインレベルは-18dB ～ +18dBの間で設定可能です。

入力	説明
All	MP11の音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



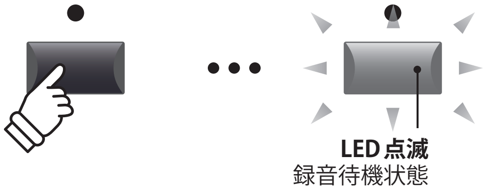
3. 録音待機状態に入る

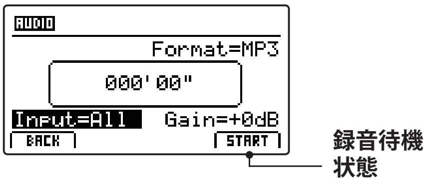
RECORDERセクションの[●]（REC）ボタンを押します。

このとき[●]（REC）ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

* USBメモリを挿すと認識に時間がかかる事があります。



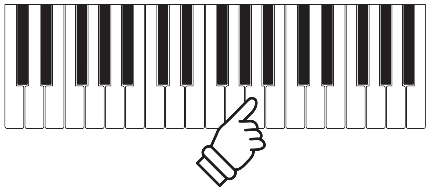


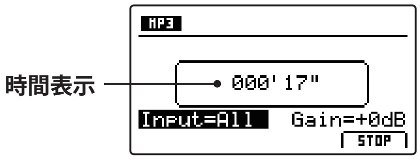
4. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

このとき[●]（REC）ボタンと[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンが点灯します。

ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。





* 録音待機状態から、[PLAY/STOP ▶/■]ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

* [METRONOME]ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。

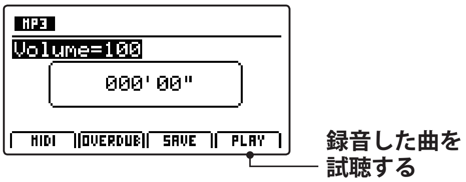
5. 録音をストップし、録音結果を試聴する

［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンを押します。

［●］（REC）ボタンと［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンが消灯し録音が終了します。

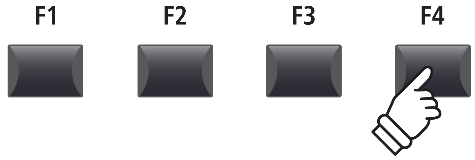
* ［F4］ボタンでも録音を停止する事ができます。

録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



* ［●］ボタン（REC）と［▶/■］ボタン（PLAY/STOP）を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。

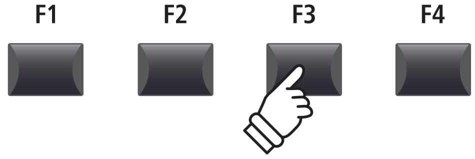
［F4］ボタン（PLAY）または［▶/■］ボタン（PLAY/STOP）を押すと録音データを保存する前に視聴する事ができます。

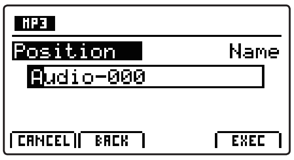


6. ファイル名をつける

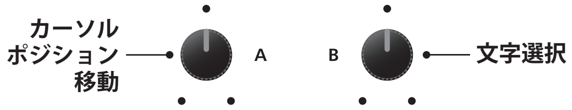
［F3］ボタンを押します。（SAVE）

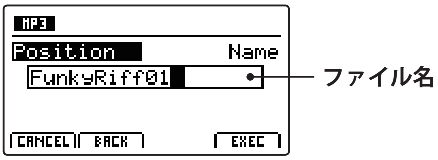
ディスプレイにオーディオファイルのSAVE（セーブ）画面が表示されます。





ノブ［A］［B］を使って、ファイル名を編集します。





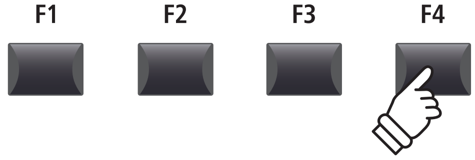
* ファイル名は最大18文字です。

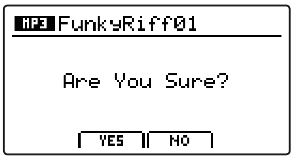
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

7. オーディオファイルを保存する

［F4］ボタンを押します。（EXEC）

確認画面がディスプレイに表示されます。

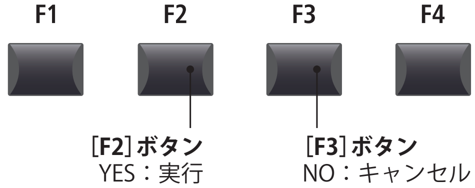




［F2］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押すと保存されます。

［F3］ボタンまたは［-/NO］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。



2 オーディオファイルを再生する

MP11はUSBメモリに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。

本格的なバッキングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

■ オーディオ再生ファイルフォーマット仕様

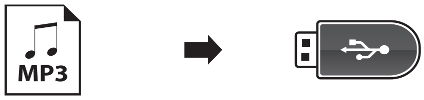
ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo	8 〜 320 kbit/s（fixed & variable）
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo, 8 bit/16 bit	—

* MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

■ USBメモリの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリへコピーします。

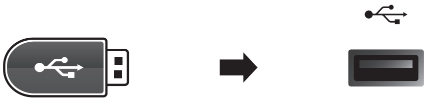
* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

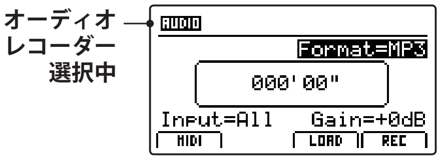
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

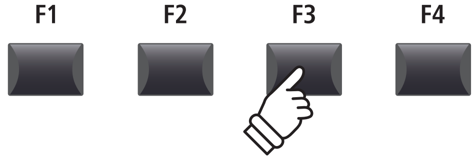


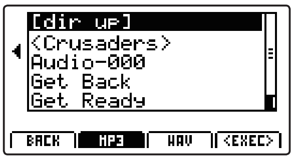
* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン（AUDIO）を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. LOAD（ロード）するファイルを選択する

[F3]ボタンを押します。（LOAD）

USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。

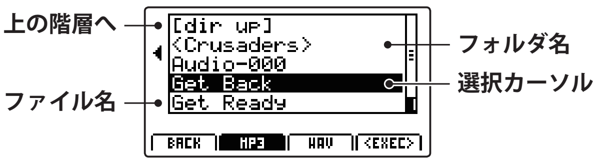


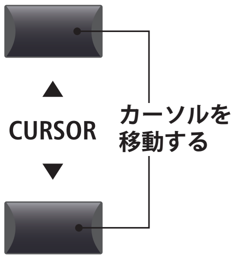


2 オーディオファイルを再生する（続き）

USBメモリのファイル/フォルダリストの画面

MP11のファイル/フォルダリスト画面はUSBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。



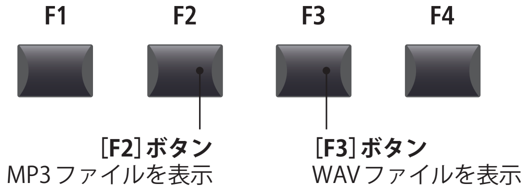


［CURSOR▲］［CURSOR▼］ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

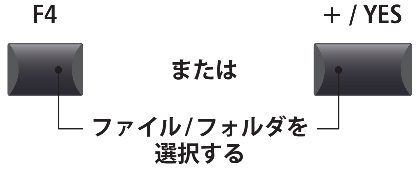
* ノブ［A］を回してもファイルを選択できます。

［F2］［F3］ボタンで、MP3とWAVフォーマットを切り換えることができます。

* 初期値ではMP3が選択されています。

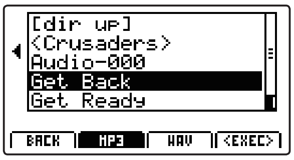


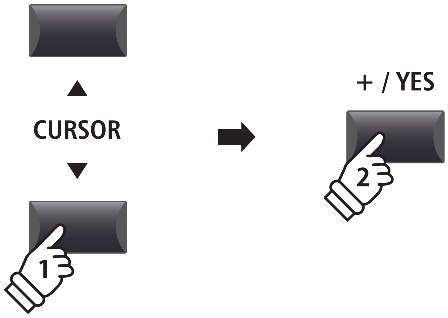
［F4］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押して、ファイルまたはフォルダを選択します。



4. LOAD（ロード）するオーディオファイルを選ぶ

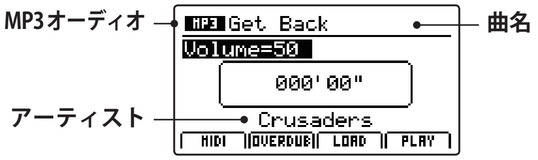
［CURSOR▲］［CURSOR▼］ボタンで目的のファイルを選びます。





［F4］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押します。

オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



* ID3タグなどのメタデータを持っている場合は、その曲名/アーティスト名が表示されます。

5. 再生する

［▶/■］(PLAY/STOP)ボタンを押します。

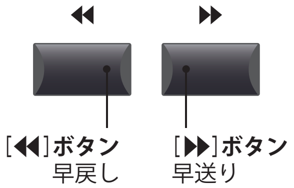
［▶/■］(PLAY/STOP)ボタンが点灯し、再生がスタートします。

* ［F4］ボタン(PLAY)を押す事でも再生する事ができます。

レコーダー

再生箇所の移動

[◀◀][▶▶]ボタンで、早送り、早戻しができます。

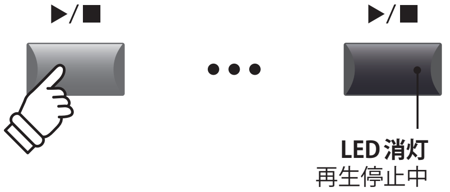


6. 曲を停止する

曲を再生している状態で：

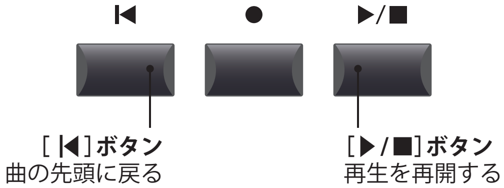
[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押します。

LEDが消灯し、再生が停止します。



再び[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を押すと、停止した位置から再生を開始します。また[|◀]ボタンでデータの先頭に戻ります。

* [F4]ボタン(STOP)を押すことでも再生を停止できます。

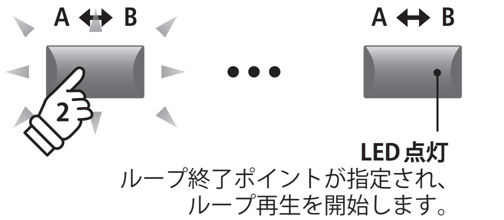


A-Bリピート

A-Bリピート機能を使うと、曲の一部を繰り返しループ再生することができます。

ソング再生中に[**A↔B**]ボタンを押すと、ループ開始ポイントが指定され、[**A↔B**]ボタンが点滅します。

再度[**A↔B**]ボタンを押すと、ループ終了ポイントが指定され、[**A↔B**]ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

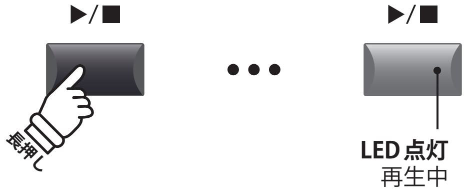


A-Bリピートで繰り返し再生されているとき、再度、[**A↔B**]ボタンを押すと、[**A↔B**]ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

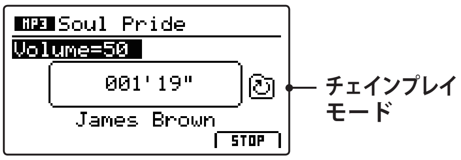
連続再生(チェインプレイ)モード

フォルダ内に保存されたオーディオファイルを連続して順番に再生するモードです。

[▶/■]ボタン(PLAY/STOP)を長押しします。



チェインプレイアイコンがディスプレイに表示され、曲が連続して順番に再生されます。



3 オーバーダビングする

MP11上で直接既存のオーディオのファイルに追加録音し、簡単なマルチトラック録音を行うことができます。

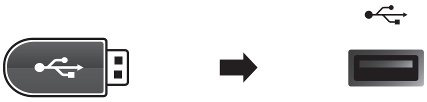
またオーバーダビング録音では、毎回一時的にファイルが作成されますので、一度保存したファイル、既存のオーディオファイルが修正されることはありません。

* 最終的に保存作業を行っていないと、そのときの録音結果は次のオーバーダビング録音で失われますのでご注意ください。

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

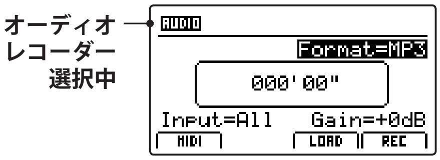
USBメモリが認識されます。



2. レコーダーモードに入る

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

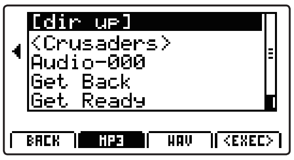


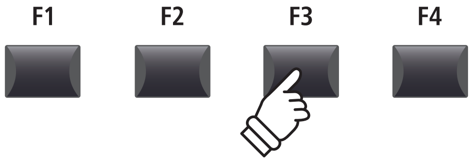
* MIDIレコーダー画面が表示されている場合は、[F1]ボタン（AUDIO）を押して、オーディオレコーダーを選択してください。

3. オーバーダビングしたいファイルを選択する

[F3]ボタンを押します。（LOAD）

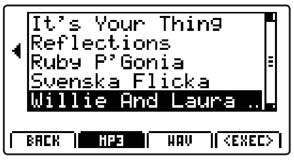
USBメモリのルート階層にあるフォルダとMP3のファイルリストがディスプレイに表示されます。

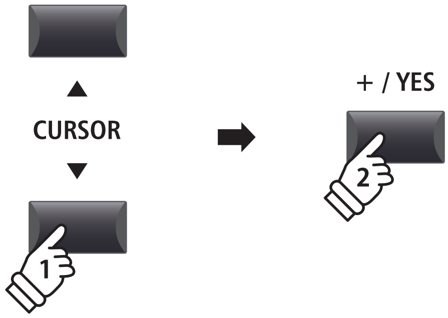




4. LOAD（ロード）するオーディオファイルを選ぶ

[CURSOR▲] [CURSOR▼]ボタンで目的のファイルを選びます。



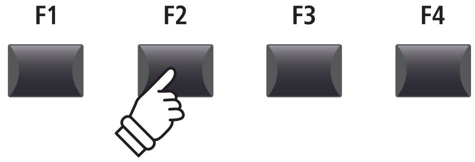


[F4]ボタンまたは[+/YES]ボタンを押します。

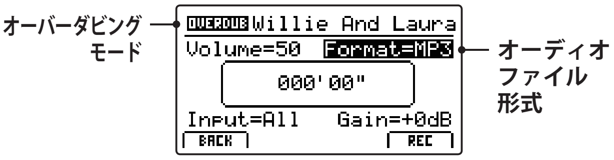
オーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。

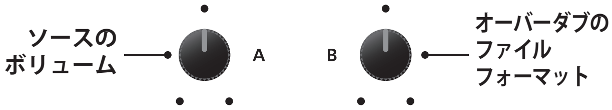
5. オーバーダビングモードへ入る

[F2]（OVERDUB）ボタンを押します。



オーバーダビング画面が表示されますので、ノブ[B]を使って、目的のオーディオファイル形式を選びます。





* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。

* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

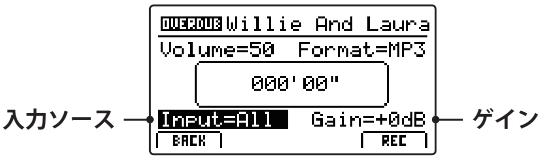
▌入力ソースの選択とゲインの設定

ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音の時はゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP11の音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。



* ゲインレベルは-18dB ～ +18dBの間で設定可能です。

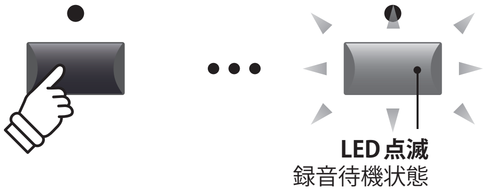
6. オーバーダビングの待機状態に入る

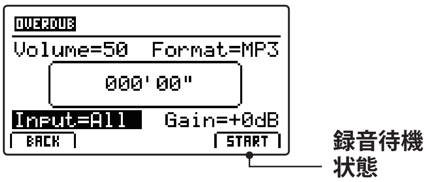
RECORDERセクションの[●]ボタン（REC）を押します。

このとき[●]ボタン（REC）が点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。

* USBメモリを挿すと認識に時間がかかる事があります。

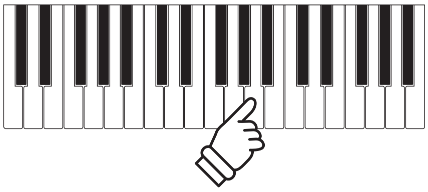


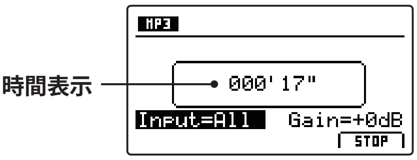


7. オーバーダビング録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

このとき[●]（REC）ボタンと[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンが点灯します。
ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。





* 録音待機状態から、[▶/■]（PLAY/STOP）ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

* [METRONOME]ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。

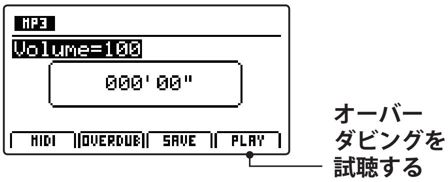
8. オーバーダビング録音を停止する

[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を押します。

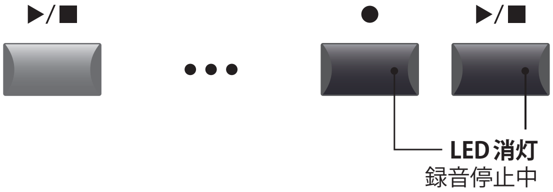
[●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）が消灯し録音が終了します。

* [F4]ボタンでも録音を停止する事ができます。

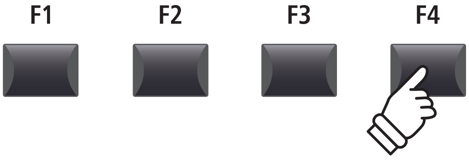
録音を停止するとオーディオプレイヤー画面がディスプレイに表示されます。



[F4]ボタンを押すと保存する前に録音を試聴する事ができます。



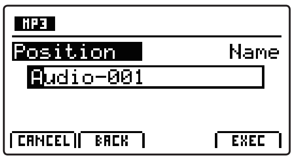
* [●]ボタン（REC）と[▶/■]ボタン（PLAY/STOP）を同時に押すと、録音されたファイルが消去されます。



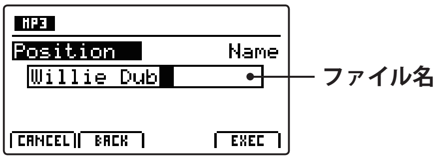
9. ファイル名をつける

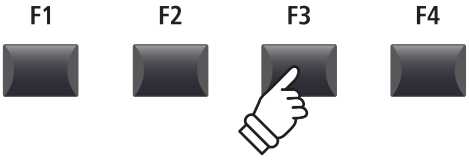
[F3]ボタン（SAVE）を押します。

ディスプレイにオーディオファイルのSAVE（セーブ）画面が表示されます。



ノブ[A][B]を使って、ファイル名を編集します。



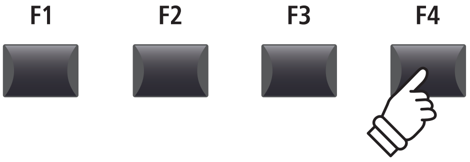


* ファイル名は最大18文字です。

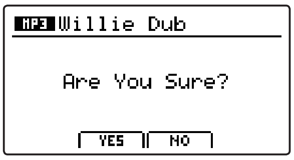
* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

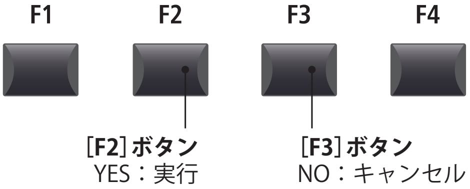
10. オーディオファイルを保存する

［F4］ボタンを押します。（EXEC）



確認画面がディスプレイに表示されます。





［F2］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押すと保存されます。

［F3］ボタンまたは［-/NO］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

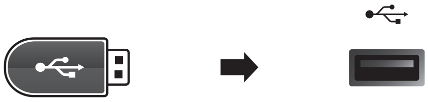
4 MIDI ソングをオーディオ変換する

内部メモリに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリへ録音することができます。

1. USBメモリを接続する

USBデバイスポートにUSBメモリを接続します。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

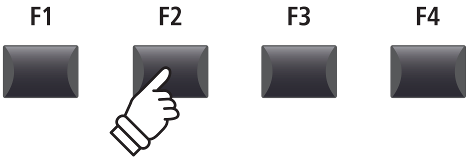


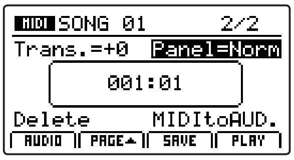
USBメモリが認識されます。

2. MIDIレコーダー画面に入り、MIDI to Audio機能を選択します

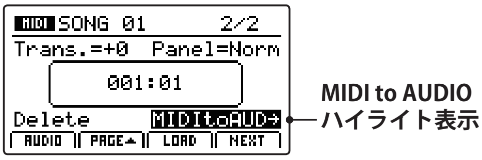
MIDIレコーダーを選択した状態で：

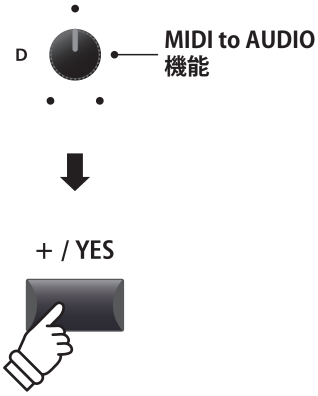
［F2］ボタンを押してMIDIレコーダーの2ページ目を表示します。





ノブ［D］を回してMIDI to AUDIO機能をにカーソルを合わせます。





* カーソルボタンでも選択可能です。

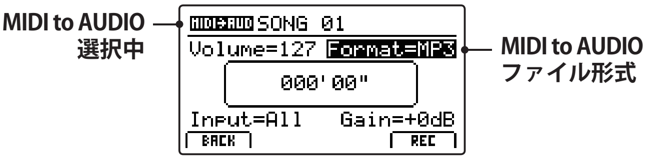
［+/YES］ボタンを押して、MIDI to AUDIO機能を選択します。

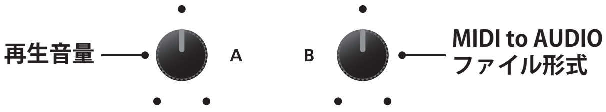
MIDI to AUDIO機能がディスプレイに表示されます。

4 MIDIソングをオーディオ変換する（続き）

3. オーディオフォーマットを選ぶ

ノブ[B]を使って目的のオーディオフォーマットを選び、ノブ[A]で再生音量を調整します。





* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリの容量を必要としません。
* 1Gバイトのメモリの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

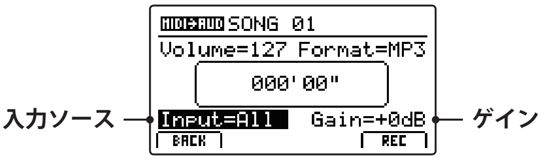
▌入力ソースの選択とゲインの設定

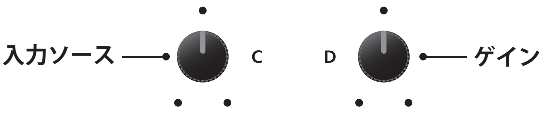
ノブ[C]を回して入力ソースを選択します。

ノブ[D]を回して録音ゲインを設定します。

静かな曲の録音の時はゲインをあげて録音してください。

入力	説明
All	MP11の音とラインインの音の両方。
Line	ラインインの音のみを録音。





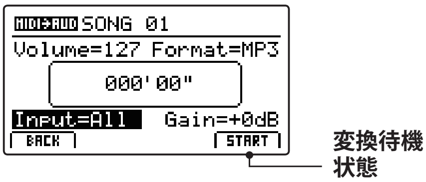
* ゲインレベルは-18dB ～ +18dBの間で設定可能です。

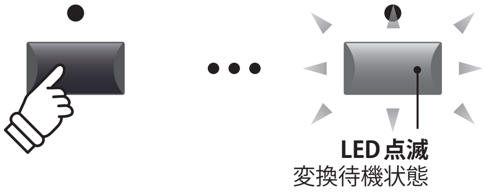
4. 変換の待機状態に入る

RECORDERセクションの[●]（REC）ボタンを押します。

このとき[●]（REC）ボタンが点滅し、録音待機状態を示します。

* レコーダーモードから、[F4]ボタンを押すことでも、録音待機状態に移行します。



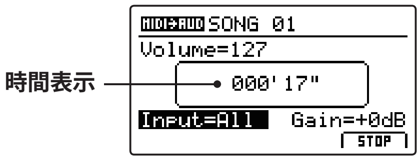


レコーダー

5. 変換を開始する（録音）

［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンを押します。

このとき［●］（REC）ボタンと［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンが点灯します。
ディスプレイ中央に時間が表示され、録音が始まります。



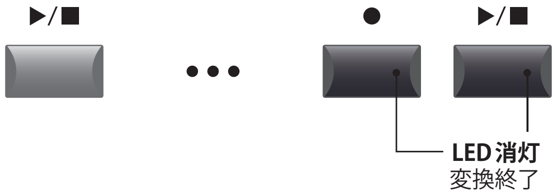
録音された曲の最後まで再生されると、変換は自動的に終了します。

* ［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンまたは［F4］ボタンを変換中に押すと、変換は途中で終了します。

［●］（REC）ボタンと［▶/■］（PLAY/STOP）ボタンが消灯し、変換が終了します。

* 変換は［F4］ボタンを押すことでも開始されます。

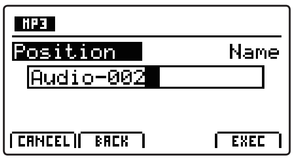
* このとき鍵盤を弾くと、鍵盤の演奏音も同時にオーディオ録音されます。



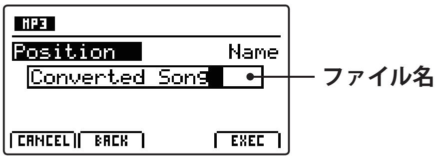
6. 変換を保存し、ファイル名をつける

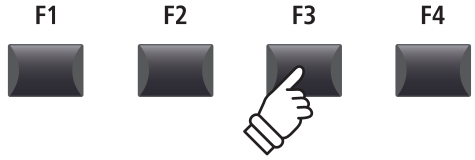
［F3］ボタンを押します。（保存）

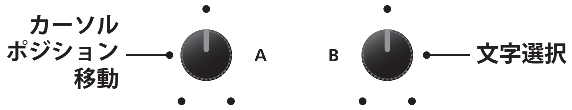
ディスプレイにオーディオファイルのSAVE（セーブ）画面が表示されます。



ノブ［A］［B］を使って、ファイル名を編集します。







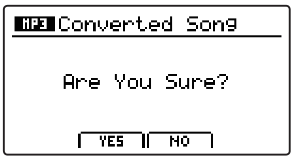
* ファイル名は最大18文字です。

* ファイルはUSBメモリのルートフォルダに保存されます。異なるフォルダへは保存できません。

7. 変換したオーディオファイルを保存する

［F4］ボタンを押します。（EXEC）

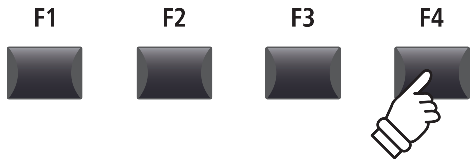
確認画面がディスプレイに表示されます。

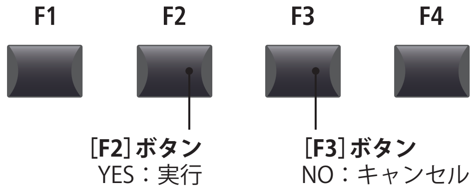


［F2］ボタンまたは［+/YES］ボタンを押すと保存されます。

［F3］ボタンまたは［-/NO］ボタンを押すと前の画面に戻ります。

* 書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。





レコーダー

メトロノーム

メトロノームを鳴らしてテンポを確認したり、リズムパターンを加えて演奏することができます。

通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

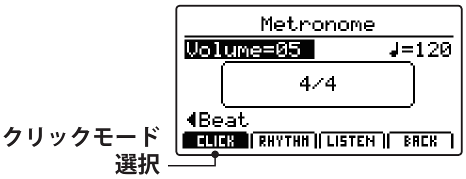
1 クリックモード

クリックモードでは、数種類の異なる拍子で単純なクリック音のメトロノームを鳴らす事ができます。

■メトロノーム機能を使う

［METRONOME］ボタンを押します。

［METRONOME］ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



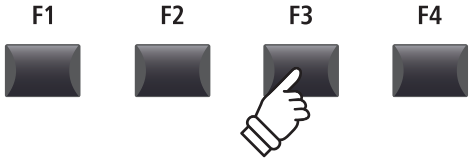
* メトロノームはまだ発音しません。

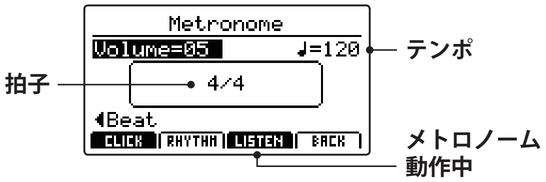
* メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

■メトロノームの発音開始、停止

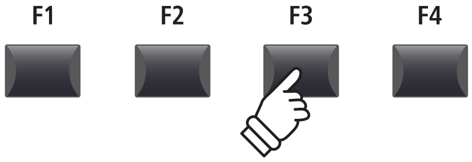
［F3］ボタン（LISTEN）を押します。

画面下の［LISTEN］アイコンが反転し、メトロノームが発音します。



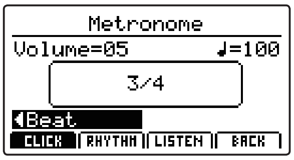


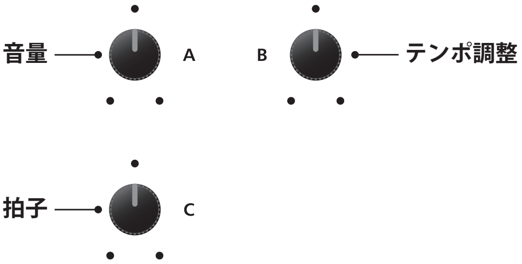
再び［F3］ボタン（LISTEN）を押すと、メトロノームのカウントが止まり、［LISTEN］アイコンの反転が戻ります。



■メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定

ノブ［A］［B］［C］を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。





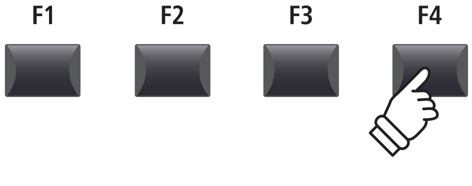
* メトロノームのテンポは、30 ～ 300（8分の拍子のときは、60 ～ 600）の範囲で設定できます。

* 拍子は1/4，2/4，3/4，4/4，5/4，3/8，6/8，7/8，9/8，12/8より選択できます。

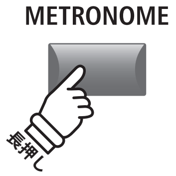
* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

通常演奏画面に戻る

メトロノームが鳴っている状態で：



［F4］ボタン（バック）を押すと、メトロノームを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻る事ができます。



［METRONOME］ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。

2 リズムモード

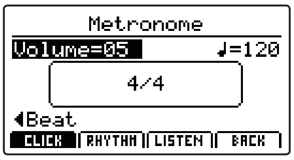
リズムモードではメトロノーム機能としてリズムパターンを鳴らす事ができます。13のカテゴリに分かれた100種類の異なるドラムパターンがあります。

* ドラムパターンのリストはP.87をご確認ください。

メトロノーム機能を使う

［METRONOME］ボタンを押します。

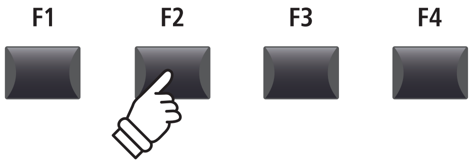
［METRONOME］ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



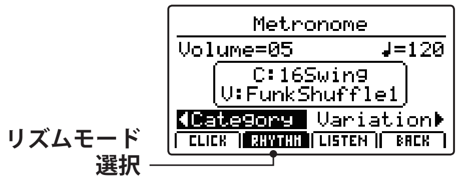
* メトロノームはまだ発音しません。
* メトロノームは初期値はClick modeに設定されています。

リズムモードを選択する

［F2］ボタン（RHYTHM）を押します。



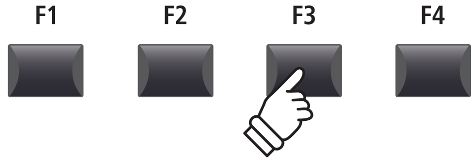
画面下の［RHYTHM］アイコンが反転し、リズムモードが選択されます。
現在のリズムパターンのカテゴリとバリエーションがディスプレイに表示されます。



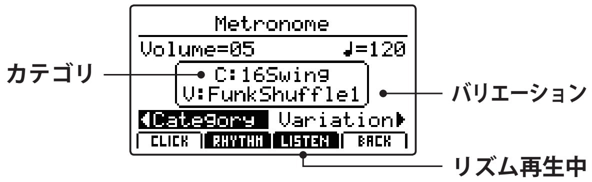
2 リズムモード（続き）

ドラムパターンの発音開始、停止

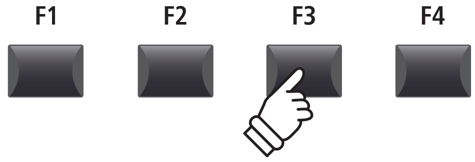
［F3］ボタン（LISTEN）を押します。



画面下の［LISTEN］アイコンが反転し、選択したリズムカテゴリ・バリエーションのドラムパターンが発音開始します



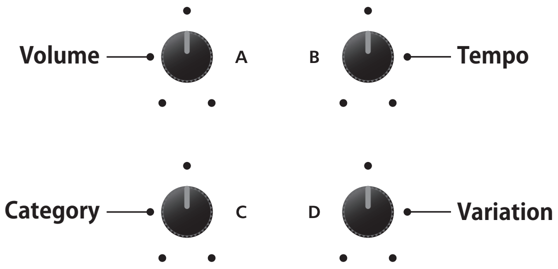
ドラムパターンを停止するには［F3］ボタン（LISTEN）をもう一度押してください。



ドラムパターンの音量、テンポ、カテゴリ、バリエーションの選択

ノブ［A］［B］を回してドラムパターンの音量とテンポを調整します。

ノブ［C］［D］を回してドラムパターンのカテゴリとバリエーションを選択します。



* メトロノームのテンポは、30 ～ 300の範囲で設定できます。

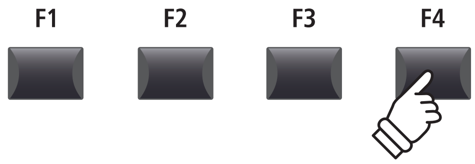
* ドラムパターンのリストはP.87をご確認ください。

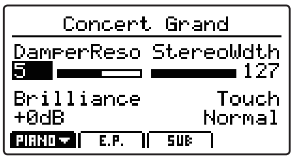
* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

通常演奏画面に戻る

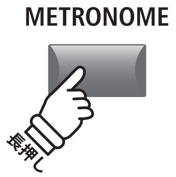
ドラムパターンが鳴っている状態で：

［F4］ボタン（バック）を押すと、ドラムパターンを鳴らした状態のまま通常演奏画面に戻る事ができます。





［METRONOME］ボタンを長押しすると再びメトロノームの調整画面が表示されます。



ドラムパターン一覧

16 Swing	
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3

16 Funk	
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3

16 Straight	
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock

16 Latin	
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge

16 Dance	
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad	
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4

8 Ballad	
49	Slow Jam
50	50's Triplet
51	R&B Triplet

8 Straight	
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat

8 Rock	
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B

8 Swing	
72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet	
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz

Jazz	
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing

8 Latin	
94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

3 メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音する事は、録音される曲のテンポを一定に保つのに有効です。

以下の説明は例として内部レコーダーへ録音する手段を記載します。

USBファイルへのMP3/WAV録音も可能です。

1. レコーダーモードに入る

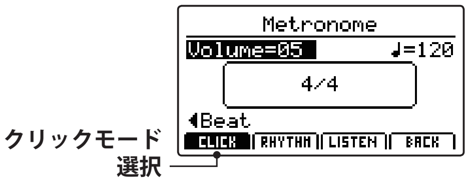
RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンを押してレコーダーモードに入ります。

RECORDERセクションの[ON/OFF]ボタンが点灯し、オーディオレコーダー画面がディスプレイに表示されます。

2. メトロノーム機能をONにする

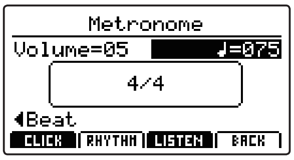
[METRONOME]ボタンを押します。

[METRONOME]ボタンが点灯し、ディスプレイにメトロノーム機能が表示されます。



3. メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定をし、メトロノームを鳴らす

ノブ[A][B][C]を回してメトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。

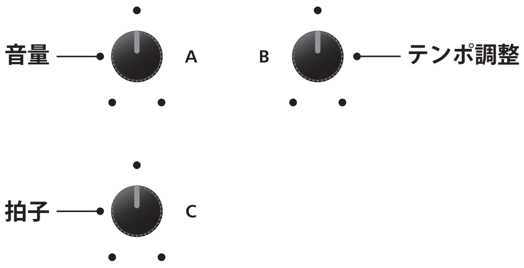


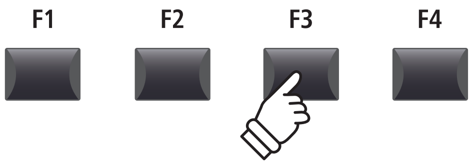
[F3]ボタン(LISTEN)を押すと、現在のメトロノームセッティングで発音します。

* メトロノームのテンポは、30～300(8分の拍子のときは、60～600)の範囲で設定できます。

* 拍子は1/4，2/4，3/4，4/4，5/4，3/8，6/8，7/8，9/8，12/8より選択できます。

* 好みのメトロノームのセッティングはSETUPまたはPOWERONメモリに保存すればすぐに呼び出すことができます。

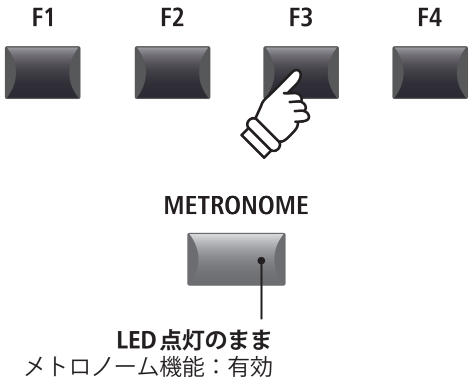




4. レコーダー画面に戻る

[F4] ボタン (BACK) を押すと、レコーダー画面に戻ります。

[METRONOME] ボタンは点灯したままで、メトロノーム機能が有効である事を示します。

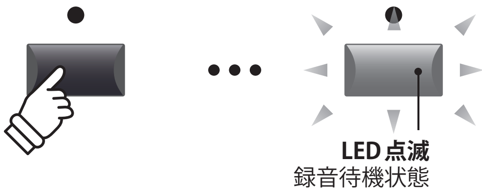


5. 録音待機状態

[●] (REC) ボタンを押します。

[●] (REC) ボタンが点滅を開始し、待機状態を表します。

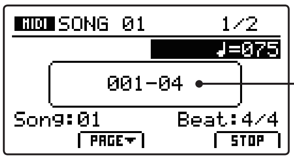
* [F4] ボタン (REC) でも録音待機状態に移行します。



6. 録音を開始する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) または [F4] ボタン (REC) を押します。

1小節分のカウントインの後、録音が開始されます。



* 録音待機状態で鍵盤を弾きはじめると自動的に録音が開始されますが、その場合はカウントインはありません。

* クリックモードで録音した場合、クリック音は録音されません。リズムモードで録音した場合、ドラムパターンも録音されます。

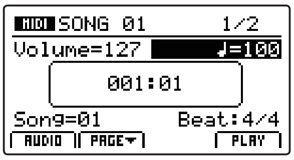
7. 録音を停止する

[▶/■] ボタン (PLAY/STOP) を押します。

[●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し録音が終了します。

* [F4] ボタンを押すことでも録音をとめる事ができます。

録音を停止するとMIDI再生画面が表示されます。



* 最大録音容量は約90000音です。

* 録音中に記憶容量がいっぱいになったときは [●] ボタン (REC) と [▶/■] ボタン (PLAY/STOP) が消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

* 内部メモリへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

* レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

USBメニューについて

USBメモリに、音色、セットアップ、システム設定、ソングの読み込み／保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USBメモリのフォーマットを行うことができます。

ファイルの種類

ファイルの種類	説明	拡張子
SOUND	サウンド設定のバックアップ。	.km5
SETUP	セットアップ設定のバックアップ。	.km6
SMF	SMF形式のMIDIソングファイル。	.mid
Song	MP3/WAV形式のオーディオソングファイルまたはSMFソングファイル。	.mp3, .wav, .mid
All Sound	全音色のサウンドパラメータのバックアップ。	.km2
All Setup	全セットアップメモリのバックアップ。	.km3
All Backup	全セットアップメモリ、全音色のサウンドパラメータ、システム設定のバックアップ。	.km4

USBメニューへ入る

USBメモリを接続してください。

* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

［USB］ボタンを押します。

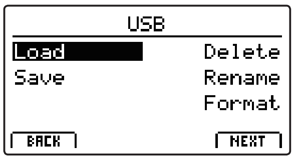
［USB］ボタンが点灯し、ディスプレイにUSBメニューリストが表示されます。

USBメニュー選択画面

カーソルボタンを押して、目的のファイル操作のカテゴリを選び、［+/YES］ボタンまたは［F4］ボタン（NEXT）ボタンを押します。

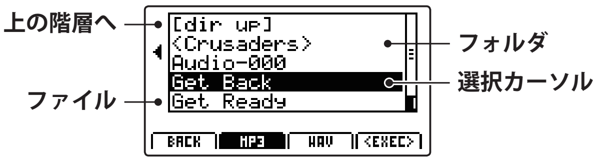
次にカーソルボタンで目的のファイルの種類を選び、［+/YES］ボタンまたは［F4］ボタン（NEXT）ボタンを押します。

［-/NO］または［F1］（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



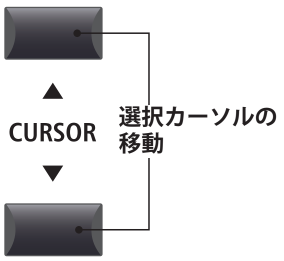
ファイル/フォルダリスト画面

MP11のファイル/フォルダリスト画面は、USBメモリに保存されているファイルとフォルダをリスト表示します。

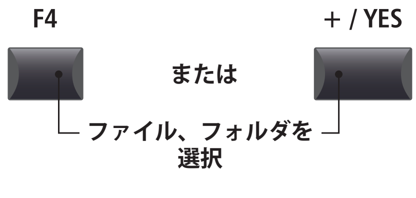


カーソル上下ボタンでカーソルを動かします。

* ノブ［A］を回すことでもカーソルを移動できます。



［F4］ボタン（EXEC）または［+/YES］ボタンを押すとファイル選択、または選択したフォルダ内に移動します。



1 Load（ロード/読込）

USB メモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングを読み込みます。LoadSMF（ロードSMF）機能を除いて、各操作方法は同じです。

ロード機能は現在保存されているデータを上書きします。
必要なデータを消してしまわないようご注意ください。

1. Load One Sound

USB メモリに保存されたサウンドファイルを読み出して、内部メモリの音色のプリセット設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のサウンドファイルを選択してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、サウンドは自動的に選ばれます。その他のセクションはキャンセルされます。セットアップもキャンセルされます。

2. Load One Setup

USB メモリに保存されたセットアップメモリを読み出して、内部メモリのセットアップ設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のセットアップファイルを選択してください。

転送先のセットアップメモリを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

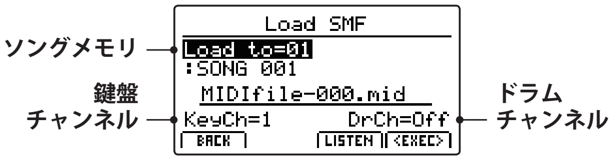
最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

* 読み出し後、セットアップは自動的に選ばれます。

3. Load SMF

USBメモリに保存されたSMF形式のソングファイルを読み出して、MIDI レコーダーのソングメモリを書き換えます。
この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のSMF を選択してください。

選択後、MP11 の MIDI レコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルにSMF のどのチャンネルを使用するかをノブ[C][D]を使って指定します。またノブ[A]を使って書き込み先の内部ソングメモリを選びます。



[F3]（LISTEN）ボタンを押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、選んだSMF が内部メモリへLoad（ロード）され、MIDI レコーダー画面が表示されます。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

* MIDI レコーダーの詳細は、P.62を参照してください。

4. Load All Sound

USB メモリに保存されたオールサウンドファイルを読み出して、全音色のサウンド設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールサウンドファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

5. Load All Setup

USB メモリに保存されたオールセットアップファイルを読み出して、全てのセットアップメモリを書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールセットアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

6. Load All Backup

USB メモリに保存されたオールバックアップファイルを読み出して、全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダリストから、目的のオールバックアップファイルを選択してください。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

2 Save（セーブ/保存）

内部メモリに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングをUSBメモリに書き込みます。

SaveSMF（セーブSMF）機能を除いて、各操作方法は同じです。

1. Save One Sound

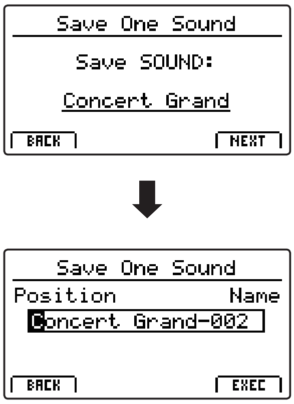
現在のサウンド設定をUSBメモリに保存します。

* MIDIセクションが選ばれていれば、自動的に現在のPIANOセクションが保存されます。

この機能を選択後、保存するサウンドの確認画面が表示されます。

さらにノブ[A] [B]を使ってサウンドファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



2. Save One Setup

MP11のセットアップ設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、保存するセットアップの確認画面が表示されます。

保存したいセットアップメモリを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

さらにノブ[A] [B]を使ってセットアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。

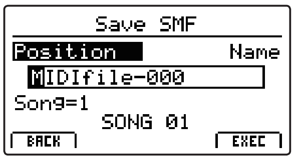
3. Save SMF

MIDIレコーダーのソングメモリの内容を、SMF形式でUSBメモリに保存します。

この機能選択後、ノブ[C]を使って、保存したいソングメモリを選択します。

さらに、ノブ[A] [B]を使ってシステムファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

[F2]または[F3]ボタンを押して、操作を実行/キャンセルしてください。



* MIDI レコーダーの詳細は、P.62を参照してください。

4. Save All Sound

MP11の全音色のサウンド設定をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A] [B]を使ってオールサウンドファイルに名前をつけ、[F4](EXEC)ボタンを押します

5. Save All Setup

MP11の全てのセットアップメモリの内容をUSBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブ[A] [B]を使ってオールセットアップファイルに名前をつけ、[F4](EXEC)ボタンを押します。

6. Save All Backup

全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリ、システム設定を、USBメモリに保存します。

この機能を選択後、ノブを使ってオールバックアップファイルに名前をつけ、[F4](EXEC)ボタンを押します。

3 Delete(デリート/削除)

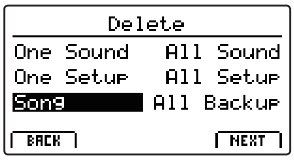
USBメモリに格納されているファイルを削除します。

接続されたUSBメモリからデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. 削除したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR]ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4](NEXT)ボタンを押します。

[-/NO]または[F1](BACK)ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

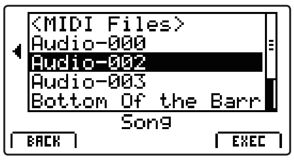


2. 削除したいファイルを選ぶ

ノブ[A]または、[CURSOR ▲][CURSOR ▼]ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES]または[F4](EXEC)ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO]または[F1](BACK)ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



3. ファイルを削除する

[+/YES]ボタンを押すと、ファイルが削除されます。

[-/NO]ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

ファイル削除が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。

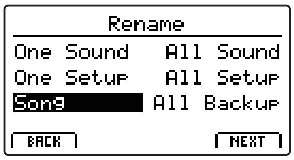
4 Rename（リネーム/ファイル名変更）

USB メモリに格納されているファイル名を変更します。

1. 変更したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4]（NEXT）ボタンを押します。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



2. 変更したいファイルを選ぶ

ノブ [A] または、[CURSOR ▲] [CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

[+/YES] または [F4]（EXEC）ボタンを押します。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3. ファイル名を編集する

ノブ [A] [B] を使って、ファイル名を編集します。

[+/YES] または [F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

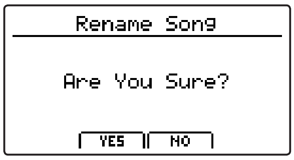
[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

4. ファイル名変更を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイル名変更が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、ファイル名変更はキャンセルされます。

ファイル名変更が終了すると、USB メニュー画面へ戻ります。



5 Format（フォーマット/初期化）

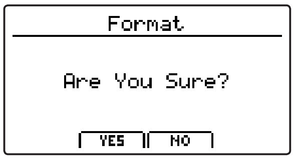
USBメモリを初期化して、格納されているデータをすべて消去します。

⚠ **接続されたUSBメモリに格納されている全てのデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。**

1. フォーマット機能を選択する

［CURSOR］ボタンを押して、フォーマット機能を選択し、［F4］（NEXT）ボタンを押します。

［-/NO］または［F1］（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

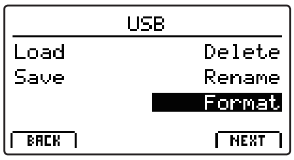


2. メッセージを確認する

最初の確認画面がディスプレイに表示されます。

メッセージを確認し、［+/YES］または［F4］（EXEC）ボタンをすと、次の確認画面に進みます。

［-/NO］または［F1］（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。



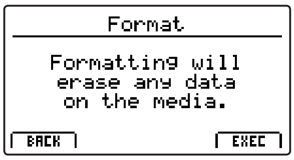
3. フォーマットを実行する

最終確認の画面がディスプレイに表示されます。

［+/YES］ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

［-/NO］ボタンを押すと、フォーマットはキャンセルされます。

フォーマットが終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。



システムメニューについて

［SYSTEM］ボタンでは、MP11の全体にかかわる基本設定を行います。

パラメータは6つのカテゴリ（Utility，Pedal，MIDI，Offset，User Edit，Reset）に分類されております。

変更した値は自動的に内部に保存されますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。

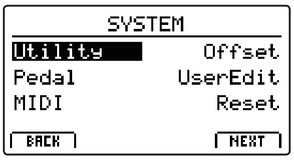
▍システムメニュー・パラメータ

カテゴリ	パラメータ
Utility SYS	System Tuning, Eff. SW Mode, Knob Action, Volume Fader Action, LCD Contrast, LCD Reverse, Input Level, Audio Output Mode, Lock SW Mode, Auto Power Off
Pedal SYS	Right Pedal Mode, Center Pedal Mode, Left Pedal Mode, Half Pedal Adjust, Right Pedal Polarity, Center Pedal Polarity, Left Pedal Polarity, EXP Pedal Curve, EXP Pedal Polarity, EXP Pedal Calibrate
MIDI SYS	System Channel, Key to MIDI, Key to USB, MIDI to MIDI, MIDI to USB, USB to MIDI, SETUP Program, SETUP Bank, SETUP Volume, SETUP Knobs, Receive Mode, PIANO Channel, E.PIANO Channel, SUB Channel
Offset SYS	EQ Offset On/Off, Reverb Offset, EQ Offset Low, EQ Offset High, EQ Offset Mid1, EQ Offset Mid2
User Edit SYS	User Touch Curve, User Temperament
Reset	One Sound, All Sound, One Setup, All Setup, System, Power On, Recorder, Factory

▍システムメニューに入る

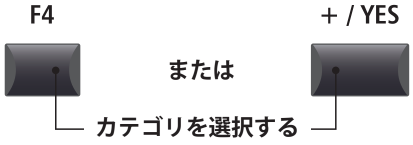
［SYSTEM］ボタンを押します。

［SYSTEM］ボタンが点灯し、システム設定画面が表示されます。



▍システムパラメータのカテゴリを選ぶ

カーソルボタンでカテゴリを選択し、［F4］ボタン（NEXT）または［+/YES］ボタンをを押して目的のカテゴリのパラメータ調整画面に入ります。



▍パラメータを調整する

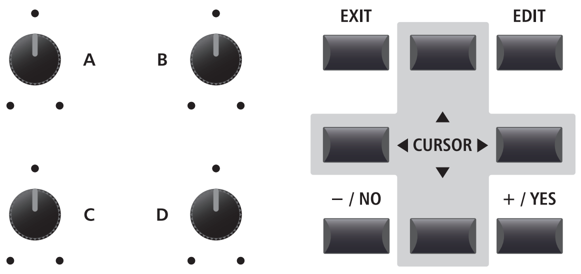
ノブ［A］［B］［C］［D］を回して表示されたパラメータを調整します。

パラメータはカーソルボタンで移動、［-/NO］［+/YES］ボタンで値を調整する事もできます。

［F2］［F3］ボタンでシステムメニューのページを移動する事ができます。

* カーソル上下でもページ移動が可能です。

* 調整したシステムパラメータは、演奏モードの画面に戻る時、自動的に保存されます。



システムパラメータと機能について

1 Utility（ユーティリティ）

1. System Tuning（システムチューニング） VALUE：427.0 ～ 453.0 Hz

内部音源の全体のチューニングを0.5Hz単位で調整します。

* 初期値はA=440Hzです。

2. Eff. SW Mode Preset, Temp.

音色を切り替えたとき、［EFX］［REVERB］［AMP］ボタンのON/OFF状態を変更するかどうかを設定します。

モード	説明
Preset	音色を切り換えたときON/OFF状態を変更します。
Temp.	音色を切り替えたときON/OFF状態を切り換えません。

* 初期値はPresetです。

3. Knob Action（ノブアクション） Normal, Catch

ノブ[A][B][C][D]がどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	ノブを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とノブの位置が一致するまで値が変わりません。“Catch（キャッチ）”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

4. Volume Fader Action （ボリュームフェーダーアクション） Normal, Catch

PIANO/E.PIANO/SUBセクションのフェーダがどのように動作するかを設定します。

モード	説明
Normal	フェーダーを動かすと、すぐに値が変わります。
Catch	保存されたボリューム値とフェーダーの位置が一致するまでボリュームが変わりません。“Catch（キャッチ）”を選ぶと、予期しない値の不連続な変化を防ぐことができます。

* 初期値はNormalです。

5. LCD Contrast（コントラスト） VALUE：1 ～ 10

ディスプレイのコントラストを調整します。
値を大きくすると、表示の明暗がはっきりします。

* 初期値は5です。

6. LCD Reverse（LCDリバース） ON, OFF

ディスプレイ表示を白黒反転させます。状況に応じてディスプレイの見え方を変えることができます。

* 初期値はOFFです。

7. Input Level（インプットレベル） VALUE：–18 dB ～ +18 dB

［LINE IN］端子の入力レベルを調整します。

外部機器の出力レベルが高すぎる場合は、このパラメータを下げます。また低すぎる場合は、このパラメータを上げます。

* 初期値は+0dBです。

8. Audio Out Mode Stereo, 2xMono

MP11のL、R端子のラインアウト出力をステレオ出力にするか、2系統のモノラル出力にするかを設定できます。

モニターとミキサーに同時に接続する場合などに便利です。

モード	説明
Stereo	通常のステレオ出力
2xMono	両方のジャックからモノラル出力

* 初期値はStereoです。
* 2xMonoを選択している場合、Auto Panなどのステレオエフェクトは効きません。

9. Lock SW Mode 6タイプ

ボタン（LOCK）を押したとき、どの操作をロックするかを設定します。

モード	説明
Panel	鍵盤、ホイール、ペダルとボタン（LOCK）以外をロックします。
Bend	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod.	モジュレーションホイールをロックします。
Center	F-30の中ペダルをロックします。
Left	F-30の左ペダルをロックします。
EXP	エクスプレッションペダルをロックします。

* 初期値はPanelです。

10. Auto Power Off Off, 30 mins., 60 mins., 120 mins.

非操作状態が続いた場合に自動で電源OFFするまでの時間を設定します。

値	説明
Off	自動電源OFFしません。
30 mins.	30分で自動的に電源が切れます。
60 mins.	60分で自動的に電源が切れます。
120 mins.	120分で自動的に電源が切れます。

* 初期値はOffです。

2 Pedal（ペダル）

1. Right Pedal Mode 5 functions

このパラメータはF-30の右ペダルの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

Pedal Modeについて

モード	説明
Normal	エディットメニューで指定した動作をします。
Setup+	次のセットアップメモリに切り替えます。
Setup-	前のセットアップメモリに戻ります。
Playback	曲の再生・停止に使用します。
Metro.	メトロノームを再生・停止します。

2. Center Pedal Mode 5 functions

このパラメータはF-30の中ペダルの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

3. Left Pedal Mode 5 functions

このパラメータはF-30の左ペダルの動作を設定します。

* 初期値はNormalです。

4. Half Pedal Adjust（ハーフペダル調整） VALUE：1～10

ダンパーペダル効果がかかり始める位置を調整します。

* 初期値は5です。

5. Right Pedal Polarity（右ペダルの極性） Normal, Reverse

右ペダルの極性を変えられます。

同梱のF-30を使用する際はNORMALのまま使用してください。
F-30と極性が逆のペダルを接続する場合はREVERSEを選択してください。

* 初期値はNormalです。

6. Center Pedal Polarity（中ペダルの極性） Normal, Reverse

中ペダルの極性を変えられます。

* 初期値はNormalです。

7. Left Pedal Polarity（左ペダルの極性） Normal, Reverse

左ペダルの極性を変えられます。

* 初期値はNormalです。

8. EXP Pedal Curve（エクスプレッションペダルカーブ） Normal, Slow, Fast

エクスプレッションペダルのペダルカーブを選択します。

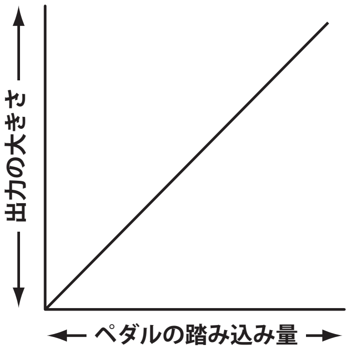
* 初期値はNormalです。

9. EXP Pedal Polarity Normal, Reverse

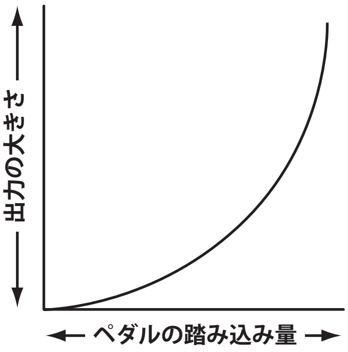
エクスプレッションペダルの極性を変えられます。

* 初期値はNormalです。

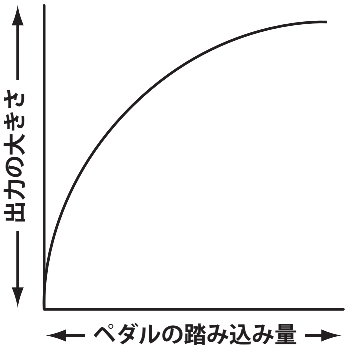
NORMAL



SLOW



FAST



システムメニュー

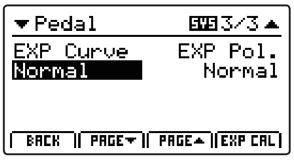
エクスプレッションペダルの調整について

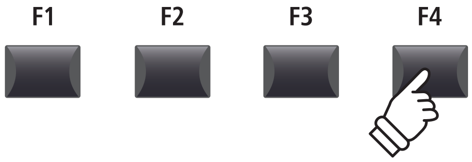
接続するエクスプレッションペダルはメーカーやモデルによって調整範囲に差があります。

このキャリブレーション（再調整）機能は、実際に使用されるエクスプレッションペダルに合わせて動作を調整します。

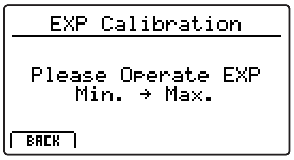
■ EXPペダルを再調整する

システムメニューのPedalの3ページ目を表示します。

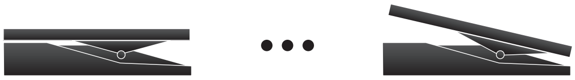


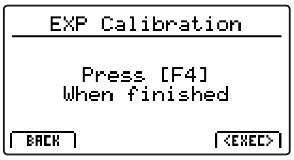


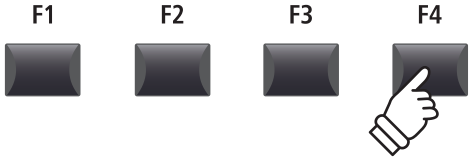
［F4］ボタン（EXP CAL）を押して、再調整画面をディスプレイに表示します。



エクスプレッションペダルを最小位置に移動し、その後最大位置に踏み込みます。







［F4］ボタン（EXEC）を押して、再調整を実行します。

自動的に計算され、調整を終了します。

3 MIDI

1. System Channel
VALUE：01Ch ～ 16Ch

MP11の受信モードがPANELに設定されているときに使用する、MIDI受信チャンネルを設定します。

* 初期値は01Chです。

2. Key to MIDI
ON, OFF

MP11の操作をMIDI OUT端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

3. Key to USB
ON, OFF

MP11の操作をUSB端子からMIDI出力するかどうかを設定します。

* 初期値はONです。

4. MIDI to MIDI
ON, OFF

MP11のMIDI INからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

5. MIDI to USB
ON, OFF

MP11のMIDI INからの情報をUSB-MIDIに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

6. USB to MIDI
ON, OFF

MP11のUSB-MIDIからの情報をMIDI OUTに出力するかどうかを設定します。

* 初期値はOFFです。

7. SETUP Program
ON, OFF

セットアップ変更時にプログラムチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.52をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

8. SETUP Bank
ON, OFF

セットアップ変更時にバンクチェンジをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.52をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

9. SETUP Volume
ON, OFF

セットアップ変更時にボリュームの値を送信するかどうかを設定します。

* 詳細はP.52をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

10. SETUP Knobs
ON, OFF

セットアップ変更時にノブに割り当てられているパラメータをMIDI送信するかどうかの設定をします。

* 詳細はP.52をご確認ください。

* 初期値はOFFです。

11. Receive Mode
Panel, Section, Omni On

受信したMIDIデータをどのように扱うかを設定します。

モード	説明
Panel	MIDI情報をシステム・チャンネル（本ページ「1.System Channel」の項参照）で受信し、パネル全体をコントロールします。
Section	MIDI情報を各セクションの受信チャンネルで受信し、セクション毎に独立してコントロールします。
Omni On	MIDIチャンネルにかかわらず、パネル全体を制御します。

* 初期値はPanelです。

12. PIANO Channel
VALUE：01Ch ～ 16Ch

受信モードが“Section”に設定されているときのPIANOセクションの受信チャンネルを設定します。

* 初期値は01Chです。

13. E.PIANO Channel
VALUE：01Ch ～ 16Ch

受信モードが“Section”に設定されているときのE.PIANOセクションの受信チャンネルを設定します。

* 初期値は02Chです。

14. SUB Channel
VALUE：01Ch ～ 16Ch

受信モードが“Section”に設定されているときのSUBセクションの受信チャンネルを設定します。

* 初期値は03Chです。

4 Offset（オフセット）

1. EQ Offset ON/OFF
ON, OFF

EQオフセット機能のON/OFFを設定します。

EQオフセットは設定したEQセッティングを変更することなく、使用する環境の違い（例えば自宅とライブハウス等）に対応するため、EQにオフセットをかける機能です。

* 初期値はOFFです。

* EQオフセットはそれぞれのSETUPに保存されたEQに加算されます。加算後のEQは±10dBに制限されます。

2. Reverb Offset
VALUE：0%～100%

システム全体のリバーブの補正値を設定します。

リバーブオフセットは設定したリバーブセッティングを変更することなく、使用する環境の違い（例えば自宅とライブハウス等）の残響の違いに対応するため、オフセットをかける機能です。

* 初期値は100%です。

3. EQ Offset Low
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

低音域（Lo）の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

4. EQ Offset High
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

高音域の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5. EQ Offset Mid1
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

中音域（Mid1）の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

6. EQ Offset Mid2
VALUE：–10 dB ～ +10 dB

中音域（Mid2）の補正値を設定します。

* 初期値は0dBです。

5 User Edit（ユーザー）

ユーザータッチカーブやユーザー音律を作成します。

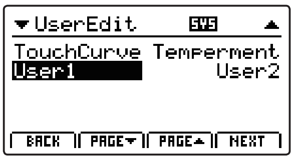
ユーザータッチカーブや、ユーザー音律を選択する

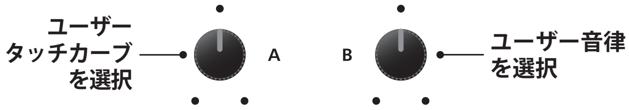
ユーザータッチカーブ/ユーザー音律を作成するシステムメニューのUser Editを選択した状態で：

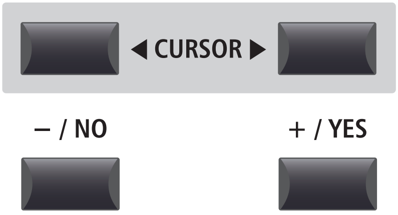
ノブ[A]を回して設定したいタッチカーブを選択します。

ノブ[B]を回して設定したい音律を選択します。

ユーザータッチカーブと音律はカーソルボタンまたは[+/YES][-/NO]ボタンで選択することもできます。





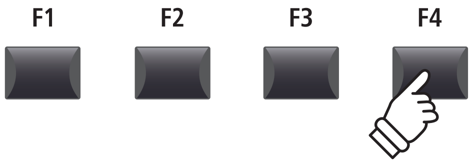


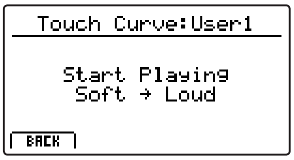
ユーザータッチカーブを作成する

1. タッチカーブの解析の準備をする

ユーザータッチカーブを選んだ状態で：

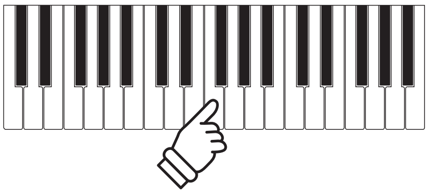
[F4]ボタン（NEXT）を押し、タッチカーブの解析画面を表示します。

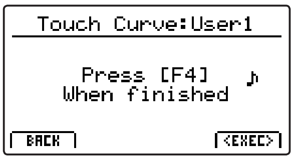




2. 鍵盤を弾いてカーブを作成する

適当な鍵盤を最弱打から最強打まで弾いてください。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成されます。

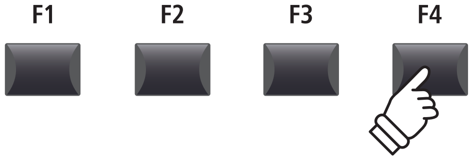


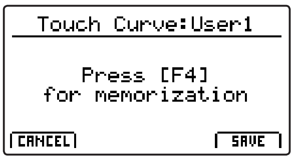


3. 解析を終了する

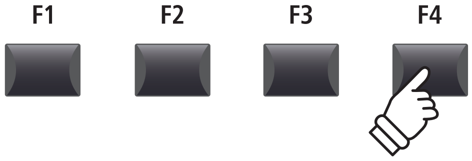
[F4]ボタン（EXEC）を押すと、解析が終了します。

確認画面がディスプレイに表示されます。



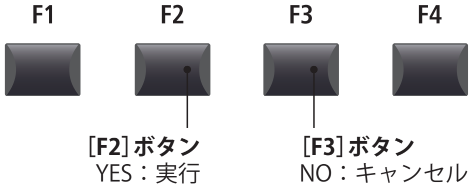


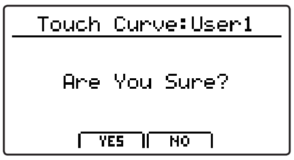
この状態で演奏し、新しいカーブを確認してください。
保存したい場合は[F4]ボタン（SAVE）を、破棄したい場合は[F1]ボタン（CANCEL）を押してください。



4. ユーザータッチカーブを保存する

[F2]ボタン（YES）を押すと、保存されます。
[F3]ボタン（NO）を押すと、前の画面に戻ります。





* [+/YES] [-/NO]ボタンでも保存/キャンセルできます。

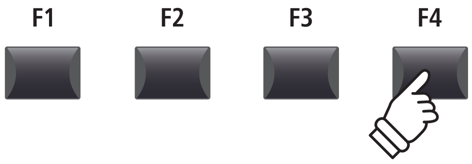
新しく作成されたユーザータッチカーブは現在選択中のセクションに自動的に使用されます。

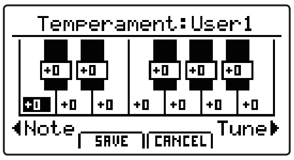
ユーザー音律を作成する

1. ユーザー音律エディタ画面を表示する

ユーザー音律を選んだ状態で：

[F4] ボタン（NEXT）を押し、ユーザー音律エディタの画面を表示します。

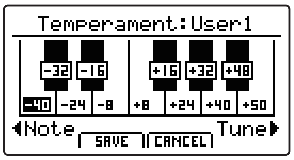




2. ユーザー音律を調整する

ノブ [C] を回して調整したい音を選択します。
ノブ [D] を回して選択した音のピッチを調整します。

* それぞれの鍵盤のピッチは -50 ～ +50cent の範囲で調整できます。（半音 =100cent）

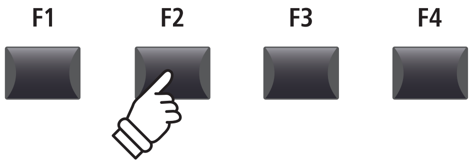


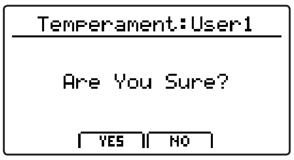
3. ユーザー音律を保存する

ピッチを調整した後で：

保存したい場合は [F2] ボタン（SAVE）を、破棄したい場合は [F3] ボタン（CANCEL）を押してください。

保存する場合は確認画面が表示されます。



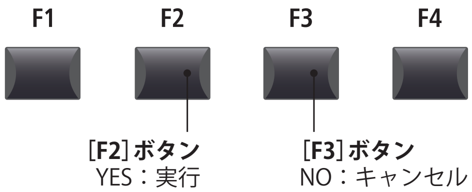


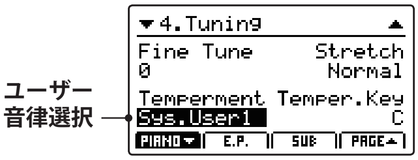
4. 保存の確認画面

[F2] ボタン（YES）を押すと保存されます。
[F3] ボタン（NO）を押すと、前の画面に戻ります。

* [+/YES] [-/NO] ボタンでも保存 / キャンセルできます。

新しく作成されたユーザー音律は現在選択中のセクションに自動的に使用されます。





6 RESET（リセット）

各音色、セットアップなどの設定を工場出荷時の設定へ戻します。［CURSOR］ボタンを使って目的の機能を選び、［+/YES］ボタンで実行してください。

⚠ **リセット操作を行うと、データを元に戻す事はできません。**
リセット機能を使用するときは大切なデータを失くさないようご注意願います。

1. Reset One Sound

現在選択中の音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

この機能を実行するためにシステムメニューに入る前に、目的の音色を選択しておいてください。

2. Reset One Setup

1つのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

現在選択中のセットアップが画面に表示されます。

* SETUP（セットアップ）セクションの［BANK］ボタンと［1］〜［8］ボタンを使ってリセットするセットアップメモリを選択してください。

3. Reset All Sound

全ての音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

4. Reset All Setup

全てのセットアップメモリを工場出荷時の状態に戻します。

5. Reset System

Utility，Pedal，Offset，MIDI（MIDIのエディットメニューのシステムパラメータ含む）などの全てのシステムパラメータを工場出荷時の状態に戻します。

6. Reset PowerOn

電源ON時の設定を工場出荷時の状態に戻します。

7. Reset Recorder

MIDIレコーダーの内部ソングメモリを全て消去します。

8. Factory Reset

全ての音色、セットアップ、システム、MIDIレコーダーの内部メモリを工場出荷時の状態に戻します。

PANICボタン

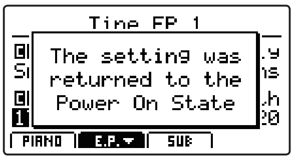
［PANIC］ボタンを1秒以上長押しすると、内部音色セクションを全て電源オン状態へ戻し、オールノートオフとリセットオール・コントローラーのMIDIメッセージを、接続された機器へ送信し、外部機器の発音を止めます。

外部MIDI機器の鳴りっ放しや、本体の設定を電源オン状態へ戻したい場合など、緊急事態の際に使用します。

▌PANICボタン機能を使用する

［PANIC］ボタンを長押しします。

1秒後、電源ON状態に戻ります。



PANIC

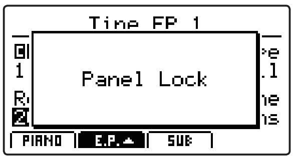
Panel Lock（パネルロック）

パネルロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、様々な操作子の機能を一時的にロックすることができます。

ロック機能を使用する

ボタン（LOCK）ボタンを押します。

ボタン（LOCK）が点灯し、ディスプレイに状態が表示されます。



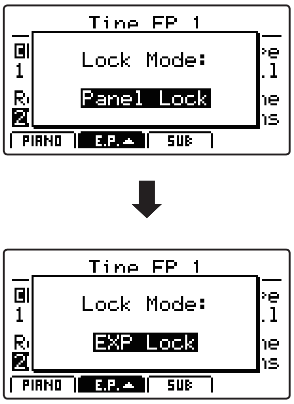
初期値ではパネルボタンとノブがロックされ、誤操作を防止します。

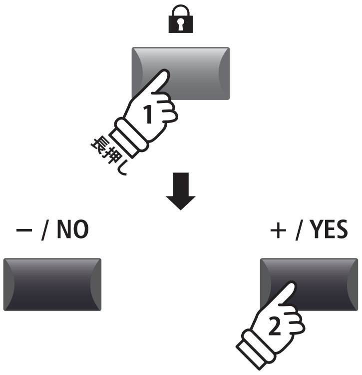
* ボリューム、ラインイン、セクションボリュームはロックされません。

再び ボタン（LOCK）を押すと、ロックが解除されます。

ロックする対象を変更する

ボタンを長押ししたまま［+/YES］［-/NO］ボタンを押し、機能を選択します。





* ロックモードはシステムメニュー内でも変更できます。P.97をご確認ください。

ロックモード

ロックモード	説明
Panel Lock	鍵盤、ホイール、ペダルと ボタン（LOCK）以外をロックします。
Bend Lock	ピッチベンドホイールをロックします。
Mod. Lock	モジュレーションホイールをロックします。
Center Lock	F-30の中ペダルをロックします。
Left Lock	F-30の左ペダルをロックします。
EXP Lock	エクスプレッションペダルをロックします。

USB-MIDIについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバ）がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

USB MIDIドライバ

OS	USB MIDI Driver Support
Windows ME Windows XP (no SP, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 (no SP, SP1) Windows 7 64-bit Windows 8 Windows 8 64-bit	**Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバがインストールされます。** * アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は、MIDIデバイスとしてWindows ME/XPの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista/7/8の場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 se Windows 2000 Windows Vista (no SP)	**指定の専用USB-MIDIドライバをコンピュータに追加する必要があります。** 下記のカワイホームページより専用USBドライバをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。 ➡ http://www.kawai.co.jp/ep/guide/midi_drv.html * パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバをインストールするか、「ドライバの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。
Windows Vista 64-bit (no SP)	**USB-MIDIをサポートしておりません。** SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Mac OS X	**Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバは必要ありません。** * アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Mac OS 9	**OS9以前のMacintoshはサポートしておりません。** 市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

USBについての注意事項

- USB-MIDIとMIDI IN/OUTは同時に使用する事が可能です。MIDIの内部接続に関してはシステムメニューのMIDIの項（P.100）をご確認ください。
- デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
- デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
- デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。
- 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。

  「ドライバのインストール中」
  「コンピュータの起動中」
  「MIDIアプリケーションが動作中」
  「コンピュータと通信中」
  「省電力モードで待機中」

- お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

* “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
* Macintoshは、Apple Computer.Inc.の登録商標です。
* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェア アップデート

この項ではプログラムのアップデートがKAWAIから発行された際のMP11のソフトウェアのアップデートの方法を記載しています。

ソフトウェア アップデートのときにはこのページの内容をご確認ください。

▌ソフトウェアのバージョンを確認する

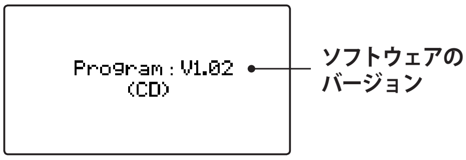
［STORE］ボタンを押しながら電源を立ち上げます。

ディスプレイに現在インストールされているプログラムのバージョンが表示されます。

もしバージョンがこれからインストールするバージョンよりも新しければ、インストールする必要はありません。

* 電源を切って再び入れると通常モードで立ち上がります。

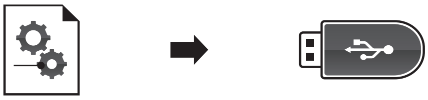
もしバージョンが古ければ、下記の作業を行ってください。



1. USBメモリを準備する

USBメモリのルートフォルダ（一番上の階層）に“MP11_040.SYS”をコピーしてください。

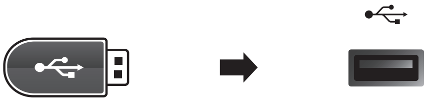
* USBメモリは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



2. USBメモリを接続する

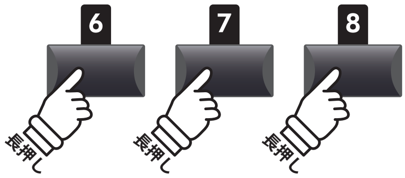
MP11の電源を切った状態で：

準備したUSBメモリをMP11のUSB端子に挿してください。



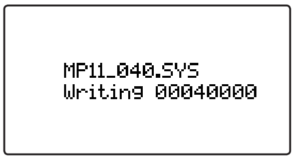
3. アップデートを始める

セットアップセクションの［6］［7］［8］ボタンを同時に押しながら電源を投入します。



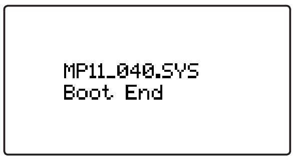
数秒後、アップデートは自動的に始まり、進捗がディスプレイに表示されます。

* アップデート中はUSBメモリを抜かないでください。



4. アップデートが終わったら、USBメモリを抜く

アップデートが終わったら、右の図のような画面がディスプレイに表示されます。



USBメモリを抜いて、一度電源を切ります。
再び電源を投入すると、バージョンアップされたMP11が起動します。

* ソフトウェアのアップデートが失敗した場合、再び手順1からお試しください。

内蔵音色リスト

PIANOセクション

Concert		Pop		Jazz		Upright / Mono	
1	Concert Grand	1	Pop Piano	1	Jazz Grand 1	1	Upright Piano
2	Studio Grand	2	Bright Pop Piano	2	Jazz Grand 2	2	Mono Pop Piano
3	Mellow Grand	3	Mellow Pop Piano	3	Standard Grand	3	Mono Concert

E.PIANOセクション

Tine		Reed		Modern		E. Grand / Clavi	
1	Tine EP 1	1	Reed EP 1	1	Modern EP 1	1	Electric Grand
2	Tine EP 2	2	Reed EP 2	2	Modern EP 2	2	Clavi 1
3	Tine EP 3	3	Reed EP 3	3	Modern EP 3	3	Clavi 2

SUBセクション

Strings		Pad		Harpsi / Mallet		Bass	
1	String Ensemble	1	Pad 1	1	Vibraphone	1	Wood Bass
2	Beautiful Str.	2	Pad 2	2	Harpsichord	2	Finger Bass
3	String Pad	3	Pad 3	3	Celesta	3	Fretless Bass
4	Warm Strings	4	Pad 4	4	Marimba	4	Wood Bass & Ride

リズムパターンリスト

16 Swing	
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3

16 Funk	
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3

16 Straight	
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock

16 Latin	
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge

16 Dance	
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad	
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4

8 Ballad	
49	Slow Jam
50	50's Triplet
51	R&B Triplet

8 Straight	
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat

8 Rock	
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B

8 Swing	
72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet	
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz

Jazz	
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing

8 Latin	
94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

EFXカテゴリ、タイプ、パラメータリスト

1. Chorus

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	Phase	-	LowEQ	HighEQ	-	-
Classic	Spread	Intensity	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band	DryWet	Balance	LowerSpeed	LowerDepth	UpperSpeed	UpperDepth	PreDelay	SplitFreq	-	-
3-Phase	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	-	-	-	-	-	-
Wide	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	-	-	-	-	-	-
Envelope	Depth	Speed	Sens.	PreDelay	Phase	-	-	-	-	-
Triangle	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	Phase	-	-	-	-	-
Sine	DryWet	Speed	Depth	PreDelay	-	-	-	-	-	-

2. Flanger

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo	DryWet	Speed	Depth	Feedback	PreDelay	Phase	LowEQ	HighEQ	-	-
2-Band	DryWet	Balance	LowerSpeed	LowerDepth	UpperSpeed	UpperDepth	Feedback	PreDelay	SplitFreq	-
Touch	DryWet	-	Sens.	Feedback	PreDelay	-	LowEQ	HighEQ	-	-
Sine	DryWet	Speed	Depth	Feedback	PreDelay	-	-	-	-	-
Triangle	DryWet	Speed	Depth	Feedback	PreDelay	Phase	-	-	-	-

3. Phaser

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Warm	DryWet	Speed	Depth	Resonance	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Classic	DryWet	Speed	Depth	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
8-Stage	DryWet	Speed	Depth	Resonance	Manual	-	-	-	-	-
2-Band	DryWet	Balance	LwrSpeed	LwrDepth	LwrManual	-	UprSpeed	UprDepth	UprManual	SplitFreq
Touch	DryWet	-	Sens.	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
St.2-Stage	DryWet	Speed	Depth	-	Manual	Phase	-	-	-	-

4. Wah

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
ClassicTch	DryWet	-	Sens.	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
ClassicLfo	DryWet	Speed	Depth	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	-	-
ClassicPdl	DryWet	-	Sens.	Resonance	Manual	-	LowEQ	HighEQ	*PDL	-
LpfTch	DryWet	-	Sens.	Manual	-	-	-	-	-	-
LpfLfo	DryWet	Speed	Depth	Manual	-	-	-	-	-	-
LpfPdl	DryWet	-	Sens.	Manual	*PDL	-	-	-	-	-

5. Tremolo

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic	Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band	Depth	Balance	LowerSpeed	UpperSpeed	SplitFreq	-	-	-	-	-
VibratoTrm	Depth	Speed	Vibrato	-	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Sine	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Square	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-
Saw	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

6. Auto Pan

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic	Depth	Speed	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
2-Band	Depth	Balance	LowerSpeed	UpperSpeed	SplitFreq	-	-	-	-	-
Envelope	Depth	Speed	Sens.	-	-	-	-	-	-	-
Standard	Depth	Speed	-	-	-	-	-	-	-	-

7. Delay / Reverb

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Standard	DryWet	Time	Feedback	HighDamp	-	-	-	-	-	-
PingPong	DryWet	Time	Feedback	HighDamp	-	-	-	-	-	-
LCR	DryWet	Time	Feedback	HighDamp	-	-	-	-	-	-
3-Tap	DryWet	-	CenterTime	CenterGain	Feedback	HighDamp	LeftTime	LeftGain	RightTime	RightGain
Classic	DryWet	Time	Feedback	-	-	-	-	-	-	-
Short	DryWet	Time	Feedback	-	-	-	-	-	-	-
Ambience	DryWet	Size	HighDamp	-	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
EarlyRef	DryWet	Size	PreDelay	LPF	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-

8. Pitch Shift

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Detune	DryWet	Fine	-	-	-	-	-	-	-	-
FeedBack	DryWet	Fine	Coarse	DelayTime	Feedback	HighDamp	-	-	-	-
Standard	DryWet	Fine	Coarse	-	-	-	-	-	-	-

9. Compressor

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
2-Band	Gain	Balance	LwrRatio	LwrThresh	LwrAttack	Release	UprRatio	UprThresh	UprAttack	SplitFreq
Standard	Gain	-	Ratio	Threshold	Attack	Release	-	-	-	-

10. Overdrive

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Stereo	DryWet	-	Drive	Gain	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-
Classic	DryWet	-	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-
Distortion	DryWet	-	Drive	Gain	-	-	-	-	-	-

11. EQ / Filter

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
4-BandEQ	Gain	-	LowGain	Mid1Gain	Mid1Q	Mid1Freq.	HighGain	Mid2Gain	Mid2Q	Mid2Freq.
7-BandEQ	Gain	-	100Hz	200Hz	400Hz	800Hz	1.6kHz	3.2kHz	6.4kHz	-
Standerd	Gain	-	Low	Mid	High	MidFreq.	-	-	-	-
Enhancer	DryWet	Depth	-	-	-	-	-	-	-	-
10-PoleFlt	DryWet	Freq.	TouchSens.	Gain	Lpf/Hpf	-	-	-	-	-

12. Rotary

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Classic	Slow/Fast	-	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Spd	Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Spd	-
Warm	Slow/Fast	-	LwrFastSpd	LwrSlowSpd	LwrAcc.Spd	Spread	UprFastSpd	UprSlowSpd	UprAcc.Spd	-
Dirty	Drive	Gain	Slow/Fast	Depth	Acc.Speed	Spread	FastSpeed	SlowSpeed	LowEQ	HighEQ
+Vib/Cho	V/C type	Mode	Slow/Fast	Depth	Acc.Speed	Spread	FastSpeed	SlowSpeed	-	-
Single	Slow/Fast	Depth	FastSpeed	SlowSpeed	Acc.Speed	Spread	-	-	-	-

13. Groove

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
S/H Flg	DryWet	Speed	Depth	Feedback	Manual	Attack	PanDepth	-	-	-
S/H Pha	DryWet	Speed	Depth	Feedback	Manual	Attack	PanDepth	-	-	-
S/H Wah	DryWet	Speed	Depth	Feedback	Manual	Attack	PanDepth	-	-	-
S/H Pan	DryWet	Speed	PanDepth	Attack	-	-	-	-	-	-

14. Misc

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
RingMod	DryWet	Freq.	LowEQ	HighEQ	-	-	-	-	-	-
Lo-Fi	DryWet	ModSpeed	ModDepth	SampleRate	Resolution	Filter	-	-	-	-

15. Chorus+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Cho:DryWet	Flg:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cho:DryWet	Pha:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cho:DryWet	Wah:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cho:DryWet	Trm:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cho:DryWet	Pan:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cho:DryWet	Dly:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

16. Phaser+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Pha:DryWet	Cho:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Pha:DryWet	Flg:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Wah	Pha:DryWet	Wah:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Pha:DryWet	Trm:Depth	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Pha:DryWet	Pan:Depth	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Pha:DryWet	Dly:DryWet	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

17. Wah+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Wah:DryWet	Cho:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Wah:DryWet	Flg:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Wah:DryWet	Pha:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Tremolo	Wah:DryWet	Trm:Depth	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Wah:DryWet	Pan:Depth	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Wah:DryWet	Dly:DryWet	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

18. EQ+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	EQ :Gain	Cho:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	EQ :Gain	Flg:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	EQ :Gain	Pha:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	EQ :Gain	Wah:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	EQ :Gain	Trm:Depth	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	EQ :Gain	Pan:Depth	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Pan:Speed	-	-	-
Delay	EQ :Gain	Dly:DryWet	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
Compressor	EQ :Gain	Cmp:Gain	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls

19. Enhancer+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Enh:DryWet	Cho:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Enh:DryWet	Flg:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Enh:DryWet	Pha:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Enh:DryWet	Wah:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Enh:DryWet	Trm:Depth	Enh:Depth	-	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Enh:DryWet	Pan:Depth	Enh:Depth	-	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Enh:DryWet	Dly:DryWet	Enh:Depth	-	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
Compressor	Enh:DryWet	Cmp:Gain	Enh:Depth	-	-	-	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls

20. Pitch Shift+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Flanger	Psh:DryWet	Flg:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Psh:DryWet	Pha:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Psh:DryWet	Wah:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Psh:DryWet	Trm:Depth	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Psh:DryWet	Pan:Depth	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Psh:DryWet	Dly:DryWet	Psh:Fine	Psh:Coarse	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

21. Compressor+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Cmp:Gain	Cho:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Cmp:Gain	Flg:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Cmp:Gain	Pha:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Cmp:Gain	Wah:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Cmp:Gain	Trm:Depth	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Cmp:Gain	Pan:Depth	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Cmp:Gain	Dly:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
OverDrive	Cmp:Gain	Ovd:DryWet	Cmp:Ratio	Cmp:Thresh	Cmp:Attack	Cmp:Rls	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-

22. Overdrive+

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Chorus	Ovd:DryWet	Cho:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase
Flanger	Ovd:DryWet	Flg:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Phaser	Ovd:DryWet	Pha:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Wah	Ovd:DryWet	Wah:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Tremolo	Ovd:DryWet	Trm:Depth	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Trm:Speed	-	-	-
AutoPan	Ovd:DryWet	Pan:Depth	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Pan:Speed	-	-	-
Delay	Ovd:DryWet	Dly:DryWet	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-
EQ	Ovd:DryWet	EQ :Gain	Ovd:Drive	Ovd:Gain	-	-	EQ :Low	EQ :Mid	EQ :High	EQ :MidFrq

23. Parallel

Variation	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	Parameter 9	Parameter 10
Cho || Flg	Cho:DryWet	Flg:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Flg:Speed	Flg:Depth	Flg:F.Back	Flg:PreDly
Cho || Pha	Cho:DryWet	Pha:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pha:Speed	Pha:Depth	Pha:Manual	Pha:Phase
Cho || Wah	Cho:DryWet	Wah:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Wah:Sens.	Wah:Manual	-	-
Cho || Trm	Cho:DryWet	Trm:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Trm:Speed	-	-	-
Cho || Pan	Cho:DryWet	Pan:Depth	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Pan:Speed	-	-	-
Cho || Dly	Cho:DryWet	Dly:DryWet	Cho:Speed	Cho:Depth	Cho:PreDly	Cho:Phase	Dly:Time	Dly:F.Back	-	-

仕様

Kawai MP11 Stage Piano

鍵盤	木製鍵盤Grand Feelアクション	
音源	HI-XL 88鍵ステレオサンプリング	
音色	40音色(PIANO：12音色、E.PIANO：12音色、SUB：16音色)	
同時発音数	最大256音(音色により異なる)	
鍵盤モード	Full，Upper Split，Lower Split，Zone	
セクション	内部	PIANO，E.PIANO，SUB
	外部	MIDI(ZONE1，ZONE2，ZONE3，ZONE4)
リバーブ	タイプ	6タイプ(Room，Lounge，Small Hall，Concert Hall，Live Hall，Cathedral)
	パラメータ	Pre Delay，Reverb Time，Reverb Depth
エフェクト	タイプ	129タイプ(23カテゴリ)
	パラメータ	エフェクトタイプにより異なる(最大10パラメータ)
アンプシミュレータ E.PIANOのみ	タイプ	5タイプ(S.Case，M.Stack，J.Combo，F.Bass，L.Cabi)
	パラメータ	Drive，Level，Amp EQ Lo，Amp EQ Mid，Amp EQ Hi，Mid Frequency， Mic Type，Mic Position，Ambience
バーチャルテクニシャン	タッチカーブ	6タイプ(Light+，Light，Normal，Heavy，Heavy+，Off)，User1 ～ 5
	パラメータ	**PIANO：**Voicing，Stereo Width，String Resonance，Damper Resonance，Key-off Effect， Damper Noise，Hammer Delay，Fall-back Noise，Topboard，Brilliance **E.PIANO，SUB：**Key-off Noise，Key-off Delay
	音律＆ チューニング	7種類(Equal(平均律)，Pure Major/Minor(純正律 長調/短調)，Pythagorean(ピタゴラス音律)，Meantone(中全音律)，Werkmeister(ヴェルクマイスター第III法)，Kirnberger(キルンベルガー第III法))，User1 ～ 2 Fine Tune，Stretch Tuning，Key of Temperament
EQ(イコライザ)	4バンドEQ(Low Gain，Mid1 Gain，Mid1 Q，Mid1 Freq.，Mid2 Gain，Mid2 Q，Mid2 Freq.，High Gain)	
レコーダー	内部	10ソング、総記憶音数約90,000音 移調、オーディオ変換、SMF読み出し、SMF保存
	オーディオ	MP3/WAV再生、MP3/WAV録音、オーバーダビング、録音ゲイン調整
メトロノーム	クリック	1/4，2/4，3/4，4/4，5/4，3/8，6/8，7/8，9/8，12/8
	リズム	100種類
内部メモリ	SOUND	40種類
	SETUP	208種類
	POWER ON	1種類
USB機能	Load/Save	One Sonud，One Setup，SMF，All Sound，All Setup，All Backup
	その他	Delete，Rename，Format
エディットメニュー	音色セクション	98パラメータ(Reverb，EFX/AMP，Sound，Tuning，Key Setup，Controller，Knob Assign，Virtual Tech)
	MIDIゾーン	62パラメータ(Channel/Program，SETUP，Transmit，MMC，Key Setup，Controllers，Knob Assign)
システムメニュー	50パラメータ(Utility，Pedal，MIDI，Offset，User Edit，Reset)	
ディスプレイ	128x64ドットマトリクスLCD	
パネルコントロール	ボリューム、ラインインボリューム、セクションボリューム(PIANO，E.PIANO，SUB)、アサイナブルノブA ～ D、ピッチベンド、モジュレーション	
ジャック	出力	ラインアウト(L/MONO)：標準、Fixed out：XLR(グランドリフトスイッチ付き)、ヘッドホン
	入力	ラインイン(L/MONO)：標準
	MIDI/USB	MIDI IN，MIDI OUT，MIDI THRU，USB to Host，USB to Device
	ペダル	ダンパー /ソステヌート、ソフト(F-30)、エクスプレッション
	電源	AC IN
消費電力	20W	
寸法	1380(W) x 453(D) x 188(H)mm	
重量	32.5 kg	
同梱物	ダンパー /ソステヌート、ソフトペダル(F-30)、譜面台、電源コード、取扱説明書	

※ 仕様は告知なしに変更される場合があります。

MIDI Implementation

Contents

Version 1.0 (October 2013)

1. Recognised data
   - 1.1 Channel Voice Message
   - 1.2 Channel Mode Message
   - 1.3 System Realtime Message

2. Transmitted data
   - 2.1 Channel Voice Message
   - 2.2 Channel Mode Message
   - 2.3 System Realtime Message

3. Exclusive data
   - 3.1 MMC Commands
   - 3.2 Parameter Send
   - 3.3 Setup Address: Global Section
   - 3.4 Setup Address: Internal Section
   - 3.5 Setup Address: MIDI Section
   - 3.6. Internal Section's Assignable Knob Data

4. SOUND/SETUP Program/Bank

5. Control Change Number (CC#) Table

MIDI Implementation Chart

付録

1 Recognised Data

1.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
kk=Note Number	:00H - 7fH(0 ~ 127)	
vv=Velocity	:00H - 7fH(0 ~ 127)	

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
kk=Note Number	:00H - 7fH(0 ~ 127)	
vv=Velocity	:00H - 7fH(0 ~ 127)	

Control Change Bank Select (MSB)

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
mm = Bank Number MSB	:00H-7fH (0 ~ 127)	
ll = BankNumber LSB	:00H-7fH (0 ~ 127)	

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Modulation depth	:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN	:00H - 7fH(0 ~ 127)	

*see RPN/NRPN chapter

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Volume	:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH

n=MIDI channel number	:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv=Panpot	:00H - 40H - 7fH(left ~centre~right)	Default = 40H(centre)

1.1 Channel Voice Message (cont.)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0bH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv=Expression		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	40H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63=OFF, 64 - 127=ON			

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	42H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	43H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte		
BnH	46H	vvH	Sustain Level	
BnH	47H	vvH	Resonance	
BnH	48H	vvH	Release time	
BnH	49H	vvH	Attack time	
BnH	4aH	vvH	Cutoff	
BnH	4bH	vvH	Decay time	
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate	
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth	
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)		
vv=Control Value		:00H - 7fH(-64 ~ 0 ~ +63)		Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

1.1 Channel Voice Message (cont.)

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=MSB of the NRPN parameter number
ll=LSB of the NRPN parameter number

NRPN numbers implemented in MP11 are as follows
NRPN # Data

MSB	LSB	MSB	Function & Range		
01H	08H	mmH	Vibrato Rate mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	09H	mmH	Vibrato Depth mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	0aH	mmH	Vibrato Delay mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	20H	mmH	Cutoff mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	21H	mmH	Resonance mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	63H	mmH	Attack time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	64H	mmH	Decay time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	66H	mmH	Release time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

* Ignoring the LSB of data Entry
* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the DCF.

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

mm=MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP11 are the followings
RPN # Data

MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range	
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity	
		mm :00H-0cH (0~12 [half tone]),ll:00H			Default=02H
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning	
		mm,ll :20 00H - 40 00H - 60 00H (-8192x50/8192 ~ 0 ~ +8192x50/8192 [cent])			
7fH	7fH	--	--	RPN NULL	

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH(0 ~- 127) Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

付録

1.2 Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

1.3 System Realtime Message

Status

FEH Active sensing

2 Transmitted Data

2.1 Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte	
8nH	kkH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)	
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte	
9nH	kkH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
kk=Note Number		:00H - 7fH(0 ~ 127)	
vv=Velocity		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

Control Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	ccH	vvH

* Sending by Assignable Control Knobs

Program Change

Status	2nd Byte		
CnH	ppH		
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
pp=Program number		:00H - 7fH(0 ~- 127)	Default = 00H

After Touch

Status	2nd Byte	
DnH	ppH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Value		

*Sending only when Controller or Knob=AfterTouch

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte	
EnH	llH	mmH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
mm,ll=Pitch bend value		:00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192)	Default = 40 00H

2.2 Channel Mode Message

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number :01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

2.3 System Realtime Message

Status

FAH	Start
FBH	Continue
FCH	Stop

*Sending by [RECORDER CONTROL] buttons

3 Exclusive Data

3.1 MMC Commands

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	Universal Real Time	7FH	
3	Device ID	0-7FH	
4	MMC command	06H	
5	Command Number	01-0DH	* see table right
6	EOX	F7H	

* Sending by [RECORDER CONTROL] buttons
* Transmit only

MMC Commands			
01	STOP	08	RECORD PAUSE
02	PLAY	09	PAUSE
03	DEFERRED PLAY	0A	EJECT
04	FAST FORWARD	0B	CHASE
05	REWIND	0C	COMMAND ERROR RESET
06	RECORD STROBE	0D	MMC RESET
07	RECORD EXIT		

3.2 Parameter Send

No.	Description	Value	Notes
1	Exclusive	F0H	
2	KAWAI ID	40H	
3	Channel no.	0nH n=0-FH	
4	Function no.	10H	Parameter Send
5	Group no.	00H	MI Group ID
6	Machine no.	12H	MP11 Machine ID
7	data1	40H	Setup Parameter
8	data2	0-7fH	Address MSB
9	data3	0-7fH	Address LSB
10	data4	0-7fH	data size (byte) max=128 byte
11	data5~	data max 128byte	
12	EOX	F7H	

3.3 Setup Address: Global Section

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)	Byte	Value (HEX)
SETUP	Setup Mode On/Off	00/49	1	00,01 (Off, On)
	SETUP Bank / Variation	00/19	2	Bank=00-19 (A~Z), Vari=00~07 (1~8)
GLOBAL	Global EQ Switch	00/1B	1	00,01(Off, On)
	Global EQ Low Gain	00/1C	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ High Gain	00/1D	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ Mid1 Gain	00/1E	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ Mid2 Gain	00/1F	1	36-40-4A (-10~+0~+10 dB)
	Global EQ Mid1 Q	00/20	1	00-06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid2 Q	00/22	1	00-06 (0.5~4.0)
	Global EQ Mid1 Frequency	00/21	1	00-7F (200~3150Hz)
	Global EQ Mid2 Frequency	00/23	1	00-7F (200~3150Hz)
	Transpose Switch	00/3D	1	00,01 (Off,On)
	Transpose Value	00/3E	1	28-40-58 (-24~0~+24)

3.4 Setup Address: Internal Section

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)			Byte	Value (HEX)
		PIANO	E.PIANO	SUB		
Buttons	Part Switch	00/5E	02/02	02/26	1	00,01 (Off, On)
	Volume Fader	01/70	02/14	04/38	1	00-7F
	Tone Number	00/60	02/04	03/28	2	00/00 - 00/0B (PIANO), 00/0C - 00/17 (E.PIANO), 00/18 - 00/27 (SUB)
1. REVERB	REVERB Switch	01/27	02/4B	03/6F	1	00,01 (Off, On)
	Reverb Type	00/24			1	00-05 (Room, Lounge, Small Hall, Concert Hall, Live Hall, Catedral)
	Reverb Pre Delay	00/26			1	00-7F
	Reverb Time	00/25			1	00-7F
	Reverb Depth	01/28	02/4C	03/70	1	00-7F
2. EFX/AMP	EFX Switch	01/0D	02/31	03/55	1	00,01 (Off, On)
	EFX Category	01/0E	02/32	03/56	1	00-16
	EFX Type	01/0F	02/33	03/57	1	*depend on EFX Category
	EFX Parameter 1	01/10	02/34	03/58	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 2	01/11	02/35	03/59	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 3	01/12	02/36	03/5A	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 4	01/13	02/37	03/5B	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 5	01/14	02/38	03/5C	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 6	01/15	02/39	03/5D	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 7	01/16	02/3A	03/5E	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 8	01/17	02/3B	03/5F	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 9	01/18	02/3C	03/60	1	*depend on EFX Type
	EFX Parameter 10	01/19	02/3D	03/61	1	*depend on EFX Type
	EFX2 Switch	-	02/3E	-	1	0,1 (Off, On)
	EFX2 Category	-	02/3F	-	1	00-16
	EFX2 Type	-	02/40	-	1	*depend on EFX2 Category
	EFX2 Parameter 1	-	02/41	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 2	-	02/42	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 3	-	02/43	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 4	-	02/44	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 5	-	02/45	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 6	-	02/46	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 7	-	02/47	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 8	-	02/48	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 9	-	02/49	-	1	*depend on EFX2 Type
	EFX2 Parameter 10	-	02/4A	-	1	*depend on EFX2 Type
	AMP Simulator Switch	-	02/16	-	1	0,1 (Off, On)
	AMP Simulator Type	-	02/17	-	1	0-4 (S.Case, M.Stack, J.Combo, F.Bass, L.Cabi)
	AMP Simulator Drive	-	02/19	-	1	0-7F
	AMP Simulator Level	-	02/18	-	1	0-7F
	AMP Simulator EQ Low	-	02/1B	-	1	00-0A-14 (-10~+0~+10dB)
	AMP Simulator EQ Mid	-	03/15	-	1	00-0A-14 (-10~+0~+10dB)
	AMP Simulator EQ Mid Freq.	-	03/16	-	1	0-7F (200~3150Hz)
	AMP Simulator EQ High	-	02/1C	-	1	00-0A-14 (-10~+0~+10dB)
	AMP Simulator Mic Type	-	02/1D	-	1	00,01 (Condenser, Dynamic)
	AMP Simulator Mic Position	-	02/1E	-	1	00,01 (OnAxis, OffAxis)
	AMP Simulator Ambiance Level	-	02/1A	-	1	0-7F

3.4 Setup Address: Internal Section (cont.)

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)			Byte	Value (HEX)
		PIANO	E.PIANO	SUB		
3. Sound	Volume	01/37	02/5B	02/7F	1	0-7F
	Panpot	01/38	02/5C	04/00	1	0-40-7F (L64~0~R63)
	Cutoff	01/39	02/5D	04/01	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Resonance	01/3A	02/5E	04/02	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Attack Time	01/3B	02/5F	04/03	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Decay Time	01/3C	02/60	04/04	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Sustain Level	01/3D	02/61	04/05	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Release Time	01/3E	02/62	04/06	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Time	01/3F	02/63	04/07	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Attack Level	01/40	02/64	04/08	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Decay Time	01/41	02/65	04/09	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Sustain Level	01/43	02/67	04/0B	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Release Time	01/42	02/66	04/0A	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCF Touch Depth	01/44	02/68	04/0C	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	DCA Touch Depth	01/45	02/69	04/0D	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Vibrato Depth	01/46	02/6A	04/0E	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Vibrato Rate	01/47	02/6B	04/0F	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Vibrato Delay	01/48	02/6C	04/10	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Octave Layer On/Off	01/49	02/6D	04/11	1	00,01 (Off, On)
	Octave Layer Level	01/4A	02/6E	04/12	1	0-7F
	Octave Layer Range	01/4B	02/6F	04/13	1	3D-40-43 (-3~+0~+3)
	Octave Layer Detune	01/4C	02/70	04/14	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Layer Sound:Vocal	00/62	02/06	03/2A	1	0,1-7F (0ff, 1~127)
	Layer Sound:Bell	00/63	02/08	03/2B	1	0,1-7F (0ff, 1~127)
	Layer Sound:Air	00/64	02/08	03/2C	1	0,1-7F (0ff, 1~127)
4. Tuning	Fine Tune	00/7B	02/1F	03/43	1	0-40-7F (-64~0~+63)
	Stretch Tuning	00/7C	02/20	03/44	1	00-08 (Off, Narrow2, Narrow1, Normal, Wide1, Wide2~5)
	Temperament	00/7D	02/21	03/45	1	00-08 (Equal, PureMaj, PureMin, Pythagor, Meantone, Werkmeis, Kirnberg, Sys. User1~2)
	Temperament Key	00/7E	02/22	03/46	1	00-0B (C~B)
5. KeySetup	Key Range Mode	00/7F	02/23	03/47	1	00-03 (Off, Lower, Upper, Zone)
	Split Point		00/46		1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Key Range - Zone Low	01/00	02/24	03/48	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Key Range - Zone High	01/01	02/25	03/49	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Octave Shift	01/09	02/2D	03/51	1	3D-40-43 (-3~0~+3)
	Touch Curve	01/04	02/28	03/4C	1	00-0A (Heavy+, Heavy, Normal, Light, Light+, Off, Sys.User1~5)
	Zone Transpose	01/0A	02/2E	03/52	1	34-40-4C (-12~0~+12)
	KS-Damping	01/0C	02/30	03/54	1	00,01 (Off, On)
	KS-Key	01/0B	02/2F	03/53	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Dynamics	01/05	02/29	03/4D	1	00,01-0A (Off,1-10)

3.4 Setup Address: Internal Section (cont.)

Category	Parameter	Address MSB/LSB (HEX)			Byte	Value(HEX)
		PIANO	E.PIANO	SUB		
6. Control	Right Pedal On/Off	01/2C	02/50	03/74	1	00,01 (Off, On)
	Right Pedal Assign	00/2E			1	00-11 (Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
	Soft Pedal Adjust	00/70	02/14	03/38	1	01-0A
	Damper Mode	01/2B	02/4F	03/73	1	00,01(Normal,Hold)
	Center Pedal On/Off	01/2E	02/52	03/76	1	00,01(Off, On)
	Center Pedal Assign	00/30			1	00-11 (Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
	Left Pedal On/Off	01/2F	02/53	03/77	1	00,01(Off, On)
	Left Pedal Assign	00/31			1	00-11 (Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
	PitchBend Wheel On/Off	01/33	02/57	03/7B	1	00,01(Off, On)
	PitchBend Range	01/34	02/58	03/7C	1	00-11 (Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
	Modulation Wheel On/Off	01/31	02/55	03/79	1	00,01(Off, On)
	Modulation Wheel Assign	01/32	02/56	03/7A	1	00-11 (Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
	EXP Pedal On/Off	01/30	02/54	03/78	1	00,01(Off, On)
	EXP Pedal Assign	00/32			1	00-11 (Mod., Pan., Exp., Damper, Soste., Soft, Reso., Cutoff, EFX1 Para1~10, EFX2 Para1~10
7. KnobAsgn	KnobA Assign (1/2)	01/60	02/04	04/28	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobB Assign (1/2)	01/61	02/05	04/29	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobC Assign (1/2)	01/62	02/06	04/2A	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobD Assign (1/2)	01/63	02/07	04/2B	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobA Assign (2/2)	01/64	02/08	04/2C	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobB Assign (2/2)	01/65	02/09	04/2D	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobC Assign (2/2)	01/66	02/0A	04/2E	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
	KnobD Assign (2/2)	01/67	02/0B	04/2F	2	see 3.6: Internal Section's Assignable Knob Data
8. VirtTech	Voicing	00/65	-	-	1	00-05 (Normal, Mellow1, Mellow2, Dynamic, Bright1, Bright2)
	Stereo Width	00/66	-	-	1	00-7F
	String Resonance	00/67	-	-	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Damper Resonance	00/68	-	-	1	00,01-0A (Off,1-10)
	KeyOff Effect	00/69	-	-	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Damper Noise	00/6A	-	-	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Hammer Delay	00/6B	-	-	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Fallback Noise	00/6C	-	-	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Topboard	00/6E	-	-	1	00-03 (Close, Open1~3)
	Brilliance	00/71	-	-	1	36-40-4A (-10~+0~+10dB)
	KeyoffNoise	-	02/10	02/34	1	00,01-0A (Off,1-10)
	KeyOffNoiseDelay	-	02/11	02/35	1	00-7F

付録

3.5 Setup Address: MIDI Section

Sys-EX Parameters		Address MSB/LSB(HEX)				Byte	Value(HEX)
Category	Parameter	MIDI1	MIDI2	MIDI3	MIDI4		
Buttons	Part Switch	04/3C	04/74	05/2C	05/64	1	00,01 (Off, On)
1. Ch/Prog.	MIDI Transmit Channel	04/3D	04/75	05/2D	05/65	1	00-0F (1~16Ch)
	PGM Change Number	04/3E	04/76	05/2E	05/66	1	00-7F (1~128)
	Bank Number MSB	04/40	04/78	05/30	05/68	1	00-7F (0~127)
	Bank Number LSB	04/3F	04/77	05/2F	05/67	1	00-7F (0~127)
2. SETUP 3. Transmit 4. MMC	*undefined	-	-	-	-	-	-
5. KeySetup	Key Range Mode	04/41	04/79	05/31	05/69	1	00-03 (Off, Lower, Upper, Zone)
	Split Point	00/46				1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Key Range - Zone Low	04/42	04/7A	05/32	05/6A	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Key Range - Zone High	04/43	04/7B	05/33	05/6B	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Octave Shift	04/4B	05/03	05/3B	05/73	1	3D-40-43 (-3~0~+3)
	Touch Curve	04/46	04/7E	05/36	05/6E	1	00-0A (Heavy+, Heavy, Normal, Light, Light+, Off, Sys. User1~5)
	Zone Transpose	04/4C	05/04	05/3C	05/74	1	34-40-4C (-12~0~+12)
	KS-Damping	04/4E	05/06	05/3E	05/76	1	00,01 (Off, On)
	KS-Key	04/4D	05/05	05/3D	05/75	1	15-6C (A-1 ~ C7)
	Dynamics	04/47	04/7F	05/37	05/6F	1	00,01-0A (Off,1-10)
	Solo On/Off	04/49	05/01	05/39	05/71	1	00,01(Off, On)
	Solo Mode	04/4A	05/02	05/3A	05/72	1	00-02 (Last,High,Low)
6. Control	Right Pedal On/Off	04/50	05/08	05/40	05/78	1	00,01 (Off, On)
	Right Pedal Assign	00/34				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	Half Pedal Range Low	04/6B	05/23	05/5B	06/13	1	00-7F
	Half Pedal Range High	04/6C	05/24	05/5C	06/14	1	00-7F
	Center Pedal On/Off	04/52	05/0A	05/42	05/7A	1	00,01 (Off, On)
	Center Pedal Assign	00/36				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	Left Pedal On/Off	04/53	05/0B	05/43	05/7B	1	00,01 (Off, On)
	Left Pedal Assign	00/37				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	PitchBend Wheel On/Off	04/57	05/0F	05/47	05/7F	1	00,01 (Off, On)
	PitchBend Range	04/58	05/10	05/48	06/00	1	00-0C
	Modulation Wheel On/Off	04/55	05/0D	05/45	05/7D	1	00,01 (Off, On)
	Modulation Wheel Assign	04/56	05/0E	05/46	05/7E	1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	EXP Pedal On/Off	04/54	05/0C	05/44	05/7C	1	00,01 (Off, On)
	EXP Pedal Assign	00/38				1	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
7. KnobAsgn	KnobA Assign (1/2)	04/5B	05/13	05/4B	06/03	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobB Assign (1/2)	04/5C	05/14	05/4C	06/04	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobC Assign (1/2)	04/5D	05/15	05/4D	06/05	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobD Assign (1/2)	04/5E	05/16	05/4E	06/06	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobA Assign (2/2)	04/5F	05/17	05/4F	06/07	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobB Assign (2/2)	04/60	05/18	05/50	06/08	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobC Assign (2/2)	04/61	05/19	05/51	06/09	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)
	KnobD Assign (2/2)	04/62	05/1A	05/52	06/0A	2	00-77,78 (CC#0-119, AfterTouch)

3.6 Internal Section's Assignable Knob Data

Knob Assignable Parameter		Data (HEX)	Section		
Category	Name	1st / 2nd	PIANO	E.PIANO	SUB
1. REVERB	[C]ReverbType	00/01		o	
	[C]Rev.PreDly	00/02		o	
	[C]ReverbTime	00/03		o	
	ReverbDpth	00/04	o	o	o
2. EFX/AMP	EFX Categ.	00/05	o	o	o
	EFX Type	00/06	o	o	o
	EFX Para1	00/07	o	o	o
	EFX Para2	00/08	o	o	o
	EFX Para3	00/09	o	o	o
	EFX Para4	00/0A	o	o	o
	EFX Para5	00/0B	o	o	o
	EFX Para6	00/0C	o	o	o
	EFX Para7	00/0D	o	o	o
	EFX Para8	00/0E	o	o	o
	EFX Para9	00/0F	o	o	o
	EFX Para10	00/10	o	o	o
	EFX2 Categ.	00/11	x	o	x
	EFX2 Type	00/12	x	o	x
	EFX2 Para1	00/13	x	o	x
	EFX2 Para2	00/14	x	o	x
	EFX2 Para3	00/15	x	o	x
	EFX2 Para4	00/16	x	o	x
	EFX2 Para5	00/17	x	o	x
	EFX2 Para6	00/18	x	o	x
	EFX2 Para7	00/19	x	o	x
	EFX2 Para8	00/1A	x	o	x
	EFX2 Para9	00/1B	x	o	x
	EFX2Para10	00/1C	x	o	x
	Amp Type	00/1D	x	o	x
	Amp Drive	00/1F	x	o	x
	Amp Level	00/1E	x	o	x
	AmpEQ-Lo	00/20	x	o	x
	AmpEQ-Mid	00/21	x	o	x
	AmpEQ-High	00/22	x	o	x
	MidFreq.	01/1A	x	o	x
	AmpMicType	01/15	x	o	x
	AmpMicPos.	01/14	x	o	x
	AmpAmbien.	01/16	x	o	x
3. Sound	Volume	00/23	o	o	o
	Panpot	00/24	o	o	o
	Cutoff	00/25	o	o	o
	Resonance	00/26	o	o	o
	DCA Attack	00/27	o	o	o
	DCA Decay	00/28	o	o	o
	DCASustain	00/29	o	o	o
	DCARelease	00/2A	o	o	o
	DCF ATK Tm	00/2B	o	o	o
	DCF ATK Lv	00/2C	o	o	o
	DCF Decay	00/2D	o	o	o
	DCFSustain	00/2F	o	o	o
	DCFRelease	00/2E	o	o	o
	DCF TchDpt	00/30	o	o	o
	DCA TchDpt	00/31	o	o	o
3. Sound	Vib.Depth	00/32	o	o	o
	Vib.Rate	00/33	o	o	o
	Vib.Delay	00/34	o	o	o
	Octave	00/35	o	o	o
	Oct.Level	00/36	o	o	o
	Oct.Range	00/37	o	o	o
	Oct.Detune	00/38	o	o	o
	Vocal	01/07	o	o	o
	Bell	01/08	o	o	o
	Air	01/19	o	o	o
4. Tuning	Fine Tune	00/4B	o	o	o
	Stretch	00/4C	o	o	o
	Temperment	00/4D	o	o	o
	Temper.Key	00/4E	o	o	o
5. KeySetup	KeyRange	00/4F	o	o	o
	[C]SpltPoint	00/50		o	
	Zone Lo	00/52	o	o	o
	Zone Hi	00/51	o	o	o
	OctavShift	00/57	o	o	o
	Touch	00/55	o	o	o
	ZoneTrans.	00/58	o	o	o
	KS-Damping	00/59	o	o	o
	KS-Key	00/5A	o	o	o
	Dynamics	00/5B	o	o	o
6. Control	Right Ped.	00/5E	o	o	o
	[C]R.Assign	00/5F		o	
	SoftPdlDpt	01/03	o	o	o
	Damp.Mode	00/60	o	o	o
	CenterPed.	00/63	o	o	o
	[C]C.Assign	00/64		o	
	Left Pedal	00/65	o	o	o
	[C]L.Assign	00/66		o	
	Pitch Bend	00/69	o	o	o
	Bend Range	00/6A	o	o	o
	Mod.Wheel	00/6B	o	o	o
	Mod.Assign	00/6C	o	o	o
	EXP Pedal	00/67	o	o	o
	[C]EXPAssign	00/68		o	
8. VirtTech	Voicing	00/79	o	x	x
	StereoWdth	00/7A	o	x	x
	StringReso	00/7B	o	x	x
	DamperReso	00/7C	o	x	x
	KeyOffEff.	00/7D	o	x	x
	DamperNois	00/7E	o	x	x
	HammerDly	00/7F	o	x	x
	FallbackNs	01/00	o	x	x
	Topboard	01/01	o	x	x
	HalfPdlAdj	01/02	o	x	x
	Brilliance	01/04	o	x	x
	KeyOffNois	01/05	x	o	o
	KeyOffDly	01/06	x	o	o

4 SOUND/SETUP Program/Bank

MIDIパラメータの受信モード（P.100の「11 Receive Mode」参照）が［Panel］に設定されているとき、MP11はシステムチャンネルでMIDIデータを受信します。

* MP11はシステムチャンネルにて、プログラムナンバーとバンクナンバー MSBの0または1を受信すると、セットアップモードのON/OFFを切り換え、対応したセットアップを呼び出します。また、受信モードが "Section" に設定されているときは、内部音色セクションはそれぞれ独立したチャンネルでMIDI受信します。

Panel Mode:

SETUP Program Number

BANK#MSB	1:	SETUP mode ON
BANK#LSB	0-25:	BANK A-Z
PROGRAM	1-8:	Setup Variation 1-8

SOUND Program Number

BANK#MSB	0:	SETUP mode OFF
BANK#LSB	0:	PIANO Section
	1:	E.PIANO Section
	2:	SUB Section
PROGRAM	1-12:	PIANO/E.PIANO Section's Sound variation 1-12
	1-16:	SUB Section's Sound variation 1-16

* 一つの内部音色セクションのみアクティブになります。

Section Mode:

BANK#MSB	(ignored)	
BANK#LSB	(ignored)	
PROGRAM	1-12:	PIANO/E.PIANO Section's Sound variation 1-12
	1-16:	SUB Section's Sound variation 1-16

* それぞれのセクションの受信チャンネルで受信します。
* セットアップモードはON/OFFしません。

5 Control Change Number (CC#) Table

Control Number		Control Function
Decimal	Hex	
0	0	Bank Select (MSB)
1	1	Modulation Wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	(undefined)
4	4	Foot Controller
5	5	Portament Time
6	6	Data Entry (MSB)
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	(undefined)
10	A	Panpot
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Controller1
13	D	Effect Controller2
14	E	(undefined)
15	F	(undefined)
16-19	10-13	General Purpose Controller1~4
20-31	14-1F	(undefined)
32	20	Bank Select (LSB)
33-63	21-3F	(LSB of Control Number 1-32)
64	40	Hold1 (Damper Pedal or Sustain)
65	41	Portamento On/Off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft Pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	Hold2 (freeze etc)
70	46	Sound Controller1 (Sound Variation)
71	47	Sound Controller2 (Filter Resonance/Harmonic Intensity)
72	48	Sound Controller3 (Release Time)
73	49	Sound Controller4 (Attack Time)
74	4A	Sound Controller5 (Brightness/Cutoff)
75	4B	Sound Controller6 (Decay TIme)
76	4C	Sound Controller7 (Vibrato Rate)
77	4D	Sound Controller8 (Vibrato Depth)
78	4E	Sound Controller9 (Vibrato Delay)
79	4F	Sound Controller10
80-83	50-53	General Purpose Controller5~8
84	54	Portament Control
85-90	55-5A	(undefined)
91	5B	Effect1 Depth (Reverb Send Level)
92	5C	Effect2 Depth
93	5D	Effect3 Depth (Chorus Send Level)
94	5E	Effect4 Depth
95	5F	Effect5 Depth
96	60	Data Increment
97	61	Data Decrement
98	62	Non Registered Parameter Number (LSB)
99	63	Non Registered Parameter Number (MSB)
100	64	Registered Parameter Number (LSB)
101	65	Registered Parameter Number (MSB)
102-119	66-77	(undefined/reserved)
120-127	78-7F	Channel Mode Message

[STAGE PIANO]
Kawai MP11

MIDI Implementation Chart

Date: October 2013
Version: 1.0

Function		Transmitted	Recognised Panel	Recognised Section	Remarks
Basic Channel	Default	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
	Changed	1 - 16	1 - 16	1 - 16	
Mode	Default	3	3	3	
	Messages	3,4 (m=1)	X	X	
	Altered	*****			
Note Number		0 - 127	0 - 127	0 - 127	
	True Voice	*****			
Velocity	Note ON	O 9nH, v=1 - 127	O	O	
	Note OFF	O 8nH, v=0 - 127	O	O	
After Touch	Key	X	X	X	
	Channel	O *1	X	X	
Pitch Bend		O	O	O	
Control Change	0,32	O	O	X	Bank Select
	1	O	O *2	O	Modulation
	6,38	O	X	O	Data Entry
	7	O	X	O	Volume
	10	O	X	O	Panpot
	11	O	O *2	O	Expression (EXP)
	64	O	O *2	O	Hold1 (Damper)
	66	O	O *2	O	Sostenuto (FootSW)
	67	O	O *2	O	Soft
	70,71	O	X	O	Sustain, Resonance
	72,73,74,75	O	X	O	RLS, ATK, CTF, DCY
	76,77,78	O	X	O	Vibrato (Rate,Depth,Delay)
	91	O	X	O	Reverb Depth
	98,99	X	X	O	NRPN LSB/MSB
	100, 101	X	X	O	RPN LSB/MSB
	0-119	O *1	X	X	
Program Change		O	O	O	
	True #	*****	0 - 127	0 - 127	
System Exclusive		O	O	O	
Common	Song Position	X	X	X	
	Song Select	X	X	X	
	Tune	X	X	X	
System Real Time	Clock	X	X	X	
	Commands	O	X	X	
Other Functions	All Sound OFF	X	O	O	
	Reset All Cntrls	O	O	O	
	Local ON/OFF	X	X	X	
	All Note OFF	O	O (123-127)	O (123-127)	
	Active Sense	X	O	O	
	Reset	X	X	X	
Notes		*1: Assigned to Modulation Wheel, EXP, FootSW or Knob A~D *2: ON/OFF settings of each section are set in EDIT menu. The function is assigned to MOD/EXP/Right/Centre/Left Pedal in EDIT menu.			

Mode 1 : OMNI ON , POLY　　Mode 2 : OMNI ON , MONO　　O : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY　　Mode 4 : OMNI OFF, MONO　　X : No

株式会社 河合楽器製作所

電　子　楽　器　事　業　部

〒430-8665 浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

KPSZ-0676

Printed in Indonesia

©2014（株）河合楽器製作所
本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。

817924-R100